

## 9 診療科 Clinical Departments

|                   |    |                                                            |    |
|-------------------|----|------------------------------------------------------------|----|
| 消化器内科             | 15 | Gastroenterology and Hepatology                            | 25 |
| 循環器内科             | 16 | Cardiovascular Medicine                                    | 25 |
| 呼吸器内科             | 16 | Respiratory Medicine                                       | 25 |
| 糖尿病・内分泌内科         | 16 | Diabetes and Endocrinology                                 | 25 |
| 腎臓内科              | 17 | Department of Nephrology                                   | 26 |
| リウマチ膠原病内科         | 17 | Department of Rheumatology                                 | 26 |
| 神経内科              | 17 | Department of Neurology                                    | 26 |
| 血液・腫瘍内科           | 18 | Department of Hematology and Oncology                      | 26 |
| 小児科               | 18 | Pediatrics                                                 | 27 |
| 精神科               | 18 | Psychiatry                                                 | 27 |
| 皮膚科               | 19 | Dermatology                                                | 27 |
| 形成外科              | 19 | Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery              | 27 |
| 消化器外科、乳腺・内分泌外科    | 19 | Gastrointestinal surgery, Breast gland / endocrine surgery | 28 |
| 心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科 | 20 | Cardiovascular Surgery                                     | 28 |
| 整形外科              | 20 | Orthopaedic Surgery                                        | 28 |
| 脳神経外科             | 20 | Neurosurgery                                               | 28 |
| 麻酔科               | 21 | Anesthesiology                                             | 29 |
| 産婦人科              | 21 | Obstetrics and Gynecology                                  | 29 |
| 泌尿器科              | 21 | Department of Urology                                      | 29 |
| 眼科                | 22 | Ophthalmology                                              | 29 |
| 頭頸部・耳鼻咽喉科         | 22 | Head and Neck, Ear, Nose and Throat Surgery                | 30 |
| 放射線治療科            | 22 | Department of Therapeutic Radiology                        | 30 |
| 放射線診断科            | 23 | Department of Diagnostic Radiology                         | 30 |
| 歯科口腔外科            | 23 | Oral and Maxillofacial Surgery                             | 30 |
| 救急科               | 23 | Emergency and Critical Care Medicine                       | 31 |
| 病理診断科             | 24 | Diagnostic Pathology                                       | 31 |
| リハビリテーション科        | 24 | Department of Rehabilitation Medicine                      | 31 |
| 遺伝子疾患診療科          | 24 | Department of Clinical Genetics                            | 31 |

### 診療科

## 消化器内科



土屋 淳紀

消化器内科、光学医療診療部および肝疾患センターを担当し、食道、胃、小腸、大腸、肝臓、胆道、膵臓からなる消化器疾患に対して、最先端の治療をお届けすべく診療科の医師が一丸となり取り組んでいます。

### 診療体制

消化器疾患は多くの臓器を対象とし診療をしています。そのため、消化管グループ、肝臓グループ、胆膵グループの3つの分野別のグループを形成し、外来および入院診療をおこなっております。

### 治療方針

本院の「すべての患者さんに安心を」の理念のもと、消化器疾患に関して安全かつ高度な医療をお届けできるように努めております。

### 特色と主な実績

消化器疾患いずれの疾患の治療も高いレベルでの診療を行っています。中でも、肝臓グループでは、肝硬変、肝細胞癌の治療において、また胆膵グループでは、膵癌や総胆管結石・胆管炎において、消化管グループでは内視鏡的粘膜下層剥離術、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）などではいずれも全国でも高いレベルの診療を行っています。

### 対象疾患

肝臓：C型肝炎への経口剤治療、B型肝炎への核酸アナログ治療、肝硬変に伴う諸症状の治療、ラジオ波/新世代マイクロ波焼灼術や動脈化学塞栓術、分子標的薬や腫瘍免疫療法による肝臓がんへの治療、代謝異常関連脂肪肝（MAFLD）の診療

### 胆道・膵臓：

内視鏡的膵胆道造影検査、超音波内視鏡検査、乳頭切開・バルーン拡張術、総胆管結石除去術、胆道・膵管ステント留置術、超音波内視鏡下穿刺吸引法、超音波内視鏡下瘻孔形成術、膵腫瘍・胆道腫瘍への薬物療法

### 消化管：

内視鏡的止血術、食道静脈瘤結紮術・硬化療法、画像強調内視鏡による表在がんの診断、内視鏡的粘膜下層剥離術や化学療法による食道、胃、大腸・直腸がんの治療、カプセル内視鏡、小腸内視鏡、炎症性腸疾患の治療



## 循環器内科



佐藤 明

循環器内科では、専門的な検査、治療設備を生かした先進的治療を行っています。研究に関しては、虚血性心疾患や動脈硬化の治療や予防、不整脈や心不全に関する先端医療の開発などを中心に研究活動を行っています。

## 診療体制

循環器内科には25名の医師が所属しており、あらゆる循環器疾患に対して24時間体制で検査・治療を行っています。山梨県の循環器診療において、患者様に安心・安全の医療の提供を目指して日々取り組んでいます。

## 治療方針

循環器病の予防に取り組むこと等により国民の健康寿命の延伸等を図り、あわせて

医療および介護に係る負担の軽減に資する施策を行なっています。

## 特色と主な実績

虚血性心疾患については、24時間体制で急性冠症候群を受け入れて緊急検査・治療を行い、昨年は冠動脈インターベンション治療を254例行いました。重症大動脈弁狭窄症や僧帽弁逆流症に対する経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）や経皮的僧帽弁クリップ術（MitraClip）を心臓血管外科と共にっており、昨年はTAVI 85例、MitraClip 10例、TAVIは2017年開始以来延べ400例以上となり、専門施設の認定を取得しました。心房細動・上室性頻拍や心室性不整脈に対するカテーテル焼灼術も昨年は272例行い、経カテーテル的左心耳閉鎖術も行なっています。また慢性血栓塞栓性肺高血圧に対する経皮的肺動脈バルーン

拡張術も21例施行しました。山梨県内では当院でしかできないカテーテル治療も導入し、ほぼすべての循環器疾患に対応可能な体制となっています。

## 対象疾患

虚血性心疾患（狭心症・急性心筋梗塞）、不整脈（心房細動、心室頻拍など）、心不全（弁膜症・心筋症）、高血圧、大動脈・末梢動脈疾患、肺高血圧症、先天性心疾患



## 呼吸器内科



副島 研造

呼吸器内科では、専門的な検査・治療設備を活用し、肺がん、アレルギー、感染症を含む呼吸器疾患全般に対して、各分野の専門医が質の高い医療を提供しています。

## 診療体制

呼吸器内科専門医を中心に、気管支鏡専門医、がん治療認定医、がん薬物療法専門医、アレルギー専門医が在籍し、チーム医療と他科との円滑な連携による包括的な診療を行っています。

## 治療方針

入院・一部外来患者に対して週2回のカンファレンスで治療方針を検討。肺がん診療では遺伝子情報に基づく個別化治療と、呼吸器外科・放射線科との多職種合同カンファレンス（MDD）により最適な治療戦略

を策定しています。

## 特色と主な実績

肺がん診療においては、従来の遺伝子検査に加え、院内実施の包括的ゲノムプロファイリング（CGP）とエキスパートパネルにより、最先端の個別化医療を展開しています。呼吸器外科、放射線科、病理と連携した病理カンファレンスにより高精度な診断を実現。また、間質性肺炎に対しては新規のクワイオバイオプシーを用いた診断を導入し、病理、リウマチ内科、放射線科との連携により、県内唯一のMDDによる診断・治療体制を構築しています。

## 対象疾患

肺がん、胸膜中皮腫、縦隔腫瘍などの悪性腫瘍、肺炎、非結核性抗

酸菌症、胸膜炎などの感染症、気管支喘息、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、間質性肺炎、気胸など幅広く対応しています。



## 糖尿病・内分泌内科



土屋 恭一郎

当科では、糖尿病、脂質異常症、肥満症などの生活習慣病を含む糖尿病・代謝性疾患並びに甲状腺、視床下部・下垂体疾患及び副腎疾患などの内分泌疾患の専門的な診療を担当しています。

## 診療体制と治療方針

糖尿病診療においては、多職種でのチーム医療を実践し、入院症例に対しては毎週カンファレンスを行い、個々の症例の病状やライフスタイルを踏まえた退院後の総合的な支援を行っています。持続血糖測定、持続インスリン皮下注射療法を含めた最新の治療法の経験も豊富です。

内分泌疾患はあらゆる領域の診断、治療を行っています。原発性アルドステロン症の精査にはクリニカルパスを適用し、副腎

静脈サンプリングも放射線科と連携して行っています。

## 特色と主な実績

当科は、日本糖尿病学会認定教育施設ならびに日本内分泌学会認定教育施設であり、糖尿病専門医・内分泌代謝科専門医の育成、研修医の教育も積極的に行っています。

また、小児期に発症した糖尿病や内分泌疾患を有する患者さんの円滑な成人期診療への移行のため、小児科とも定期的にカンファレンスを開催しています。

## 対象疾患

糖尿病疾患（1型糖尿病、2型糖尿病、MODYなど）、肥満症、甲状腺疾患（バセドウ病、橋本病、

甲状腺腫瘍など）、副腎疾患（原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫など）、下垂体疾患（先端巨大症、クッシング病、プロラクチノーマ、下垂体機能低下症、尿崩症など）、副甲状腺疾患、電解質異常



## 腎臓内科



中島 歩

腎臓内科では、糖尿病性腎症、腎硬化症、原発性糸球体腎炎、尿細管間質性疾患、遺伝性腎疾患、血管炎症候群、ループス腎炎など多岐にわたる疾患に対する診療を行っています。また、慢性腎臓病の原因となる高血圧症、糖尿病、脂質異常症、膠原病などに対する治療に加えて、血液透析・腹膜透析の導入と管理、腎不全の合併症に対する治療を行っています。

## 診療体制・治療方針

腎生検による組織学的診断や必要に応じた遺伝子検査を実施し、正確な診断と最適な治療法を提供することを心掛けています。また、腎臓病に関する治験や臨床試験も多数行っています。山梨大学医学部附属病院は県内で腎移植を選択できる唯一の医

療機関であり、移植後の管理は腎臓内科で担当しています。その他、血液透析に必要なシャント造設術、腹膜透析の導入に必要なカテーテル挿入術なども行っています。

## 特色と主な実績

山梨県慢性腎臓病予防化プログラムを主導して、慢性腎臓病の啓発活動や慢性腎臓病診療連携医制度の拡充、地域の医療機関との連携強化など、慢性腎臓病の早期発見・進展抑制の取り組みを行っています。また、やまなし減塩プロジェクトやProject ZEROの取り組みを通して、生活習慣病になりにくい地域づくりに貢献しています。

## 対象疾患

糖尿病性腎症、腎硬化症、原発性糸球体腎炎、尿細管間質性疾患、遺伝性腎疾患（多発性嚢胞腎・アルポート症候群など）、血管炎症候群、ループス腎炎、腎不全、高血圧症、糖尿病、脂質異常症など



## リウマチ膠原病内科



中込 大樹

2020年に新設された診療科となります。当科は、関節リウマチをはじめ、血管炎や全身性エリテマトーデスといった膠原病を対象としております。専門性の高い診療と教育を通じて、質の高い医療を提供しています。

## 診療体制

診療内容は科内でカンファレンスを通じて共有し、質の高い医療の提供を心掛けています。関節リウマチに関しては、関節エコーを活用した早期診断と治療評価を行っています。リウマチ膠原病センターと連携し多診療科で集学的治療を行います。

## 治療方針

リウマチ膠原病は自己免疫疾患であるため、免疫抑制が主な治療法になります。疾患

の病態と病勢を正確に評価し、ステロイドや免疫抑制剤を用いた寛解導入・維持療法を行います。

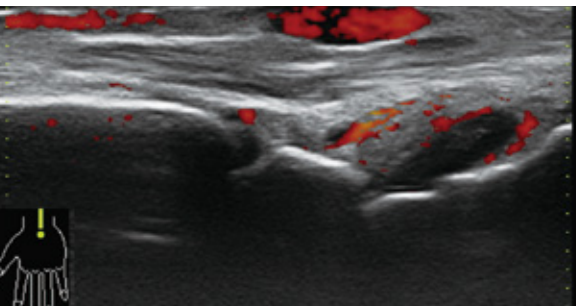
## 特色と主な実績

関節炎の診断は、診察のみでは不十分なこともあり、当科では関節エコーを用いて、早期診断、病勢評価を行い、的確な薬物治療を提供しています。間質性肺炎、腎炎、神経病変などの臓器病変に対しても豊富な診療経験を有し、各種合併症の治療にもスムーズに対応できるように研修を積んでおります。大学病院として診療、教育、研究の三本柱に尽力しています。

## 対象疾患

関節リウマチ、リウマチ性多発筋痛症、全身性エリテマ

トーデス、皮膚筋炎、強皮症、シェーグレン症候群、乾癬性関節炎、脊椎関節炎、高安動脈炎、巨細胞性動脈炎、ANCA関連血管炎などを対象としています。



## 神経内科



上野 祐司

脳卒中、認知症、変性疾患等、脳神経内科疾患は多岐に渡ります。近年、脳神経内科領域は病態解明や治療法の進歩が目覚ましく、これまでの「治療法のない脳神経内科」から、「治療可能な脳神経内科」へと大きく変化してきています。

## 診療体制

山梨県の中核病院として、エビデンスに基づき、患者さんに最善の治療を行えるよう努めております。脳卒中診療をはじめ、認知症や神経難病から、希少疾患に至る幅広い脳神経疾患の診療を行なっております。

## 治療方針

日本神経学会専門医、脳卒中専門医、認知症専門医が中心となり最新の治療を提供しております。様々な脳神経疾患について、カ

ンファレンス等で密な意見交換を行い、正確な診断と患者さんへ寄り添った診療を心がけています。

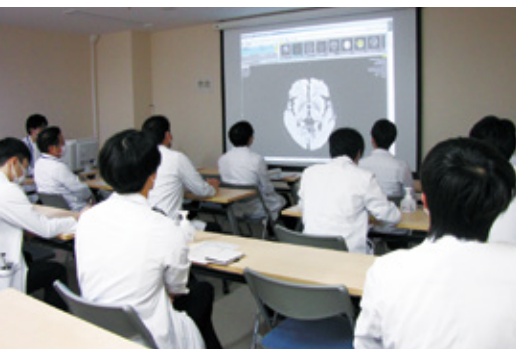
## 特色と主な実績

脳卒中診療では急性期治療と共に、脳神経外科や循環器内科と連携してブレインハートチームを構築しております。病型不明の脳梗塞に対する経食道心エコーを実施し、当科入院、近隣で加療した脳梗塞患者の原因を解明しております。卵円孔閉存へのカテーテルによる閉鎖術、大動脈プラーク等の動脈硬化疾患への積極的な脂質管理等に繋がっております。進行期パーキンソン病に対するレボドパの経腸用液療法や持続皮下注射療法、アルツハイマー病に対する抗アミロイドβ抗体療法を積極的

に進めております。

## 対象疾患

脳卒中、神経変性疾患、神経感染症、脱髄性疾患、代謝・中毒性疾患、末梢神経疾患、筋疾患、神経筋接合部疾患、脊髄疾患、機能的疾患、内科疾患に伴う神経疾患



## 血液・腫瘍内科



桐戸 敬太

血液・腫瘍内科は、山梨県の血液疾患診療の中核拠点として、良性血液疾患および幅広い造血器腫瘍に対する治療に取り組んでいます。日本造血・免疫細胞療法学会が認定する移植認定基準のカテゴリー1を取得し、またR7年度からはCAR-T細胞療法についても認定を取得し、最先端の治療にも対応しております。

## 診療体制

血液・腫瘍内科には14名の医師が所属しておりますが、うち8名が日本血液学会専門医、4名が日本造血・免疫細胞療法学会移植認定医の資格を有しております。また、1名が日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医の資格を有しております。また、血液・腫瘍内科病棟の看護師の奥が造血細胞

移植についての専門研修を受講しております。また、病棟には専属の薬剤師やリハビリテーションスタッフも所属しており、チームとして診療に当たっております。

## 治療方針

患者さん・ご家族のご要望を尊重しつつ、最新のガイドラインにそった治療を行うことを心がけております。また、国内および国際的な臨床試験にも多く参加しており、先進的な医療の提供にも積極的に取り組んでいます。

## 特色と主な実績

- ・年間20～30件の造血幹細胞移植を行っています。
- ・入院患者は年間500名前後。
- ・毎月延250～300名の患者さんの外来化学療法を行っています。

・臨床試験には、幅広い血液疾患を対象に毎年20件以上に取り組んでいます。

## 対象疾患

良性血液疾患：免疫性血小板減少性紫斑病、再生不良性貧血、自己免疫性溶血性貧血等  
血液腫瘍：急性白血病、骨髄増殖性腫瘍、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫等



## 小児科



犬飼 岳史

小児を対象とする幅広い領域の難治性疾患に対して、各領域の学会専門医が高度な医療を展開しています。

## 診療体制と特徴

## 主な診療グループ

血液班：小児がんに対して、抗がん剤、放射線、手術、免疫・移植療法を用いた集学的な治療と、骨髄不全症や免疫不全症などの血液疾患の診断と同種移植も含めた治療を行なっています。

心臓班：先天性心疾患、後天性心疾患まで幅広く対応し、難治性川崎病に対する血漿交換や小児頻脈性不整脈へのカテーテル治療も行なっています。

神経班：てんかん拠点病院であり、神経筋疾患に対する遺伝子治療、脳炎脳症など神

経救急対応を行う一方、神経発達症やてんかんなどの神経心理・認知機能検査などに力を入れております。

内分泌班：小児内分泌疾患に対し、遺伝子診断を含む診断治療を行ない、小児糖尿病に対して毎年サマーキャンプを開催し、患者教育を行なっています。

腎臓班：小児腎生検を行える施設としてネフローゼ症候群や慢性腎炎に対する個別化した治療を行い、その他の幅広い腎疾患の管理や小児リウマチ性疾患に対する診断・治療も行っています。

## 代表的な対象疾患と診療実績(2024年度新規患者数)

白血病、神経芽腫などの小児がん(15名)、先天性心疾患(50名)、てんかん(50名)、発達障害・心身症(25

名)、小児内分泌疾患(80例)、1型糖尿病(3例)など。

特殊検査・治療：心臓カテーテル検査(60件)、腎生検(10件)、同種造血細胞移植(10件/5年)



## 精神科



鈴木 健文

当科では「こころ」の病に対する外来および入院治療を行っています。総合病院内の精神科として、身体疾患や妊娠・出産に関連する精神的問題にも広く対応し、患者さんが安心して治療に専念できるよう環境づくりにも力を入れています。

## 診療体制

40床の精神科病棟を有し、うつ病などの気分障害を中心に入院治療を行っています。外来では精神疾患全般に対応しており、臨床心理士によるカウンセリングも提供。また、他科入院患者の精神面を支えるコンサルテーション・リエゾン活動も活発に実施しており、定期的な病棟回診を行っています。

## 治療方針

治療抵抗性うつ病に対しては電気けいれん療法(ECT)を導入し、手術室で安全に施行できる体制を整えています。高齢者には認知機能への影響が少ない片側性治療も活用しています

## 特色と主な実績

クロザピン使用が可能な登録医療機関であり、治療抵抗性統合失調症への対応も可能。うつ病と初期認知症の鑑別診断にも力を入れており、精神的視点から高齢者医療に貢献しています。



## 対象疾患

うつ病、統合失調症、認知症をはじめ、身体疾患に伴う精神症状や妊婦の精神的ケアなど、幅広い精神疾患に対応しています。

## 皮膚科



川村 龍吉

特定の領域に偏らず、地域の全ての重症・難治性疾患の診療にあたっています。総合的・多角的に診断を確定し、エビデンスに基づいた最善の治療を提供します。

## 診療体制

午前に初診・再診外来を毎日設置しています。午後は、各専門外来にて高度な治療を提供します。木曜日はクリニカル・カンファレンスにて、診断や治療に苦慮する患者さんに最適な検査・治療を提案します。

## 治療方針

生物学的製剤、免疫チェックポイント阻害剤などの新規治療法を積極的に導入し、科学的エビデンスに基づく医療を提供します。

## 形成外科



百澤 明

身体組織の変形・欠損・醜状といった機能的・整容的障害に対し、あらゆる手法を駆使して改善を目指す——それが、われわれ形成外科です。当科は日本形成外科学会認定専門医が6名在籍する、形成外科では県内で最大の診療機関です。

## 診療体制

全身麻酔下での手術は火・金曜日、外来診療は月・水・木曜日に行っています。また他診療科や地域連携を活かしながら、良質な診療体制を整えています。

## 治療方針

当科の治療を通じて、患者さんがよりよい生活を送り、笑顔で社会生活に参加できることを目標に、適切な医療を提供しています。

## 消化器外科、乳腺・内分泌外科



市川 大輔

当科は、消化器疾患および乳腺・内分泌疾患に対する外科治療を専門とし、地域医療の中核を担っております。高度な専門知識と技術を生かし、患者さん一人ひとりに最適な医療を提供しています。

## 診療体制

専門医を中心としたチーム医療体制を整備し、手術・化学療法・放射線治療などを統合した最適な治療を提供しています。ロボット手術などの最先端技術も積極的に導入し、安全性と低侵襲性を両立しています。

## 治療方針

早期癌に対しては低侵襲かつ可能な限り機能を温存する手術を目指しています。また、高度進行癌に対しては、集学的治療による治療成績の向上も目指しております。

## 特色と主な実績

初診外来・再診外来では、年間のべ23,000人の外来患者さんの診療を行います。

入院では、平均12床を稼働させ、重症・難治例の治療、手術を行います。

腫瘍外来：免疫チェックポイント阻害剤など新規化学療法をエビデンスに基づき提供します。

角化症外来：生物学的製剤を含めた全身療法を積極的に導入します。

アレルギー外来：アレルギーセンターと連携し、アレルギーの精査と生物学的製剤など新規治療薬を導入します。

膠原病外来：リウマチ膠原病センターと連携し、様々な難治症例の治療を集学的に行います。

## 対象疾患

## 特色と主な実績

性別不合(性同一性障害)については、国内でも数少ない日本GI(性別不合)学会認定施設として全国から患者さんを受け入れています。この分野では手術件数・研究実績ともに国内トップクラスで、2023年3月には同学会の研究大会を主催するなど、全国をリードする立場にあります。

また他診療科と連携し、がんなどの悪性腫瘍切除後の再建手術にも積極的に取り組んでいます。近年では美容外科の術後トラブルに関する相談も増えており、時代の要請に応じた診療を実践しています。

## 対象疾患

外傷(顔面骨折、手指外傷など)、

腫瘍外来：メラノーマ、有棘細胞癌、肉腫など

角化症外来：乾癬、掌跖膿疱症、化膿性汗腺炎など

アレルギー外来：アトピー性皮膚炎、蕁麻疹など

膠原病外来：皮膚筋炎、エリテマトーデス、強皮症など

色素・レーザー外来：白斑、血管腫、母斑など

水疱症外来：自己免疫性水疱症など



先天異常(多指症、埋没耳、睫毛内反など)、腫瘍切除後の組織欠損、瘢痕拘縮、ケロイド、難治性潰瘍、陳旧性顔面神経麻痺、眼瞼の変性疾患(眼瞼下垂など)、性別不合、美容外科術後後遺症など



がん)、その他消化器がん全て、消化器疾患全て、早期乳がん、転移・再発乳がん、遺伝性乳がん卵巣がん症候群(予防切除、遺伝カウンセリング含む)、線維腺腫、葉状腫瘍、乳腺炎



## 心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科



中島 博之

第二外科は心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科の三領域から構成されています。それぞれのチームは小児先天性心疾患や成人の心臓・血管疾患の手術、肺がんをはじめとした呼吸器疾患の手術、小児に関する手術を中心とした治療を行っています。

## 診療体制

心臓血管外科では常勤9名（うち専門医7名）、呼吸器外科では6名（専門医3名）、小児外科では2名（専門医1名）で基本的に24時間緊急手術にも対応可能なチーム体制を構築しています。それぞれが対応する内科系と連携し、患者さんに最適な治療を選択しています。

## 治療方針

エビデンスに基づく低侵襲・安全第一の

治療を基本とし、全身状態、病状の進行度に応じて計画しています。患者さんの要望にも可能な限り対応するよう努めています。小児では手術を行う時期、手術方法、周術期管理について個々の症例に応じて対応しています

## 特色と主な実績

心臓血管外科では心臓大血管手術が年間150例程度、2025年には小開胸による低侵襲心臓手術を開始、血管手術を合わせて年間200例超。呼吸器外科では年間手術数は約200例で、胸腔鏡手術に加え2018年から手術支援ロボット（ダヴィンチ）を用いた低侵襲手術を積極的に施行しています。進行肺癌に対しては呼吸器内科、放射線科と連携して集学的治療を行っています。また当院は小児がん診療を行う山梨県内唯一の施設であり、小児外科では小児固形がんの生検、

切除手術、良性腫瘍の切除術、長期留置型カテーテルの挿入手術も施行しています。

## 対象疾患

冠動脈疾患、弁膜症、胸部・腹部大動脈瘤・解離、末梢血管疾患、先天性心疾患、先天性のその他の疾患、成長過程に出現する小児疾患、小児がん・腫瘍、肺・縦隔の腫瘍、気胸や膿胸などの急性胸部疾患



## 整形外科



波呂 浩孝

体幹と四肢の骨、軟骨、筋、靱帯、神経などの組織が健全に保持され、生活の質が担保されるための医療を行います。子供から高齢者まで広い年齢層における先天性疾患、変性疾患、外傷、腫瘍などを対象に投薬などの内科的治療から、低侵襲から大侵襲までの手術治療、リハビリテーションを行います。

## 診療体制

脊椎班・関節班・腫瘍・足の外科・手の外科班を主軸に入院・手術診療を行っています。外来では小児や関節リウマチなどの多岐にわたる分野の診療にあたり、適切な治療が受けられるようにサポートします。

## 治療方針

手術治療は最終手段となることが多く、適切な保存治療（投薬・外固定・リハビリ

テーション）にて治療を得られるか患者さんとリスク・ベネフィットを相談し治療方針を決定します。

## 特色と主な実績

それぞれの分野の専門家が最先端治療を実践し、治療・若手医師の教育に当たります。専門医以上は学会発表や論文発表を率先的に行い全国治療水準にキャッチアップし、医局全体の治療実績の研鑽に努

めています。

## 対象疾患

- 関節疾患（変形性股関節症、変形性膝関節症、変形性足関節症など）
  - 腫瘍（原発性骨・軟部腫瘍、転移性骨・軟部腫瘍）
  - 脊椎疾患（頸椎～腰椎の椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄、脊椎変形など）
- 手外科・小児整形・関節リウマチなど



## 脳神経外科



吉岡 秀幸

脳神経外科では、脳、脊髄、末梢神経およびその付属器官（血管や骨など）の疾患に対して、外科的な治療を含めた総合診療を行います。当科は、昭和59年に開設されて以来、山梨県の脳神経外科診療の中心的な役割を果たしています。

## 診療体制

血管障害、脳腫瘍、脊椎脊髄疾患に対する各専門医からなるグループが編成され診療にあたっています。

## 治療方針

24時間体制のホットラインを開設し、近隣病院や救急隊から直接救急患者を受け入れています。手術は、術中高磁場3T-MRIや多関節型血管撮影装置（ハイブリッド手術室）、ナビゲーションシステム、4K内視鏡、

術中CTなど最新の設備を備えた手術室で行っています。

## 特色と主な実績

脳卒中に対しては、神経内科や循環器内科と連携し、一次脳卒中センターコア施設として24時間、万全の治療体制を整えています。脳腫瘍においては、良性から悪性まで、手術は勿論、後療法を含め一貫した治療を行っています。また、脊髄外科治療やてんかん治療では、院内横断的な複数科で構成される脊椎・脊髄センターやてんかんセンターと連携しています。

顕微鏡手術、神経内視鏡手術、血管内治療など手術件数は年間350例を超え、最先端高難度治療も安全かつ確実に行われています。

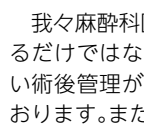
## 対象疾患

脳卒中（くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、未破裂脳動脈瘤など）、良性及び悪性脳腫瘍

（神経膠腫、髄膜腫、下垂体腺腫など）、脊椎脊髄疾患（脊柱管狭窄症や椎間板ヘルニアなど）、小児神経疾患、頭部外傷、機能的神経疾患（三叉神経痛、片側顔面けいれん、てんかんなど）です。



## 麻酔科



我々麻酔科医は安全な手術麻酔を提供するだけではなく、的確な術前評価と質の高い術後管理が行えるように、日夜努力しております。また、ペインクリニック外来や緩和ケア診療では、患者さんが快適で痛みのない毎日を過ごせるように力を注いでおります。

## 診療体制

日々の手術麻酔の診療体制に加え、周術期外来・麻酔科術前外来、術後疼痛管理チーム、ペインクリニック外来、緩和ケアチームなど、チームを編成して診療に当たっています。

## 治療方針

ペインクリニックでは、硬膜外ブロック、神経ブロック、薬物療法、直線偏光近赤外線治療器、キセノン光治療器、針治療などを併用しています。また、顔面痙攣・眼瞼痙攣に

対してボツリヌス療法も行っています。

## 特色と主な実績

2024年度の麻酔科管理手術件数は、全病院的な努力の結果、4,995例（全手術件数は6,946例）と過去最高件数になり、600床規模の大学病院としては全国屈指のレベルです。また、2016年から新棟手術室へ移転し、従来の9室から最新機器を備えた13室へ増室したことで、高難度手術をより多く行える設備が整いました。

## 対象疾患

ペインクリニックや緩和ケアにおいては、帯状疱疹後神経痛、三叉神経痛、腰背部痛などの難治性の痛み、顔面神経麻痺、顔面痙攣、がんの痛みなどを対象としています。



## 産婦人科



吉野 修

婦人科悪性腫瘍の早期診断と集学的治療、内視鏡手術、子宮内膜症の専門診療、不妊治療、妊孕性温存、着床前検査や出生前診断など、女性のライフステージに応じた医療を展開。若年から中高年まで多様な課題に対応し、総合病院ならではの多診療科連携により、安全で質の高い医療を提供しています。緊急手術にも対応し、地域の周産期・婦人科医療を支える中核施設としての役割を果たしています。

## 診療体制

腫瘍・不妊・内膜症・超音波・女性ヘルスケアの専門外来を設置し、各分野の専門医が対応。県内唯一の大学病院産婦人科として、高度医療と地域連携に注力しています。

## 治療方針

各分野の専門医が協力し、最新の知見と技術に基づいた、安全で質の高い医療を提供します。

## 特色と主な実績

婦人科悪性腫瘍の早期診断と集学的治療、内視鏡手術、子宮内膜症の専門診療、不妊治療、妊孕性温存、着床前検査や出生前診断など、女性のライフステージに応じた医療を展開。若年から中高年まで多様な課題に対応し、総合病院ならではの多診療科連携により、安全で質の高い医療を提供しています。緊急手術にも対応し、地域の周産期・婦人科医療を支える中核施設としての役割を果たしています。

## 対象疾患

妊娠・分娩、婦人科がん、不妊症、子宮内膜症、内視鏡手術対象疾患、思春期・更年期疾患、女性内分泌疾患など。



## 泌尿器科



三井 真彦

泌尿器科は、腎臓や尿路の疾患をはじめ、男性の生殖器疾患や女性の骨盤内疾患などを対象とし、小児から高齢者まで幅広い年齢層に対して、内科的治療から外科的治療までを行う、幅広い領域を専門とする診療科です。

## 診療体制

一般的な泌尿器科疾患の治療に加えて、ロボット支援手術などより専門的な泌尿器科疾患に対する治療に、エキスパートが診療にあたっています。山梨県における泌尿器科疾患の砦となるような施設を目指しています。

## 治療方針

地域に暮らす人たちが安心して生活することができるよう、地域の医療機関とも協

力し、患者さんに最も適した治療を選択して幅広い治療を行っています。

## 特色と主な実績

最先端の術式であるロボット支援手術については、泌尿器科領域におけるすべての術式を施行しており、現在では全国と同規模病院の中でもトップクラスの施設です。泌尿器がんに対する放射線療法や化学療法などの手術以外の治療も積極的に行っています。

また、各種の先天性泌尿器疾患を含む小児泌尿器科、尿失禁、骨盤臓器脱などの女性泌尿器科、腎代替療法や腎移植による腎不全医療、性機能障害や男性不妊症に対する治療など、泌尿器がん以外の良性疾病に対する治療も積極的に行っています

## 対象疾患

泌尿器がん：前立腺がん、膀胱がん、腎がん

など  
副腎腫瘍、前立腺肥大症、神経因性膀胱、尿失禁、間質性膀胱炎、骨盤臓器脱、小児泌尿器科疾患、慢性腎不全性機能障害、男性不妊症



## 眼科



柏木 賢治

山梨県並びに近隣の眼科の中核病院として高度の診療内容が必要な眼および眼付属器疾患に対応する診療体制を整えています。新しい検査や治療法を積極的に高度で的確な眼科医療を提供しております。さらに増加する眼科患者に対応するため、地域眼科との連携を行っています。

## 診療体制

外来診療は基本的に月曜、水曜、金曜が初診と一般再診を行っており、火曜日と木曜日は専門外来となっています。なお、一部専門外来診療に関しては上記以外にも行っております。入院手術は火曜日、木曜日、金曜日に行い、火曜と木曜は日帰り手術を行っています。

## 治療方針

患者さんの高いレベルでの生活の質を

“見える”という観点から守るための取り組みを行っています。また残念ながら高度な障害となった方の生活上の支援も行っています。

## 特色と主な実績

山梨県並びに近隣において最も多数例の高度な眼疾患を有する患者さんの診療を行っています。手術件数も年々増加し、特に緑内障手術については年間400-500件行っております。また眼科救急も一次救急から高度な治療を要する三次救急まで毎日受け入れております。

## 対象疾患

幅広い眼科疾患を対象としています。特に重点的な対象疾

患としては、緑内障、網膜硝子体疾患、角結膜疾患、経眼科疾患、小児眼科疾患、眼瞼、眼窩疾患、涙道疾患、ロービジョン、その他入院手術の必要な白内障、ぶどう膜炎治療も広く行っております。



## 頭頸部・耳鼻咽喉科



櫻井 大樹

耳・鼻・咽頭・喉頭など耳鼻咽喉科・頭頸部外科の疾患に対し、山梨県の中核拠点として高度な治療まで提供しています。悪性腫瘍から機能障害まで幅広く対応しています。

## 診療体制

頭頸部腫瘍、めまい・難聴、副鼻腔炎・アレルギー性鼻炎などに対し専門外来を開き、最新の医療機器や手技を活用したチーム医療を展開しています。小児から高齢者まで幅広く対応しています。

## 治療方針

頭頸部癌では、根治性と機能温存の両立を重視し、低侵襲手術や化学放射線療法、再建術を組み合わせた個別化治療を行っています。機能障害に対しても検査と薬物療法

や手術治療により対応しています。

## 特色と主な実績

頭頸部がんに対し、根治的切除から機能温存・再建手術まで幅広く対応し、早期がんには内視鏡を用いた低侵襲手術を実施しています。喉頭摘出後の代用音声手術や、県内唯一の人工内耳手術認可施設として重度難聴にも対応しています。アレルギー性鼻炎には舌下免疫療法を、重症花粉症や好酸球性副鼻腔炎には分子標的薬を用いた最新の治療を提供しています。新生児聴覚障害や睡眠時無呼吸症にも専門的診療を行っています。

## 対象疾患

頭頸部がん、甲状腺腫瘍、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、難聴、めまい、嗅覚障害、音声障害、睡眠時無呼吸症、小児聴覚障害、咽頭や頸部の感染性疾患など。



## 放射線治療科



大西 洋

放射線治療部では、日本でも有数の高精度照射実施施設として、質の高いがん放射線治療を提供しています。またAIを駆使した最先端の研究も実施しています。

## 診療体制

放射線治療装置は3台（CT-リニアック、トモセラピー、密封小線源治療装置）で、関連施設ではサイバーナイフや陽子線治療も実施しています。また県内で唯一の専用治療室を有したRI内用療法を実施しています。

## 治療方針

放射線治療によりがんの根治、疼痛の緩和を図ります。患者さんのお気持ちや考え方を大切にしたりやさしい低侵襲がん治療（Patient-guided radiotherapy）を心がけています。

## 特色と主な実績

当科の研究成果は世界中で引用されており、特に肺癌の定位放射線治療や、呼吸性移動対策用デバイスである「アプチェス」は国内外で高い評価を得ています。外照射においては、定位放射線治療（SRT）、息止め放射線治療、強度変調放射線治療（IMRT/VMAT）、体表面画像誘導放射線治療（SGRT）、画像誘導放射線治療（IGRT）など最先端の技術を取り入れています。また内照射においても、画像誘導小線源治療（IGBT）やRI内用療法等、専門性の高い放射線治療を実施しています。

## 対象疾患

脳腫瘍、頭頸部がん、食道がん、

肺がん、乳がん、前立腺がん、子宮がん、悪性リンパ腫などの悪性腫瘍全般、および放射線治療適応の良性疾患（甲状腺眼症、ケロイド等）



## 放射線診断科



市川 新太郎

放射線診断科は最先端機器を用いて非侵襲的に全身の病気を診断しています。画像ガイド下に低侵襲な治療も行っています（詳細はIVRセンターの項参照）。

## 診療体制

最新型CT・MRI、核医学を用いた画像診断、機能的画像解析の臨床と研究を行っています。IVRセンターではX線透視及び超音波・CTガイド下で体を切らずに治療する血管内治療や経皮的治療を施行しています。

## 治療方針

依頼された検査に最適な撮像方法の提案、安全な検査の実施、迅速な画像診断報告を心がけています。IVRセンターでは低侵襲かつ、症例ごとに柔軟な治療選択肢を考

慮し実践しております。

## 特色と主な実績

翌営業日までに90%以上の画像診断レポート作成を行っております。時間外、休日等も画像診断およびIVRを行う体制をとっており、緊急症例にも迅速に対応しております。また肝臓など臓器の硬さを計測するMRエラストグラフィ、体の中の血液の流れを可視化する4D flow MRIの臨床応用に力を入れています。2023年には遠隔画像読影システムを導入し、関連病院や海外の読影支援を展開しており、地域貢献・国際貢献の一翼を担っております。

## 対象疾患

悪性腫瘍の診断、治療効果判定、再発の検出（CT/MRI/RI）、機能画像（functional MRIなど）、悪性腫瘍の抗腫瘍剤動注、緊急止血術、CTガイド下生検など



## 歯科口腔外科



上木 耕一郎

口には、食べる、話すこと、豊かな表情の形成など日常生活を送る上でとても重要な機能があります。

当科では、「口腔」に関わる様々な疾患を対象に、しっかりと診断し、適切な治療を行い、口腔機能のリハビリまで一貫して対応します。

## 診療体制

お口の健口は、全身の健康に密接に関わります。大学病院の歯科口腔外科として、個々の患者さんに適した診断・治療内容をアップデートできるように心がけながら、臨床他科と連携して最善の治療ができるようにしています。

## 治療方針

口腔、顎、顔面を対象とし、全身との関わり

りを考慮した上で、エビデンスに基づいた診断と十分なインフォームドコンセントを得て治療を進めるように心がけています。

## 特色と主な実績

顎変形症の患者さんに対しては、顎の形態、噛み合わせの状態によって各種の術式を使い分け、矯正歯科医との連携のもと、最善の治療結果が得られるように安全・安心の医療をお届けできるように努めています。

さらに最近、誤嚥性肺炎の防止策としてだけでなく、がん治療の合併症対策としての口腔ケアの重要性が広く認識されてきました。当科においても口腔ケアへの積極的な取り組みをしています。

## 対象疾患

有病者や全身管理の必要な患者さんの一般歯科治療をはじめとして、智歯や埋伏歯、外

傷、顎嚢胞、腫瘍、顎変形症など口腔外科疾患の全般を広く扱っています。



## 救急科



森口 武史

救急科は重篤な疾患を扱うクリティカルケアの中核であり、地域医療の最後の砦として機能しています。重症患者に対して包括的かつ高度な医療を提供することを使命とし、24時間体制の診療体制を整えています。

## 診療体制

複数診療科にまたがる病態も包括的に対応し、迅速な判断と処置を可能とする体制を整えています。チーム医療の強化と教育の充実に努め、スタッフ全員が迅速かつ的確な対応を実施できるよう取り組んでいます。

## 治療方針

私たちは患者の命を救う使命を持ち、常に最前線での診療に取り組んでいます。現

場の最前線で患者と向き合い、絶えず進化する医療に適応しながら最善の医療を提供します。

## 特色と主な実績

年間重症疾患への対応実績を持ち、地域中核病院としての役割を果たしています。最新技術の導入や多施設との連携を通じて、診療の質向上と地域医療への貢献を目指しています。

## 対象疾患

ECMO、人工呼吸器、血液浄化などを用いた救命医療を行い、院内急変対応や近隣病院からの重症患者の転院治療も担っています。また、診療に必要な医療資源の調整や、急性期から

回復期への移行支援など、多面的な役割を担っています。



## 病理診断科



近藤 哲夫

病理診断には組織診断、細胞診断、術中迅速診断、病理解剖があり、病理診断科は病理部が連携して病理診断業務を行っています。

腫瘍、炎症、変性など様々な疾患に対して多様な染色技術、ときに遺伝子解析も加えて病理診断を行います。病理診断は医療の質を保証する“かなめ”として重要な役割を担っています。

## 診療体制

病理診断科には、7名の病理専門医（うち細胞診専門医6名）、3名の病理専攻医が所属し、附属病院の病理診断業務を行っています。

## 特色と主な実績

質の高い病理診断を提供するために組織診断の全症例において病理専門医2名が診

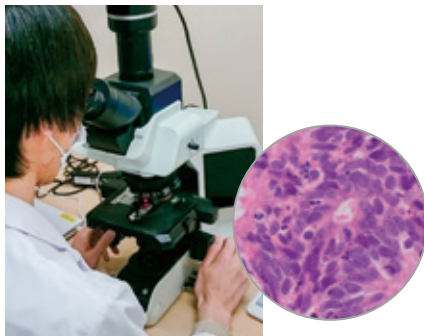
断のダブルチェックを行い、細胞診断は複数の細胞検査士がスクリーニングした後に細胞診専門医の資格を有する病理医が判定しています。希少例や難解例は院内での病理カンファレンスで検討され、必要に応じて外部専門家へのコンサルテーションを行います。各診療科、部門との多職種合同カンファレンスも積極的に行っています。術中迅速診断では腫瘍の診断、転移の有無、切断端の判定を手術中に行っており、術式の決定に必要な病理情報を術者に提供しています。

病理解剖（剖検）は不幸にしてお亡くなりになられた患者様の全身臓器、組織を詳細に観察することにより、病因や病態の解明、治療効果の判定、死因の究明などの総合的な検証を行っています。病理解剖の結果は臨床病理検討会（CPC）を通じて主治医に報告されます。得られた貴重な知見は医

師、医療従事者の育成、医学の進歩に役立てています。

## 対象疾患

組織診断（生検、手術検体）、細胞診断、術中迅速診断が行われる全身臓器の腫瘍性疾患、炎症性疾患、変性疾患など多様な疾患が病理診断科の診断対象です。



## リハビリテーション科



波呂 浩孝

様々な疾患や手術侵襲により身体機能が低下すると社会復帰に時間を要します。患者さん個々の状態に即して、術前・術後に身体機能維持・改善を図るため全人的なリハビリテーション医療を提供します。

## 診療体制

リハビリテーション医療はチーム医療で行われ、リハビリテーションチームは医師2名、理学療法士20名、作業療法士7名、言語療法士4名、医療ソーシャルワーカー、看護師により形成されています。

## 治療方針

リハビリテーション医療を依頼された翌日から開始できるように努め、多職種とのカンファレンスにより患者さんの情報を共有し、治療を行っています。

## 遺伝子疾患診療科



石黒 浩毅

今日、様々な診療科にて生殖細胞系列パリアントの検出（遺伝性疾患の確定診断）を目的とした遺伝学的検査が行われるようになりました。遺伝子疾患診療科は、クライアントに対する診療、市民および医療者へのゲノム医療関連教育の構築と実施、遺伝性疾患を罹患するクライアントらの支援ニーズの探求などの臨床研究、および精神疾患発症に関する遺伝学的研究などを行っています。

## 診療体制

臨床遺伝専門医と認定遺伝カウンセラーが、看護師や助産師、社会福祉士らとチーム医療を実践しています。さらに附属病院に勤務する医師や看護師、臨床実習を行う学生らへの遺伝教育（倫理教育を含む）を実施することで、病院全体の“安全で安心なゲノム医療の提供ができる”診療体制を支えます。

## 治療方針

当科は遺伝子疾患診療センターのコア診療科として、AYA世代となった先天性疾患、成人期に診断された遺伝子疾患や遺伝性腫瘍（がん）、生殖医療における遺伝学的検査、時に多因子疾患の遺伝

相談について、遺伝カウンセリングを提供します。遺伝カウンセリングとは、クライアントが疾患の症状・予後や血縁者への遺伝について悩みや不安を抱えている場合に、正確な遺伝医学的情報とともに、身体機能や精神機能の低下に対する医療と社会資源、そして心理支援を提供するものです。

当院はまたがんゲノム医療連携病院と遺伝性乳癌卵巣癌総合診療基幹病院の指定を受けています。当科はがんゲノムパネル検査（CGP）・エキスパートパネルのコアメンバーを担うとともに、遺伝性腫瘍の確定診断や未発症血縁者に対する遺伝カウンセリングを実施しています。

## 特色と主な実績

臨床検査技師あるいは助産師のライセンスを持つ認定遺伝カウンセラーをスタッフとすることで、遺伝性疾患の遺伝診療だけでなく、がんゲノム（遺伝性腫瘍）や生殖医療にも対応しています。診療科長は全国に8名しかいない精神科専門医と臨床遺伝専門医のダブルライセンス医師です。わが国では、延命が可能となった多くの染色体疾患の成人移行期における精神症状について、適切な医療が受けにくいのが現状です。オンライン診療が可能であっ

たコロナ禍より当科の診療が知られるようになり、全国から来る相談に対してオンライン診療体制の再構築を検討しています。また、クライアントが抱える多様な苦悩に気づき、的確なアセスメントと介入を通じてQOL（生活の質）の向上や全人的苦痛の予防・軽減を図る「遺伝医療における緩和ケアの構築」を遺伝関連学会や精神神経学会などにて提唱しています。

## 対象疾患

難病（染色体疾患、遺伝子疾患などの先天性疾患）、成人移行期医療（ダウン症候群や22q11.2微小欠失症候群など）、成人発症疾患（ファブリー病、アミロイドーシスなど）、遺伝性腫瘍、遺伝子疾患に関する次世代の相談



## Gastroenterology and Hepatology

The Department of Gastroenterology and Hepatology, Endoscopic Treatment Division, and Liver Disease Center work together to provide cutting-edge treatment involving the esophagus, stomach, small intestine, large intestine, liver, bile duct, and pancreas.

## Medical services

We examine many organs for digestive diseases. Therefore, we have formed three separate groups—the digestive tract group, the liver group, and the biliary-pancreatic group—to provide outpatient and inpatient care.

## Dignosis and treatment policy

Based on our hospital's philosophy of "Relief for all patients", we aim to deliver safe and advanced medical care for digestive diseases.

## Cardiovascular Medicine

In the Department of Cardiovascular Medicine, we provide advanced treatments utilizing specialized diagnostic and therapeutic equipment. Our research activities focus on the treatment and prevention of ischemic heart disease and arteriosclerosis, as well as the development of cutting-edge medical care for arrhythmias and heart failure.

## Medical services

The Department of cardiovascular medicine has 25 doctors who provide examinations and treatment for all cardiovascular diseases 24 hours a day. As a cardiovascular clinic in Yamanashi Prefecture, we strive every day to provide safe and secure medical care to our patients.

## Dignosis and treatment policy

By promoting the prevention of cardiovascular diseases, we aim to extend the healthy life expectancy of the population and implement measures that contribute to reducing the

## Specialties

We provide high-level medical care for the treatment of all digestive diseases. In particular, our liver group provides high-level medical care for the treatment of cirrhosis and hepatocellular carcinoma, our biliary-pancreatic group provides high-level medical care for pancreatic cancer, common bile duct stones, and cholangitis, and our gastrointestinal group provides high-level medical care for endoscopic submucosal dissection and inflammatory bowel diseases (ulcerative colitis and Crohn's disease).

## Target diseases

Endoscopic hemostasis, EVL, EIS, Image enhanced endoscopy, ESD and chemotherapy for GI cancer, Capsule endoscopy, Small

burden on medical and long-term care services.

## Specialties

Regarding ischemic heart disease, we operate a 24-hour system to accept patients with acute coronary syndrome and provide emergency examination and treatment. Last year, we performed 254 cases of coronary artery intervention therapy. Together with the department of cardiovascular surgery, we also performed transcatheter aortic valve implantation (TAVI) for severe aortic stenosis and MitraClip procedures for mitral regurgitation. Last year, we conducted 85 cases of TAVI and 10 cases of MitraClip. Since the introduction of TAVI in 2017, we have performed over 400 procedures and obtained certification as a specialized facility.

Catheter ablation procedures for atrial fibrillation, supraventricular tachycardia, and ventricular arrhythmias were also performed in 272 cases last year. Additionally,

## Respiratory Medicine

In the Department of Respiratory Medicine, specialists in various fields provide high-quality medical care for a wide range of respiratory diseases—including lung cancer, allergies, and infections—by utilizing advanced diagnostic and therapeutic facilities.

## Medical services

Led by board-certified respiratory specialists, our team includes experts in bronchoscopy, certified cancer treatment physicians, medical oncologists, and allergy specialists. We provide comprehensive care through multidisciplinary teamwork and seamless collaboration with other departments.

## Dignosis and treatment policy

For inpatients and selected outpatients,

treatment plans are discussed twice weekly in departmental conferences. In lung cancer care, personalized treatment is provided based on genetic profiling, and optimal strategies are developed through multidisciplinary discussions (MDD) with thoracic surgeons and radiation oncologists.

## Specialties

In lung cancer care, we offer cutting-edge personalized medicine by incorporating not only conventional genetic testing but also in-house comprehensive genomic profiling (CGP) and expert panel discussions. Accurate diagnoses are achieved through collaborative pathology conferences involving thoracic surgery, radiology, and pathology. For interstitial lung diseases, we have introduced cryobiopsy as a

## Diabetes and Endocrinology

We perform professional diagnosis and treatment of all endocrine and metabolic diseases.

## Dignosis and treatment policy

For diabetes, we conduct real-time continuous glucose monitoring (CGM) and insulin pump therapy (CSII). Real-time CGM in combination with CSII, which is called as SAP (sensor augmented pump) was also conducted. We promote the treatment of diabetes through a comprehensive approach based on team medical care. For endocrine diseases, we provide diagnosis and treatment in all areas. We perform adrenal venous sampling in cooperation with department of radiology for a diagnosis of primary aldosteronism utilizing a clinical path.

## Specialties

Our department is a certified education facility of Japan Diabetes Society and Japan Endocrine Society. We have been educating young medical practitioners and researchers. In addition, we hold regular conferences with pediatricians to ensure a smooth transition to adult care for patients with diabetes or endocrine disorders that developed during childhood.

## Target diseases

We treat diabetes (e.g. type 1 diabetes, type 2 diabetes, MODY), thyroid (e.g. Graves'/Basedow's disease, Hashimoto thyroiditis, thyroid nodule), pituitary (e.g. acromegaly, prolactinoma, Cushing's disease), and adrenal

intestinal endoscopy, Treatment of IBD. Oral treatment for HCV, Oral treatment for HBV, Treatment for symptoms of cirrhosis, Treatment for HCC with RFA, TACE, molecular target drugs and immune checkpoint inhibitors. Biliary pancreatic endoscopy, ERCP, EST, ENBD, Stenting, EUS-FNA, EUS-BD, Chemotherapy.

we carried out transcatheter left atrial appendage closure procedures. For chronic thromboembolic pulmonary hypertension, we performed 21 cases of percutaneous pulmonary artery balloon angioplasty. We have introduced catheter treatments that are only available at our hospital within Yamanashi Prefecture, establishing a system capable of responding to nearly all cardiovascular diseases.

## Target diseases

We address a wide range of cardiovascular conditions, including ischemic heart disease (angina pectoris and acute myocardial infarction), arrhythmias (such as atrial fibrillation and ventricular tachycardia), heart failure (due to valvular heart disease and cardiomyopathy), hypertension, aortic and peripheral artery disease, pulmonary hypertension, and congenital heart disease.

novel diagnostic method and established the region's only MDD system in collaboration with pathology, rheumatology, and radiology departments to provide integrated diagnosis and treatment.

## Target diseases

We provide comprehensive care for a wide range of conditions, including malignant tumors such as lung cancer, pleural mesothelioma, and mediastinal tumors; infectious diseases such as pneumonia, nontuberculous mycobacterial infections, and pleuritis; as well as bronchial asthma, COPD, interstitial lung diseases, and pneumothorax.

(e.g. Cushing's syndrome, primary aldosteronism, pheochromocytoma) diseases.

## Department of Nephrology

The Department of Nephrology provides medical care for a wide range of diseases, including diabetic nephropathy, nephrosclerosis, primary glomerulonephritis, tubulointerstitial disease, hereditary kidney disease, vasculitis syndrome, and lupus nephritis. In addition to treating hypertension, diabetes, dyslipidemia, and collagen diseases that can cause chronic kidney disease, we also introduce and manage hemodialysis and peritoneal dialysis, and treat complications of renal failure.

### Medical services • Dignosis and treatment policy

We strive to provide accurate diagnoses and optimal treatments by conducting histological diagnoses through kidney biopsies and genetic testing as needed. We also conduct numerous clinical trials and investigations into kidney

disease. Yamanashi University Hospital is the only medical institution in the prefecture where kidney transplants are an option, and post-transplant management is handled by the Department of Nephrology. We also perform shunt creation procedures necessary for hemodialysis and catheter insertion procedures required for the introduction of peritoneal dialysis.

### Specialties

We are leading the Yamanashi Prefecture Chronic Kidney Disease Prevention Program, and are working to detect chronic kidney disease early and prevent its progression by raising awareness of chronic kidney disease, expanding the chronic kidney disease hospital-clinic collaboration physician system, strengthening

cooperation with local medical institutions, etc. We are also contributing to creating a community where people are less likely to develop lifestyle-related diseases through our efforts in the Yamanashi Salt Reduction Project and Project ZERO.

### Target diseases

Diabetic nephropathy, nephrosclerosis, primary glomerulonephritis, tubulointerstitial disease, hereditary kidney disease (polycystic kidney disease, Alport syndrome, etc.), vasculitis syndrome, lupus nephritis, renal failure, hypertension, diabetes, dyslipidemia, etc.

## Department of Rheumatology

The department was established in 2020. We specialize in autoimmune diseases, such as rheumatoid arthritis, vasculitis, and systemic lupus erythematosus. We provide high-quality community-based medical services through highly specialized care and education

### Medical services

We provide both outpatient and inpatient care through regular departmental conferences to ensure consistent, high-quality management. Musculoskeletal ultrasound was used for early diagnosis and treatment assessment of rheumatoid arthritis. Multidisciplinary care was provided in collaboration with the Rheumatology Center.

### Dignosis and treatment policy

As rheumatic diseases are autoimmune, immunosuppression is the mainstay of treatment. We carefully assessed the disease type and activity to provide induction and maintenance therapy using corticosteroids and immunosuppressants.

### Specialties

Physical examination alone may not be sufficient for diagnosing arthritis; thus, we actively use musculoskeletal ultrasound for early diagnosis and disease activity assessment, ensuring appropriate pharmacological treatment. We also have extensive experience in managing systemic manifestations such as interstitial pneumonia, nephritis, and neurologic complications, and we are continuously trained to handle comorbidities effectively. The Rheumatology Center, formed

in collaboration with Orthopedics and Dermatology, enables comprehensive and specialized care. As university hospitals, we strive to excel in clinical care, education, and research

### Target diseases

We managed a wide range of autoimmune diseases, including rheumatoid arthritis, polymyalgia rheumatica, systemic lupus erythematosus, dermatomyositis, systemic sclerosis, Sjögren's syndrome, psoriatic arthritis, spondyloarthritis, Takayasu's arteritis, giant cell arteritis, and ANCA-associated vasculitis.

## Department of Neurology

There are a wide variety of neurological disorders, including stroke, dementia, degenerative diseases, etc. The Neurology has remarkably progressed in elucidating pathology and developing treatment methods.

### Medical services

As the core hospital in Yamanashi Prefecture, we strive to provide the best evidence-based treatment to our patients. We treat a wide range of neurological disorders, from stroke, dementia, and intractable neurological diseases, and even rare diseases.

### Dignosis and treatment policy

We provide the novel treatments with the assistance of specialists with the Japanese Board of Neurology, Japanese Board of Stroke, and Japanese Board of Dementia. We discuss

closely the therapeutic strategy for various neurological disorders at conferences, and strive to provide accurate diagnoses and treatment that is tailored to the needs of each patient.

### Specialties

In stroke treatment, we conducted the Brain-Heart Team with the neurosurgeons and cardiologists. We perform transesophageal echocardiography for cerebral infarction of unknown stroke etiology to explore the pathology in stroke patients who are hospitalized in our hospital, or treated in nearby facilities. We connect this to percutaneous closure surgery for patent foramen ovale, and active lipid management for atherosclerotic diseases such as aortic arch plaques. We

actively promote Levodopa-Carbidopa Intestinal Gel and Continuous Subcutaneous Foslevodopa/Foscarbidopa therapies for advanced Parkinson's disease, and anti-amyloid beta antibody therapies for Alzheimer's disease.

### Target diseases

Stroke, neurodegenerative diseases, neuroinfectious diseases, demyelinating diseases, metabolic and toxic diseases, peripheral nervous diseases, muscle diseases, neuromuscular junction diseases, spinal cord diseases, functional diseases, and neurological diseases associated with internal medicine

## Department of Hematology and Oncology

As the core center for therapy for blood diseases in Yamanashi Prefecture, the Department of Hematology and Oncology treats both benign blood diseases and a wide range of hematopoietic malignancies. We have obtained Category 1 transplant certification from the Japanese Society of Hematopoietic and Immuno-Cell Therapy, and since 2025 have also been certified for CAR-T cell therapy, providing cutting-edge treatment.

### Medical services

The Department of Hematology and Oncology has 14 doctors, eight of whom are specialists of the Japanese Society of Hematology, and four of whom are transplant certified doctors by the Japanese Society of Hematopoietic and Immuno-Cell Therapy. In addition, one doctor

is certified as a cancer chemotherapy specialist by the Japanese Society of Clinical Oncology. Many of the nurses in the Hematology and Oncology ward, has received specialized training in hematopoietic cell transplantation. The ward also has a dedicated pharmacist and rehabilitation staff, and they provide medical care as a team.

### Dignosis and treatment policy

We respect the wishes of patients and their families and strive to provide treatment in accordance with the latest guidelines. We also participate in many domestic and international clinical trials and are actively committed to providing cutting-edge medical care

### Specialties

- We perform 20-30 hematopoietic stem cell transplants per year.
- We inpatient around 500 patients per year.
- We perform outpatient chemotherapy for a total of 250-300 patients each month.
- We conduct more than 20 clinical trials each year targeting a wide range of blood diseases.

### Target diseases

Benign Hematological Disease; immune-thrombocytopenia, aplastic anemia, hemolytic anemia

Hematological Malignancies; Acute leukemia, myeloproliferative neoplasms, malignant lymphoma, multiple myeloma

## Pediatrics

The academic specialists in each field are advancing medical care for a wide range of diseases in children

### Main Clinical Teams

**Hematology Team:** For pediatric oncology, we provide multidisciplinary treatment—chemotherapy, radiation, surgery, immunotherapy, and transplantation—and also diagnose and treat hematologic disorders such as bone marrow failure and immunodeficiencies. **Cardiology Team:** We treat both congenital and acquired heart diseases, including plasma exchange for refractory Kawasaki disease and catheter ablation for pediatric tachyarrhythmias. **Neurology Team:** As a primary epilepsy center in Yamanashi prefecture, we offer gene therapy for neuromuscular disorders, and handle

acute neuroemergencies like encephalitis and encephalopathy. We also emphasize neuropsychological and cognitive evaluations for neurodevelopmental disorders and epilepsy.

**Endocrinology Team:** We diagnose and treat pediatric endocrine disorders—including genetic testing—and organize an annual summer camp for children with diabetes to provide patient education.

**Nephrology Team:** Performing pediatric renal biopsy, we offer individualized treatment for nephrotic syndrome and chronic nephritis, manage a wide spectrum of renal diseases, and also diagnose and treat pediatric rheumatologic renal conditions.

### Number of new representative patients in 2024

- Pediatric cancers: 15 cases
- Congenital heart disease: 50 cases
- Epilepsy: 50 cases
- Neurodevelopmental disorders & psychosomatic disorders: 25 cases
- Pediatric endocrine diseases: 80 cases
- Type 1 diabetes: 3 cases

### Special Diagnostic & Therapeutic Procedures

- Cardiac catheter examinations: 60 procedures
- Renal biopsies: 10 procedures
- Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation: 10 procedures over 5 years

## Psychiatry

Our department provides outpatient and inpatient treatment for mental health conditions. As a psychiatry unit within a general hospital, we offer broad support for psychiatric symptoms related to physical illnesses or pregnancy. We are committed to creating a safe and supportive environment where patients can focus on healing.

### Medical services

We operate a 40-bed psychiatric ward, primarily treating mood disorders such as depression. Our outpatient services cover a wide range of psychiatric disorders and include counseling by clinical psychologists. We actively engage in consultation-liaison services, offering mental health support to patients admitted to other departments through regular ward rounds.

### Dignosis and treatment policy

For treatment-resistant depression, we utilize electroconvulsive therapy (ECT) in a controlled operating room setting. In elderly patients, we adopt unilateral stimulation to minimize cognitive impact.

### Specialties

Our facility is a registered medical institution authorized to use clozapine for treatment-resistant schizophrenia. We also focus on differential diagnosis between depression and early-stage dementia and contribute to geriatric medicine from a standpoint of psychiatry.

### Target diseases

We treat depression, schizophrenia, dementia,

and other psychiatric illnesses, as well as mental health concerns associated with physical diseases or pregnancy.

## Dermatology

Without limiting our focus to any specific field, we provide medical care for all severe and intractable skin diseases around Yamanshi. Our approach is comprehensive and multifaceted, aiming to establish accurate diagnoses and provide the best treatment based on scientific evidence.

### Medical services

Outpatient services are available every morning for both new and returning patients. We provide specialized medicine afternoons. On Thursdays, we hold clinical conferences to discuss patients with challenging diagnoses or treatment courses, and propose the best examinations and therapies.

### Dignosis and treatment policy

We actively adapt innovative therapies, such as biologics and immune checkpoint inhibitors, to

provide medical care based on scientific evidence.

### Specialties

Our outpatient clinic treats a total of approximately 23,000 patients annually for both initial and follow-up visits.

We operate an average of 12 inpatient beds, offering treatment and surgeries for severe and refractory cases.

**Oncology Clinic:** Provides evidence-based chemotherapy, including immune checkpoint inhibitors.

**Keratoderma Clinic:** Proactively introduces systemic therapies, including biologics.

**Allergy Clinic:** Collaborates with our Allergy Center to conduct comprehensive evaluations and introduce novel treatments, including biologics.

**Collagen Disease Clinic:** Collaborate with our

Rheumatology and Collagen Disease Center to manage various refractory cases through a multidisciplinary approach.

### Target diseases

**Oncology Clinic:** Melanoma, squamous cell carcinoma, sarcoma, etc.

**Keratoderma Clinic:** Psoriasis, palmoplantar pustulosis, hidradenitis suppurativa, etc.

**Allergy Clinic:** Atopic dermatitis, urticaria, etc.

**Collagen Disease Clinic:** Dermatomyositis, systemic lupus erythematosus, systemic sclerosis, etc.

**Pigment and Laser Clinic:** Vitiligo, hemangioma, nevi, etc.

**Bullous Disease Clinic:** Autoimmune bullous diseases, etc.

## Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery

Our department addresses functional and aesthetic problems caused by deformity, tissue loss, or disfigurement, utilizing a broad range of surgical and nonsurgical techniques. With six board-certified specialists accredited by the Japan Society of Plastic and Reconstructive Surgery, we are the largest plastic surgery department in the prefecture.

### Medical services

General anesthesia surgeries are performed on Tuesdays and Fridays, and outpatient care is provided on Mondays, Wednesdays, and Thursdays. We maintain a patient-friendly system in close collaboration with other departments and local medical institutions.

### Dignosis and treatment policy

Our goal is to help patients lead better lives and participate in society with confidence and smiles through appropriate medical care tailored to everyone's needs.

### Specialties

In the field of gender incongruence (GI), we are one of the few facilities in Japan accredited by the Japanese Society of GI, accepting patients from across the country.

We are recognized as a national leader in this area, with top-tier surgical volumes and research output. In March 2023, we also hosted the Society's annual academic conference.

In addition, we actively collaborate with other departments to perform reconstructive surgery following malignant tumor resection.

In recent years, we have also seen a growing

number of consultations regarding postoperative complications from cosmetic surgery, and we provide care that reflects the evolving needs of society.

### Target diseases

Trauma (such as facial bone fractures and hand injuries), congenital anomalies (polydactyly, cryptotia, etc.), soft tissue defects after tumor excision, scar contractures, keloids, chronic ulcers, sequelae of longstanding facial nerve palsy, age-related eyelid disorders (such as ptosis), gender incongruence, and complications following cosmetic surgery.

## Gastrointestinal surgery, Breast gland / endocrine surgery



Our department specializes in surgical treatment for gastrointestinal, breast, and endocrine diseases, playing a central role in regional healthcare. Leveraging advanced knowledge and techniques, we provide individualized, high-quality care for every patient.

### Medical services

We have established a team-based medical care system led by specialists, providing optimal treatment through the integration of surgery, chemotherapy, and radiation therapy. We actively incorporate cutting-edge technologies such as robotic surgery, achieving both safety and minimally invasive care.

### Dignosis and treatment policy

For early-stage cancer, we aim to perform

minimally invasive surgery while preserving as much function as possible. For advanced-stage cancer, we strive to improve treatment outcomes through multidisciplinary therapy.

### Specialties

We perform over 700 surgeries annually, primarily for malignant tumors. Our team successfully treats complex cases considered inoperable elsewhere, utilizing advanced techniques across a wide range of surgical procedures, including robotic surgery. We are recognized nationwide for our outstanding outcomes and ongoing commitment to patient satisfaction and quality of life.

### Target diseases

Esophageal cancer, Stomach cancer, Small

intestine cancer (duodenal cancer)  
Colorectal cancer (colon cancer and rectal cancer), Liver cancer, Pancreatic cancer  
Biliary tract cancer (bile duct cancer/gallbladder cancer), All other gastrointestinal cancers  
All digestive disorders, Early breast cancer, Metastatic/recurrent breast cancer,  
Hereditary breast and ovarian cancer syndrome (including preventive surgery and genetic counseling), Fibroadenoma, Phyllodes tumor, mastitis

## Cardiovascular Surgery



The second department of surgery has been offering clinical services in the specialties of cardiovascular surgery, general thoracic surgery, and pediatric surgery.

### Medical services

Each service is composed of following fulltime surgeons (boardcertified) ; 9(7) in cardiovascular, 6(3) in general thoracic, and 2(1) in pediatric surgery.

### Dignosis and treatment policy

We prioritize evidencebased, minimally invasive and safe treatment. We also strive to accommodate each patient's preferences whenever possible.

### Specialties

Approximately 150 openheart cases—CABG, valve repair/replacement, aortic dissection/aneurysm. The first minimally invasive cardiac surgery (MICS) was accomplished in 2025. We focus on minimally invasive surgeries using thoracoscopic techniques and the da Vinci surgical robot for lung. Laparoscopic surgery has been proactively performed in practice for pediatric diseases.

### Target diseases

Coronary artery disease, valvular heart disease, thoracic aortic aneurysm/dissection, congenital heart disease, peripheral arterial disease, abdominal aortic aneurysm, malignant and benign tumors of the lung and mediastinum,

pneumothorax, empyema, pediatric disease in gastrointestinal, colorectal, oncological, and thoracic region.

## Orthopaedic Surgery



At our Orthopedic Department, we care for people with a wide range of injuries and conditions that affect the body' s bones, joints, muscles, ligaments, and nerves. We offer non-surgical treatments, surgical procedures, and personalized rehabilitation to help each patient return to daily life as comfortably and safely as possible.

### Medical services

The Spine, Joint, Oncology, Foot and Hand Surgery Groups provide inpatient and surgical care. In the outpatient clinic, we provide medical care in a wide range of fields, including pediatrics and rheumatoid arthritis, to ensure that our patients receive appropriate treatment.

### Dignosis and treatment policy

Surgical treatment is often the last choice, and a treatment plan is decided after discussing with the patient the risks and benefits of appropriate conservative treatment

(medication, external fixation, and rehabilitation).

### Specialties

Specialists in each field practice latest treatments and educate young doctors. Specialists and above take the initiative in presenting at conferences and publishing papers to catch up with the national treatment standards, and the entire medical department strives to improve its treatment performance.

### Target diseases

- **Spine:** We treat conditions such as herniated discs (in the neck, mid-back, or lower back), spinal canal stenosis, tumors of the spine and spinal cord, spinal infections, spinal deformities, ligament ossification, osteoporosis-related spinal fractures, and spine problems caused by rheumatoid arthritis.
- **Joint Replacement:** We perform total joint replacement

- surgery for the elbow, hip, and knee. We also care for people with rheumatoid arthritis who need joint surgery.
- **Tumors:** We diagnose and treat both benign and malignant bone and soft tissue tumors that can develop in the bones, muscles, fat, or nerves. We also provide care for cancers that have spread (metastasized) to the bones or soft tissues.
  - **Foot and Ankle:** We care for a range of foot and ankle problems, such as bunions, ankle arthritis, flat feet, accessory navicular syndrome, Achilles tendon ruptures, and foot fractures.
  - **Injuries and Children' s Conditions:** We treat traumatic injuries and musculoskeletal conditions in children as well. Our team of specialists works together to create the best treatment plan for each patient, combining advanced medical care with kindness and respect for every individual' s needs.

## Neurosurgery



The Department of Neurosurgery provides comprehensive care, including surgical treatment, for disorders of the brain, spinal cord, peripheral nerves, and related structures such as blood vessels and bones. Our department has played a central role in neurosurgical care in Yamanashi Prefecture since its establishment in 1984.

### Medical services

Specialist teams dedicated to cerebrovascular diseases, brain tumors, and spinal disorders collaborate in patient care.

### Dignosis and treatment policy

We operate a 24-hour emergency hotline to directly accept urgent cases from nearby hospitals and emergency medical service.

Surgeries are performed in state-of-the-art operating rooms equipped with high-field 3T MRI, hybrid angiography systems, navigation, 4K endoscopes, and intraoperative CT.

### Specialties

As a core facility of the primary stroke center, our hospital provides comprehensive 24-hour stroke management in close collaboration with the departments of neurology and cardiology. For brain tumors, from benign to malignant, we provide comprehensive care including surgery and adjuvant therapies. Spinal and epilepsy surgeries are conducted in coordination with the spine & spinal cord center and the epilepsy center. We perform over 350 surgeries annually, including microsurgery, neuroendoscopy, and endovascular treatments, ensuring advanced

and highly precise procedures.

### Target diseases

We treat stroke (SAH, ICH, cerebral infarction, unruptured aneurysms), brain tumors (gliomas, meningiomas, pituitary adenomas), spinal diseases (stenosis, disc herniation), pediatric neurological disorders, head trauma, and functional disorders such as trigeminal neuralgia, hemifacial spasm, and epilepsy.

## Anesthesiology



We anesthesiologists not only provide safe anesthesia during surgery, but also devote ourselves to ensuring accurate preoperative assessment and high-quality postoperative care. In addition, through our pain clinic and palliative care services, we strive to help patients live each day comfortably and free from pain.

### Medical services

In addition to providing anesthesia for daily surgical cases, we have organized teams for perioperative and pre-anesthesia outpatient clinics, postoperative pain management, pain clinics, and palliative care, through which we deliver comprehensive medical services.

### Dignosis and treatment policy

In our pain clinic, treatment methods include

epidural blocks, nerve blocks, pharmacotherapy, linear polarized near-infrared light irradiation, xenon light therapy, acupuncture, and botulinum toxin injections, which are used in combination as needed.

### Specialties

In fiscal year 2024, 4,995 surgical cases (out of a total of 6,946), including cardiovascular surgery, laparoscopic surgery, intraoperative MRI-guided surgery, pediatric surgery, and robotic surgery, were performed under our anesthetic management.

### Target diseases

Our pain clinic and palliative care teams address intractable pain conditions such as postherpetic neuralgia, trigeminal neuralgia, low back pain,

facial nerve palsy, facial myokymia, cancer pain, and more.

## Obstetrics and Gynecology



Our department provides comprehensive care for women's physical and mental health, including pregnancy, delivery, gynecologic diseases, infertility, endocrine disorders, and menopausal symptoms.

### Medical services

We offer specialized outpatient clinics in oncology, infertility, endometriosis, ultrasound, and women' s healthcare, with experts in each field. As the only university hospital OB-GYN in the prefecture, we emphasize advanced care and regional collaboration.

### Dignosis and treatment policy

Our specialists collaborate to deliver safe, high-quality care using the latest knowledge and technology.

### Specialties

We specialize in early diagnosis and multidisciplinary treatment of gynecologic cancers, minimally invasive surgeries, endometriosis care, infertility treatment, fertility preservation, and prenatal testing. We provide care across the female life course—from adolescence to menopause—through collaboration with multiple departments, ensuring safe and high-quality care. As a core institution, we also respond to emergency surgeries and support perinatal and gynecological care in the region.

### Target diseases

Pregnancy, delivery, gynecologic cancers,

infertility, endometriosis, laparoscopic surgery targets, adolescent and menopausal disorders, and endocrine diseases in women.

## Department of Urology



Urology is a medical specialty that encompasses a broad range of conditions, including diseases of the kidneys and urinary tract, male reproductive disorders, and pelvic diseases in women. It provides both medical and surgical treatments to patients across all age groups, from children to the elderly, covering a wide spectrum of care.

### Medical services

Beyond the management of general urological conditions, our team of dedicated experts delivers highly specialized care, including state-of-the-art robot-assisted surgeries. We strive to serve as a regional center of excellence for urological care in Yamanashi Prefecture.

### Dignosis and treatment policy

We work in close partnership with local healthcare providers to deliver a comprehensive range of treatments, selecting the most appropriate care for each individual.

### Specialties

We offer a full range of robot-assisted surgical procedures in the field of urology, utilizing the most advanced surgical techniques available today. Our institution is regarded as one of the leading facilities of its kind nationwide among hospitals of comparable size. In addition to surgical interventions, we actively provide non-surgical treatments for urological malignancies, including radiation therapy and chemotherapy. Our commitment to comprehensive urological care extends beyond cancer treatment. We

provide specialized services in pediatric urology, including the management of various congenital urological disorders; female urology, addressing conditions such as urinary incontinence and pelvic organ prolapse; and renal replacement therapies and kidney transplantation for patients with renal failure. Furthermore, we offer advanced treatments for male sexual dysfunction and male infertility.

### Target diseases

Urologic Cancers: Prostate cancer, bladder cancer, kidney cancer  
Adrenal Tumors, Benign Prostatic Hyperplasia (BPH), Neurogenic Bladder, Urinary Incontinence, Interstitial Cystitis, Pelvic Organ Prolapse  
Pediatric Urological Disorders, Chronic Kidney Failure, Sexual Dysfunction, Male Infertility

## Ophthalmology



As a core ophthalmology center in Yamanashi Prefecture and surrounding areas, our department is equipped to provide advanced care for a wide range of ocular and adnexal disorders. We actively implement cutting-edge diagnostic techniques and therapeutic approaches to deliver precise and high-quality ophthalmic care. In response to the increasing number of ophthalmic patients, we also collaborate closely with regional ophthalmology clinics.

### Medical services

Outpatient services are generally provided on Mondays, Wednesdays, and Fridays for new and follow-up patients. Specialized outpatient clinics are held on Tuesdays and Thursdays, with additional specialty consultations available

on other days as needed. Inpatient surgical procedures are performed on Tuesdays, Thursdays, and Fridays, and same-day surgeries are conducted on Tuesdays and Thursdays.

### Dignosis and treatment policy

We strive to preserve patients' quality of life by maintaining visual function. Additionally, we provide support for patients who unfortunately experience significant visual impairment.

### Specialties

We provide care for the largest number of patients with advanced ocular diseases in Yamanashi and its neighboring regions. The number of surgical procedures continues to increase each year, with approximately 400 to 500 glaucoma surgeries performed annually. We

also provide daily emergency ophthalmologic services ranging from primary to advanced tertiary care.

### Target diseases

We manage a broad spectrum of ophthalmic disorders. Key areas of focus include glaucoma, retinal and vitreous diseases, corneal and conjunctival disorders, neuro-ophthalmologic diseases, pediatric ophthalmology, eyelid and orbital disorders, lacrimal duct diseases, and low vision care. We also provide inpatient surgical treatments for cataracts and uveitis.

## Head and Neck, Ear, Nose and Throat Surgery

We serve as a central hub in Yamashiro for advanced treatment of ENT and head and neck disorders, from malignancies to functional impairments.

### Medical services

We offer specialized outpatient clinics for head and neck tumors, dizziness, hearing loss, sinusitis, and allergic rhinitis, providing team-based care using advanced equipment and techniques.

### Dignosis and treatment policy

In the treatment of head and neck cancer, we emphasize both curability and functional preservation by providing personalized care that combines minimally invasive surgery, chemoradiotherapy, and reconstructive

procedures. We also address functional impairments through diagnostic evaluations, pharmacotherapy, and surgical interventions.

### Specialties

We provide a full range of treatments for head and neck cancer, from radical resection to function-preserving and reconstructive surgery. Minimally invasive endoscopic surgery is used for early-stage cancers. We also perform voice restoration surgery after laryngectomy and are the only certified cochlear implant center in the prefecture, treating severe hearing loss. Sublingual immunotherapy is offered for allergic rhinitis, and cutting-edge biologics are used for severe pollinosis and eosinophilic sinusitis. We also provide expert care for neonatal hearing loss and sleep apnea.

### Target diseases

Head and neck tumors, allergic rhinitis, sinusitis, hearing loss, dizziness, olfactory and gustatory disorders, voice disorders, sleep apnea, pediatric hearing loss, and infectious diseases of the pharynx and neck.

## Department of Therapeutic Radiology

The department of therapeutic radiology provides high-quality cancer radiotherapy as one of the leading high-precision irradiation facilities in Japan, while also conducting cutting-edge AI-based research.

### Medical services

The department operates three machines (CT-LINAC, Tomotherapy, and IGBT). CyberKnife and proton therapy are also available at affiliated centers. We also offer RI internal radiotherapy in a dedicated facility, the only one in the prefecture.

### Dignosis and treatment policy

The goal of the department is cancer cure and pain relief through radiotherapy, emphasizing minimally invasive, patient-guided cancer care.

### Specialties

The research of the department is widely cited globally. Especially, SBRT for lung cancer and the respiratory motion control device "Abches" have received international acclaim. The department offers state-of-the-art treatments including SBRT, breath-hold radiotherapy, IMRT/VMAT, SGRT, and IGRT. We also provide advanced brachytherapy such as IGBT and RI internal radiotherapy with high expertise.

### Target diseases

Malignancies such as brain, head and neck, esophageal, lung, breast, prostate, uterine cancers, lymphoma, and select benign diseases like thyroid eye disease and keloids.

## Department of Diagnostic Radiology

Our aim is to provide precise imaging-based diagnosis and effective and minimally invasive treatment using state-of-the-art imaging modalities.

### Medical services

We conduct both clinical practice and research involving advanced imaging diagnostics using the latest CT, MRI, and nuclear medicine technologies. At our Interventional Radiology (IVR) Center, we perform minimally invasive procedures without surgical incisions, including endovascular and percutaneous treatments, guided by fluoroscopy, ultrasound, and CT.

### Dignosis and treatment policy

We strive to propose the most appropriate imaging protocols for each referral, ensure safe

examination procedures, and provide prompt diagnostic imaging reports. At the IVR Center, we offer minimally invasive treatments tailored to each case, providing flexible therapeutic options.

### Specialties

Over 90% of imaging interpretations are completed by the next business day. We maintain a system capable of providing diagnostic imaging and IVR services even after hours, on weekends, and on holidays, allowing for a rapid response to emergency cases. We are also actively applying MR elastography, which measures organ stiffness (such as the liver), and 4D flow MRI, which visualizes blood flow within the body, in clinical practice. In 2023, we introduced a remote image

interpretation system, expanding our support to affiliated hospitals and facilities overseas, thereby contributing to both local communities and international healthcare.

### Target diseases

Our purpose is to provide diagnosis, treatment response assessment, and recurrence detection of malignant tumors (CT/MRI/RI), functional imaging (such as functional MRI), intra-arterial chemotherapy for malignancies, emergency hemostatic procedures, and CT-guided biopsies.

## Oral and Maxillofacial Surgery

The mouth has very important functions in daily life, such as eating, speaking, and forming rich facial expressions.

In our department, we provide comprehensive medical care for various diseases related to the "oral cavity," including thorough diagnosis, appropriate treatment, and rehabilitation of oral functions.

### Medical services

A healthy mouth is closely related to the health of the whole body. As the oral and maxillofacial surgery department of a university hospital, we strive to provide the best possible treatment by coordinating with other clinical departments while striving to update diagnostic and treatment content suited to each individual patient. As a department of oral and maxillofacial surgery

of a university hospital, we try to update the diagnosis and treatment details appropriate for each individual patient, while collaborating with other clinical departments to provide the best possible care.

### Dignosis and treatment policy

We treat the oral cavity, jaw, and face, taking into consideration their relationship to the entire body, and strive to provide evidence-based diagnoses and treatment with sufficient informed consent.

### Specialties

For patients with jaw deformities, we use various techniques depending on the jaw morphology and occlusion, and in collaboration with orthodontists, we strive to deliver safe

and secure medical care to ensure the best treatment results.

Furthermore, the importance of oral care has recently been widely recognized not only as a measure to prevent aspiration pneumonia, but also as a measure to prevent complications from cancer treatment. Our department also takes an active approach to oral care.

### Target diseases

The Department deals with a wide range of oral surgical diseases, including general dental treatment for patients with prevalent diseases and those requiring systemic management, as well as extraction of wisdom teeth, implants, trauma, cysts, tumors, jaw deformities, and other oral surgical diseases.

## Department of Emergency and Critical Care Medicine

The department plays a central role in critical care for life-threatening conditions, serving as the last line of defense in regional healthcare. We are committed to delivering comprehensive, high-level care for critically ill patients through a 24/7 operation.

### Medical services

We are organized to address complex multidisciplinary conditions with rapid decision-making and intervention. We also emphasize team-based care and education to ensure all staff can respond promptly and appropriately.

### Dignosis and treatment policy

We are committed to saving lives and providing frontline critical care every day. Facing patients on the front lines, we strive to provide optimal

care while adapting to ever-evolving medical practices.

### Specialties

We have a strong track record in critical care and serve as a core hospital in the region. Through the introduction of advanced technologies and collaboration with other institutions, we aim to improve care quality and contribute to community healthcare.

### Target diseases

We provide life-saving care using ECMO, ventilators, and blood purification, while managing in-hospital emergencies and accepting transferred critical patients. In addition, we coordinate medical resources and support patients transitioning from acute

to recovery phases.

## Diagnostic Pathology

A pathological diagnosis includes histopathology, cytopathology, intraoperative rapid diagnosis, and autopsy. We are collaborating with the department of pathology to perform these diagnoses. We use a variety of staining techniques and genetic analysis to diagnose diseases such as tumors, inflammation, and degeneration. Pathological diagnosis is the "cornerstone" of ensuring the quality of medical care.

### Medical services

Diagnostic Pathology consists of seven board-certified pathologists (including six cytopathologists) and three pathology residents.

### Specialties

To ensure high-quality pathological diagnoses,

two pathologists review all tissue diagnosis cases. Cytological diagnoses are screened by multiple cytotechnologists and then reviewed by a certified cytopathologist. Rare or complex cases are discussed at an in-house pathology conference, and external consultations are sought as needed. We also actively participate in multidisciplinary conferences with other departments and divisions. During surgery, we perform rapid diagnoses to determine tumor characteristics, the presence of metastasis, and resection margin status. This provides surgeons with the necessary pathological information for decision-making. We perform autopsies to comprehensively examine the bodies of deceased patients, in order to clarify the cause of death, determine disease progression, evaluate treatment

effectiveness, and investigate cause of death. The results are reported to the attending physician through the Clinical Pathology Conference (CPC). These valuable insights are used to train physicians and medical staff and to advance medical science.

### Target diseases

We diagnose a wide range of diseases, including neoplastic, inflammatory, and degenerative diseases of various organs throughout the body.

## Department of Rehabilitation Medicine

When physical function declines due to various diseases or surgical invasion, it takes time to return to society. We provide holistic rehabilitation medicine tailored to each patient's condition to maintain and improve physical function before and after surgery.

### Medical services

Rehabilitation medicine is provided through a team approach, with the rehabilitation team consisting of 2 rehabilitation physicians, 20 physical therapists, 7 occupational therapists, 4 speech therapists, medical social workers, and nurses.

### Dignosis and treatment policy

We strive to begin rehabilitation treatment the day after it is requested, and we share patient

information through conferences with various professionals to provide treatment.

### Specialties

As part of our hospital renovation, we've built a new rehabilitation room that's about three times larger than the old one. This expansive facility includes dedicated rooms for physical therapy, occupational therapy, speech therapy, cardiac rehabilitation training, and hydrotherapy, providing ample space for all rehabilitation activities. In the 2024 fiscal year, rehabilitation services were provided for a total of 11,006 cases of cerebrovascular disorders and brain injuries, 904 cases of spinal cord injuries, 5,229 cases of musculoskeletal disorders and injuries, 33 cases of pediatric disorders, 1,667 cases of neuromuscular disorders, 50 cases of

amputations, 6,266 cases of internal disorders, and 13,265 cases of disuse syndrome and cancer rehabilitation.

### Target diseases

Bone and joint diseases, spinal cord injuries, cerebrovascular disorders, post-myocardial infarction, post-cardiac surgery, post-gastrointestinal surgery, respiratory diseases, kidney diseases, pediatric diseases, malignant tumors, amputations, etc.

## Department of Clinical Genetics

Today, genetic testing aimed at detecting germline variants (for the definitive diagnosis of hereditary diseases) is being conducted across various medical specialties. We engage in a range of activities, including clinical care for clients, the development and implementation of genome medicine-related educational programs for the public and healthcare professionals, clinical research to explore the support needs of clients with hereditary diseases, and genetic research on the onset of psychiatric disorders.

### Medical services

Clinical geneticists and certified genetic counselors work in multidisciplinary teams alongside nurses, midwives, and social workers to provide integrated care. Furthermore, by offering genetics education—including ethics training—to physicians and nurses at the affiliated hospital, as well as to students undergoing clinical training, they help support a hospital-wide system capable of delivering safe and reliable genome-based medical care.

### Dignosis and treatment policy

As a core department of the Center for Genetic Disorders, we provide genetic counseling for individuals with congenital disorders who have reached the AYA (Adolescent and Young Adult) stage,

adults diagnosed with genetic diseases or hereditary tumors (cancers), those undergoing genetic testing in reproductive medicine, and occasionally for multifactorial diseases. Genetic counseling involves offering accurate genetic and medical information, along with medical care, psychological support, and access to social resources, to clients who are experiencing concerns or anxiety about symptoms, prognosis, or the inheritance of a condition within their family. Our hospital is also designated as a Cancer Genome Medicine Cooperative Hospital and a Core Hospital for Comprehensive Care of Hereditary Breast and Ovarian Cancer (HBOC). Our department serves as a core member of the cancer genome panel testing (CGP) and expert panel, and we provide genetic counseling both for the definitive diagnosis of hereditary tumors and for at-risk but asymptomatic family members.

### Specialties

By including certified genetic counselors who are also licensed as clinical laboratory technologists or midwives on our staff, we provide genetic services not only for hereditary diseases but also for cancer genomics (hereditary tumors) and reproductive medicine. The department head holds dual board certifications as both a

psychiatrist and a clinical geneticist—an extremely rare qualification held by only eight individuals nationwide. In Japan, it remains difficult for individuals with chromosomal disorders who have survived into adulthood to receive appropriate psychiatric care during the transitional period. Since the COVID-19 pandemic, when telemedicine became more widely used, awareness of our department has grown, and we are now considering restructuring our telemedicine system to respond to consultations from across the country.

We are also advocating, at genetics and psychiatric conferences, for the development of "palliative care in genomic medicine," which aims to recognize the diverse forms of suffering experienced by clients and improve their quality of life and alleviate total pain through accurate assessment and timely intervention.

### Target diseases

Congenital disorders such as chromosomal and genetic conditions, Transitional care for adolescents and young adults with genetic conditions (e.g., Down syndrome, 22q11.2DS), Adult-onset genetic diseases, Hereditary cancer syndromes, Preimplantation and prenatal genetic testing, Genetic counseling for next-generation concerns related to hereditary disorders

# 10 中央診療部門等 Central Clinical Facilities

|                  |    |                                                     |    |
|------------------|----|-----------------------------------------------------|----|
| 検査部              | 32 | Department of Clinical Laboratory                   | 48 |
| 手術部              | 33 | Surgical Center                                     | 48 |
| 放射線技術部           | 33 | Department of Radiological Technology               | 48 |
| 材料部              | 33 | Supply Center                                       | 48 |
| 輸血細胞治療部          | 34 | Division of Transfusion Medicine and Cell Therapy   | 49 |
| 救急部              | 34 | Department of Emergency Medicine                    | 49 |
| 集中治療部            | 34 | Department of Intensive Care Medicine               | 49 |
| 新生児集中治療部         | 35 | Neonatal Intensive Care Unit/Growing Care Unit      | 49 |
| 病理部              | 35 | Department of Pathology                             | 50 |
| 分娩部              | 35 | Labor and Delivery Unit                             | 50 |
| リハビリテーション部       | 36 | Division of Rehabilitation                          | 50 |
| 血液浄化療法部          | 36 | Blood Purification Center                           | 50 |
| 光学医療診療部          | 36 | Department of Endoscopy                             | 51 |
| 総合診療部            | 37 | Department of General Medicine                      | 51 |
| 臨床研究連携推進部        | 37 | CTMO (Clinical Trial Management Office)             | 51 |
| 臨床工学部            | 37 | Department of Clinical Engineering                  | 51 |
| 医療チームセンター        | 38 | Center of Medical Teams                             | 52 |
| 生殖医療センター         | 38 | Reproduction Center                                 | 52 |
| 肝疾患センター          | 38 | Liver Disease Center                                | 52 |
| 口腔インプラント治療センター   | 39 | Oral Implant Treatment Center                       | 52 |
| 遺伝子疾患診療センター      | 39 | Center for Clinical Genetics                        | 53 |
| 脳卒中・循環器救急センター    | 39 | Stroke and Cardiovascular Emergency Center          | 53 |
| リウマチ膠原病センター      | 40 | Center for Clinical Immunology and Rheumatology     | 53 |
| アレルギーセンター        | 40 | Allergy Center                                      | 53 |
| IVRセンター          | 40 | IVR(Interventional Radiology) Center                | 54 |
| てんかんセンター         | 41 | Epilepsy Center                                     | 54 |
| 産前産後ウェルビーイングセンター | 41 | Wellbeing Center for Perinatal Mental Health        | 54 |
| 脊椎脊髄センター         | 41 | Center for spine and spinal cord                    | 54 |
| がんセンター           | 42 | Cancer Center                                       | 55 |
| 初期救急医療センター       | 42 | Primary Emergency Medical Center                    | 55 |
| 子宮内膜症ケアセンター      | 42 | Endometriosis Care Center                           | 55 |
| 病院経営管理部          | 43 | Department of Hospital Administration               | 55 |
| 栄養管理部            | 43 | Nutritional Management Department                   | 56 |
| 医療情報部            | 43 | Department of Medical Information                   | 56 |
| 医療の質・安全管理部       | 44 | Department of Quality and Patient Safety            | 56 |
| 感染制御部            | 44 | Department of Infection Control and Prevention      | 56 |
| 薬剤部              | 44 | Department of Pharmacy                              | 57 |
| 看護部              | 45 | Department of Nursing                               | 57 |
| 総合支援部            | 45 | General Support Division                            | 57 |
| 臨床教育部            | 45 | Department of Clinical Education                    | 57 |
| 山梨県地域医療支援センター    | 46 | Yamanashi Community Medicine Support Center         | 58 |
| 東部地域医療教育センター     | 47 | Yamanashi Eastern Regional Medical Education Center | 58 |
| 働き方改革センター        | 47 | Work Style Reform Cente                             | 59 |
| 病床管理室            | 47 | Bed Control Unit                                    | 59 |

## 中央診療部門等

## 検査部

患者様が最適な医療を受けられるように信頼性の高い臨床検査サービスを提供しています。組織は臨床化学検査、免疫血清検査、血液検査、微生物検査、遺伝子検査、生理機能検査、輸血検査、採血の部門で構成されます。

### 部門長(センター長)からのメッセージ

検査部は「ISO 15189:2022」(臨床検査室の国際規格)認定を受けた、質の保証された検査室です。これからも、常に前進する検査のプロフェッショナル集団として、当院の高度医療を支えてまいります。

### 体制と運用方針

「ISO 15189:2022」に基づいた検査体制を構築しています。研究や、教育(検査技師実習生、医学科学部生、研修医、臨床検査専攻医)にも力を入れています。

### 業務内容

臨床化学検査、免疫血清検査、血液検査は、診察時に当日の検査結果を提供できる迅速検査システムを構築し、50項目程の検査を受付後 30~60分で報告します。生理機能検査部門は、心電図、呼吸機能、脳波検査、超音波検査を中心に質の高い検査を提供、臨床側より高い評価を受けています。各検査分野のスペシャリストの育成を推進した結果、認定資格取得技師も増加しました。

### 特色と主な実績

山梨県の臨床検査のトップランナーとして医療に貢献しています。またCOVID-19流行初期の2020年2月には、全検査部を挙げて院内PCR検査体制を整え、院内感染防止に貢献しました。さらに当院の研究を支援するため、残余検体使用システムを2024年より、中央採血室での研究用採血

システムを2025年より稼働しました。



## 中央診療部門等

## 手術部

山梨大学医学部付属病院手術室は、山梨県内唯一の特定機能病院の手術室であり高度先進医療の提供を担っています。中央手術部門と外来手術部門を含め、計14室を備え、年間約6,900~7,000件の手術を実施しています。

### 部門長(センター長)からのメッセージ

令和7年4月から手術部の部門長を務める中島博之です。患者さんの緊張が少しでも和らぐよう、また最先端の高度な手術を安全に患者さんにお届けできるよう環境を整備しています。執刀医、麻酔科医、看護師をはじめとしたコメディカルスタッフが密接な連携を取り、患者さんが安心して手術を受けて頂けるよう今後も手術部一丸となって努力して参ります。

### 体制と運用方針

医師、手術部看護師、薬剤師、放射線技師、

## 放射線技術部

放射線技術部は、画像診断部門(一般撮影、CT検査、MRI検査、核医学検査、手術室、内視鏡検査)、IVRセンター(血管撮影、IVR)放射線治療部門(放射線治療、核医学治療)、放射線管理部門により組織され、放射線診療・治療の中枢を担っています。

### 部門長(センター長)からのメッセージ

山梨県下における高度医療の中核として、質の高い画像情報の提供と精度の高い放射線診療と治療の提供、適正な被ばく線量管理を行い、患者さんに安全・安心な医療を提供するとともに技術向上、人材育成に取り組んでまいります。

### 体制と運用方針

放射線診断部、放射線治療部、放射線技術部が一体となり医師、診療放射線技師、看護師、臨床工学技士、医学物理士、事務職員など職種が連携しながら安全で最適な医療

## 材料部

材料部は、院内で使用される医療器材の洗浄・滅菌・保管を一元管理する専門部門です。安全かつ確実な器材供給を通じて、診療現場を支えています。

### 部門長(センター長)からのメッセージ

私たちは「安心・安全な医療の提供」を使命とし、洗浄・滅菌の専門部署として確かな技術と品質保証で診療現場を支えています。

### 体制と運用方針

高温・低温滅菌器を適切に使い分け、器材の特性に応じた洗浄・滅菌を実施しています。自動倉庫設備を活用し、効率的な運用体制を構築しています。

### 業務内容

材料部では、高圧蒸気・プラズマ・ホルマリンガス滅菌器を用いた滅菌業務に加

臨床工学技士らが多職種協働体制のもとチーム医療を展開し、24時間・365日対応で緊急手術を受け入れています。手術枠や日程の最適化、器材準備や環境整備を実施し、手術待機期間の短縮を目指しています。また、高難度手術に対応可能な設備と体制の整備・拡充を行っています。

### 業務内容

山梨大学病院手術部は、最新設備とチーム医療による安全かつ高度な手術医療を提供しています。各診療科、麻酔科、手術室看護師が周術期管理を行い、術前にリスク評価や患者情報の共有を実施、多職種による患者管理を行います。

また、材料管理部門および放射線部と連携し、機器の準備や消毒・術中検査を円滑に行い、安全な手術実施を支えています。

### 特色と主な実績

を提供しています。

### 業務内容

放射線診断部門では最新式のCT装置や3テスラMRI装置、IVR-CT装置等による画像検査やカテーテル治療を実施しています。また、放射線治療部門では、強度変調放射線治療(IMRT)などの高精度放射線治療および核医学治療、放射線管理部門では患者さんの被ばく線量の記録と管理を行っています。

### 特色と主な実績

年間約139,000件(2024年度)の画像検査・IVR・放射線治療をマンモグラフィ、CT、MR、血管撮影・IVR、核医学、放射線治療などの専門資格を有した技師を中心にを行っています。

え、ウォッシャーディスインフェクターや減圧沸騰式洗浄器、超音波洗浄器などによる器材洗浄を行っています。洗浄の質は日本医療機器学会のガイドラインに基づき評価され、常に高水準を維持。さらに、自動立体倉庫や回転型収納庫を活用し、手術器材等の保管・供給を効率化しています。

### 特色と主な実績

洗浄・滅菌の専門部署として、診療科や手術室と密に連携して質の高い器材管理を実現し、ガイドライン準拠の洗浄評価により確かな安全性を保証しています。



低侵襲・高難度手術を推進しており、胸腔鏡・腹腔鏡・ロボット支援手術を積極的に実施しています。血管造影室を併設したハイブリッド手術室を完備し、手術支援システムとして、da Vinciシステム3台、ナビゲーションシステムで手術支援を行うことができます。さらには、脳神経外科領域においては、移動式磁気共鳴画像診断装置(MRI)を用いた術中MRI撮像での手術支援を行うことができます。



## 輸血細胞治療部

輸血細胞治療部では、安全で適正な輸血医療の実践、迅速かつ適切な輸血検査の提供、適切な細胞採取を行うことで、診療科支援、ひいては患者支援をしています。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

当輸血細胞治療部は、適切な輸血医療の証であるI&A 認証と、臨床検査室の品質と能力に関する国際規格であるISO 15189:2022（免疫血液学検査・輸血関連）認定を取得しています。これからも当院の高度医療を支える、安全で適切な輸血医療、輸血検査、細胞治療を提供してまいります。

### 体制と運用方針

検査部と一体となって、業務を行っています。夜間・休日は、輸血担当と検査担当技師の2名体制で日当直を行い、時間外でも診療科にきめ細かいサービスを提供しています。輸血責任医師1名が所属し、輸血管理

料IIを取得しています。

### 業務内容

輸血検査、輸血用血液の管理、自己血輸血採取・管理、末梢血幹細胞採取、骨髓液の赤血球除去などの処理を行っています。設備として、全自動輸血検査システム オーソビジョン®、末梢血幹細胞採取装置 テルモ社のSpectra Optia®, 先端医療として細胞治療や再生医療に用いる細胞を調整する細胞プロセッシング室が設置されています。

### 特色と主な実績

山梨県の輸血細胞治療のトップランナーとして、医療に貢献しています。血液悪性腫瘍の新規治療として脚光を浴びているCAR-T療法が当院に導入され、当部で同療法用の細胞採取と、製剤管理を行っています。



## 救急部

救急部は救急初療室（ER）を統括し、三次救急から地域の二次救急まで幅広く対応しています。重症患者に対して包括的かつ高度な医療を提供することを使命とし、24時間体制の診療体制を整えています。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

救急診療の入口として、多様な症状に迅速かつ的確に対応しています。現場の最前線で患者と向き合い、絶えず進化する医療に適応しながら最善の医療を提供します。

### 体制と運用方針

診療科横断的なチーム制を取り、各分野の専門医と協力して診療にあたります。チーム医療の強化と教育の充実に努め、スタッフ全員が迅速かつ確な対応を実施できるよう取り組んでいます。

### 業務内容

心肺停止や敗血症、多発外傷などの緊急症状に対し、ERでの初期治療を提供しています。災害対応も強化しています。また、診療に必要な医療資源の調整や、急性期から回復期への移行支援など、多面的な役割を担っています。

### 特色と主な実績

年間感染症対応室や専門診療設備を備え、トリアージ棟の整備により災害時の対応力を強化しました。最新技術の導入や多施設との連携を通じて、診療の質向上と地域医療への貢献を目指しています。



## 集中治療部

専任医と看護師が24時間体制で重症患者に対応している県下唯一の集中治療室（ICU）です。重症患者に対して包括的かつ高度な医療を提供することを使命とし、24時間体制の診療体制を整えています。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

最重症例の診療支援に尽力し、命を救う医療の提供を使命としています。現場の最前線で患者と向き合い、絶えず進化する医療に適応しながら最善の医療を提供します。

### 体制と運用方針

ICU専任医師、専門看護師、薬剤師を含む多職種で、重症例を包括的に管理します。チーム医療の強化と教育の充実に努め、スタッフ全員が迅速かつ確な対応を実施できるよう取り組んでいます。

### 業務内容

ECMOやCRRTなどの高度医療技術を駆使し、院内外からの重症患者を24時間体制で受け入れ治療しています。また、診療に必要な医療資源の調整や、急性期から回復期への移行支援など、多面的な役割を担っています。

### 特色と主な実績

年間およそ800名の新規入室を受け入れると同時に、大学病院として多くの臨床・基礎研究を展開し、救命率向上に寄与しています。最新技術の導入や多施設との連携を通じて、診療の質向上と地域医療への貢献を目指しています。



## 新生児集中治療部

本院は2011年4月に地域周産期母子医療センターとして新生児集中治療部（NICU）を設置し、新生児の診療をスタートしました。山梨県立中央病院をはじめとする山梨県内の周産期施設とともに、県内の新生児に高度な医療を提供しています。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

すべての新生児が安心して治療を受け、家庭に戻るよう、地域と連携した質の高い医療と支援体制の提供を目指しています。

### 体制と運用方針

当院はNICUとGCUを併設しており、小児外科や心臓血管外科などの他科や多職種とも連携して、急性期から成長支援期まで一貫した医療を提供しています。地域連携と在宅支援を重視した運用を行っています。

## 病理部

病理部は、病理診断に必要な組織・細胞標本の作製と管理、病理診断業務を行っています。また、病理標本を使用する治験、臨床研究に対する支援業務を行っています。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

病理部スタッフは一丸となって、信頼性の高い病理診断を患者さん、診療科の医師に提供していきます。

### 体制と運用方針

病理部は、病理医2名、臨床検査技師9名（うち細胞検査士7名）、医療クラーク2名、で構成されており、病理診断科に所属する病理医と協働して病理部業務を運用しています。

### 業務内容

組織診検査：患者さんから採取された組織を用いてプレパラート標本を作成しま

### 業務内容

在胎32週以降の早産児、低出生体重児、新生児特有の疾患（呼吸障害、感染症、黄疸、小児外科疾患など）を対象として、高度な集中治療を行っています。また、当施設は新生児の先天性心疾患や腫瘍性疾患にも対応可能な県内で唯一の医療機関であり、他院からの搬送にも対応しています。GCUでは安定期以降の育成支援や在宅ケアへの移行を支援しています。

### 特色と主な実績

当センターでは、小児外科や心臓血管外科部門とも協力して、新生児疾患の治

療に注力しています。また、退院後の患者さまを対象とした在宅支援体制の構築を助めています。私達の目標は、地域に根差した新生児医療ケアシステムの確立です。



す。必要時に特殊染色や免疫染色を追加します。

細胞診検査：患者さんから採取された細胞をスライドに塗抹、染色し、がん細胞の有無などを判定します。

迅速検査：手術中や検査中に迅速診断（組織診、細胞診）を行います。

病理解剖：亡くなられた患者さんの死因や病態、治療の効果などを明らかにするため、ご遺族の承諾の元に行います。

### 特色と主な実績

- ・バーチャルスライドシステムの導入により、電子カルテから病理標本が観察可能になりました（対象は順次拡大中）。
- ・気管支鏡検査や内視鏡検査中に実施する迅速細胞診の体制を強化しています。
- ・がんゲノム医療や分子遺伝学的検査に対応した高品質な検体作成に対応してい

ます。またがんゲノムコーディネーターとして、患者さんにごんゲノム医療の説明を行っています。



## 分娩部

分娩部は、妊産婦の方の妊娠、分娩および産褥期に携わり、さらに胎児の診断、管理および出生児のケアをすることが主な業務です。病棟は4階北病棟を担当し、業務の特殊性からほぼ単科で病棟運営にあたっています。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

大学病院という特徴から、母体や胎児の合併症等のハイリスク妊娠に対応し、目標は「安心、安全な妊娠と分娩の管理」ではありますが、「満足度の高いお産」も目指しており、麻酔科の先生と共に無痛（和痛）分娩の導入も目指しています。

### 体制と運用方針

産婦人科医（産科のみならず、婦人科、生殖医療、女性医学の先生も）のほか、小児科、麻酔科の先生方、精神科の先生方、助産師や看護師の方、看護助手、薬剤師の方と協同し

て「ワンチーム」で業務を行っています。

### 業務内容

日々妊娠、分娩の管理を行っています。正常分娩もありますが、母体、胎児の緊急的に発生する様々な異常も多く、特に下記に示すような他院では管理できないような症例の対応が求められています。

### 特色と主な実績

当院の分娩の特徴は、精神疾患、耐糖能異常等の合併症妊娠が多く、前置胎盤、妊娠高血圧症候群等の異常妊娠、さらには先天性心疾患等の胎児異常に対応することが挙げられます。分娩数は年間600例程度で推移

しています。そのほか、母体死亡の原因となりうる産科危機的出血の対応や、社会的ハイリスクである特定妊婦の対応などが挙げられます。



## リハビリテーション部



リハビリテーション部は病気や怪我の治療をしながら行う急性期リハビリテーションが中心となります。出来るだけ体の機能を損なわないようにベッドに横になっている早期から部屋で身体を動かしたり、リハビリテーション室で座る・立つ・歩くなどの基本動作を練習するのが特徴です。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

安全と信頼を基礎に患者本位のリハビリテーションを提供しています。

### 体制と運用方針

現在、理学療法士23名 作業療法士7名 言語聴覚士5名のスタッフ35名でリハビリテーションを提供しております。早期離床を心掛けリハビリテーションを行い、患者さんが早く日常生活に戻れるよう介入しております。

### 業務内容

機能が損なわれないように行う予防的なリハビリテーションはあらゆる診療科において必要になるため、全科的に対応しています。

### 特色と主な実績

3年前から心疾患術後の患者さんへ心臓リハビリテーションを開始し、対象者は年々増加しております。2023年6月から外来でも心臓リハビリテーションが始まり山梨県の心臓リハビリテーションの発展に寄与しています。リハビリテーション部では褥瘡対策チームの一員として病棟でのリハビリテーション指導を行い、呼吸療法士の認定を持つ理学療法士が呼吸理学療法の指導にも当たっています。さらに、生活習慣病予防の一貫として糖尿病の運動療法を指導しております。また当部の言語聴覚士は術

中MRI検査に関わったり高次脳機能障害や嚥下障害の患者を中心にリハビリを行っています。



## 血液浄化療法部



血液浄化療法部は、高度先進医療を担う山梨大学医学部附属病院の部門として、患者さんに最適な血液浄化療法を安全に提供するとともに、教育研修機関として、専門的な知識と技術を兼ね備えた人材育成を行うことを基本方針としております。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

日本透析医学会専門医、透析療法指導看護師、透析技術認定士など血液浄化療法のスペシャリストが連携して、安全で質の高いチーム医療を実施しています。定期的にカンファレンスを開催して、症例検討や感染対策に加えて、透析機器と透析液などの安全性評価を行っています。

### 体制と運用方針・業務内容業務内容

血液浄化療法部は、主に入院中の慢性腎不全患者さんに対する血液（ろ過）透析を担当していますが、各診療科の様々な治療

の併用療法として、血漿交換、免疫吸着療法、LDL吸着療法、血球成分除去療法、エンドトキシン吸着療法なども行っています。また、腹膜透析やブラッドアクセス管理、腎移植後の定期診察を併設する外来で行っています。



## 光学医療診療部



光学医療診療部は、消化器・呼吸器領域のがんや炎症・出血性疾患を対象に、内視鏡を用いた診断・治療を行う中央診療部門です。専門医による高精度な内視鏡医療を提供しています。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

私たちは山梨県の高度医療の中核であるべく、「安全・親身・高度」である内視鏡医療を信条に、地域の皆さまに安心され信頼できる医療を提供します。今後も技術と人材の育成に力を注いでまいります。

### 体制と運用方針

専門医・指導医が中心となり、診療・教育・研究を統合的に実施。新内視鏡室の整備により、安全かつ効率的な検査体制を確立しています。

### 業務内容

上部・下部消化管内視鏡検査、胆膵領域のERCPや超音波内視鏡、がんや出血性病変に対する処置内視鏡など、高度な診断・治療を日常的に実施しています。特に組織採取、止血、ポリープ切除、ステント留置といった技術を要する手技にも対応し、年間6,000件を超える検査にあたっています。

### 特色と主な実績

2023年度の総検査件数は6,619件、うち処置内視鏡は1,256件。新設内視鏡室を活用し、消化器がん早期発見・低侵襲治療を推進しています。



## 総合診療部



どの診療科を受診すればよいかわからない初診の患者さんや、複数の健康問題を抱える方の診療を専門に行います。臓器別ではなく、患者さん全体を包括的に診察し、適切な診断と治療への道筋を立てる部門です。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

患者さん一人ひとりの声に耳を傾け、心身両面からサポートすることを信条としています。各専門科と密に連携し、皆様に安心と納得の医療を提供できるよう、スタッフ一丸となって尽力してまいります。

### 体制と運用方針

経験豊富な総合診療専門医がチームで診療にあたります。診断が困難な場合は、迅速に院内の各専門科と連携しカンファレンスを実施。患者さん中心の最適な医療

を効率的に提供することを運用方針としています。

### 業務内容

原因不明の発熱、倦怠感、体重減少など、症状が多岐にわたり診断がついていない患者さんの初期診療と診断を行います。複数の慢性疾患を持つ方の全身管理や、入院が必要な場合の各専門診療科への橋渡しも重要な業務です。また、地域のクリニックと連携し、継続的な医療の提供にも努めています。

### 特色と主な実績

診断困難な症例に対する的確な診断能力が当科の特色です。年間を通して多数の紹介患者さんを受け入れ、多くの患者さんの病態を解明し、適切な専門治療へと繋げてきた実績があります。



## 臨床研究連携推進部



臨床研究連携推進部は治験・臨床研究の支援、推進を目的として、2010年に設置されました。治験・臨床研究の円滑な実施、患者さんの人権保護、データの信頼性の確保、臨床研究の活性化を念頭に、新しい薬や医療機器を臨床の現場に届ける支援をしています。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

大学の高いレベルの基礎研究や新薬を臨床応用につなげ、患者さんの福音となる治療法を現場に届けことが大学病院の役割です。当部門ではこの役割を果たすために患者さんや医師・研究者の支援を日々行っています。

### 体制と運用方針

治験センター、データセンター、開発戦略・研究推進室、教育広報室、利益相反管理室があり、治験・臨床研究の実施や計画

立案などを推進しています。治験コーディネーター（CRC）やデータマネージャー（DM）、事務担当者が連携しながら支援を行っています。

### 業務内容

院内各部署と連携しながら、信頼性のある治験・臨床研究の実施を推進します。患者さんが、安心して治験や臨床研究に参加できるよう支援します。患者さん支援の中心を担っているのはCRCです。患者さんが安全に参加できるようサポートしています。

また研究者が、適正に治験や臨床研究を実施できるよう、計画立案からデータ管理、社会実装までをサポートします。

### 特色と主な実績

2025年6月現在で55件の企業治験を支援しています。またこれまでに医薬品や医療機器の医師主導治験の支援、特定臨床研

究の実施支援を行ってきています。研究者に対する臨床研究の教育やコンサルテーションも多数行っています。



## 臨床工学部



臨床工学技士は医療機器の専門医療職として、医師・看護師とチームを組んで生命維持装置の操作や保守・点検を担当しています。2021年の法改正により業務範囲が拡大され、手術中の新たな機械操作、患者さんへの穿刺、薬剤投与など、患者さんへの直接的ケアを含めて責任ある業務が拡大されました。現在、血液浄化、人工呼吸器管理、体外循環、手術室支援など多様な医療現場で活躍しています。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

臨床工学部では、「すべての患者さんに安心を」の理念のもと、医療機器の保守管理と安全運用を一括して行っております。生命維持管理装置からロボット手術まで幅広い医療機器を扱い、AI技術が導入された現代においても、人の眼と手による監視が不可欠です。多職種チームへの教育を通じて、24時間安全で効率的な医療機器運用を実現し、山梨の医療の中核として地域の皆様に貢献してまいります。

### 体制と運用方針

病院全体の医療機器の保守管理および安全な運用を一括して行い、現代の先進医療に不可欠な医療機器のスペシャリストとして、また益々増大する医療機器の安全確保と有効性の維持の担い手としてチーム医療に貢献しています。23名のスタッフが24時間体制で血液浄化、人工呼吸器、体外循環、手術室、集中治療室、血管造影室、不整脈関連、医療機器管理など8つの多様な業務をローテーションにて従事し、安心で安全な医療提供を目指しています。

### 業務内容

当院の臨床工学技士は、医師の指示のもとで人工透析装置や人工呼吸器、人工心肺装置などの生命維持装置を操作・保守点検する専門職です。血液浄化業務、手術室業務、集中治療室業務、医療機器管理業務など多様な業務を24時間体制で行っています。また、医療機器のデジタル化が進む中、サイバーセキュリティを考慮した医療機器の取り扱いと医療

安全委員会への参画を通じて、医療の質向上と患者様の安全確保に努めています。

### 特色と主な実績

約3,200台の医療機器を中央化管理し、年間約7,000例の手術支援、約2,700件の血液浄化治療を実施しています。手術支援ロボット3台、人工呼吸器60台を保有し、心臓手術での人工心肺装置操作や、小児から成人まで幅広い体外循環業務を担当しています。



## 医療チームセンター

医療チームセンターは専門科と別に、病院スタッフと患者・家族どちらも組織横断的にサポートする各医療チームが集約された部門です。多職種で構成されるチームで様々な疾患・病態の患者を支援、診療報酬・加算等にも対応しています。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

医療チームセンターは、組織横断的に展開される診療・看護支援を通して、より質の高い医療の提供に貢献していけるようにさらに研鑽を積んでいきます。

### 体制と運用方針

緩和ケアチーム、褥瘡対策チーム、せん妄対策チーム、認知症ケアチーム、栄養サポートチーム、精神科リエゾンチーム、糖尿病透析予防支援チーム、排尿ケアチーム、排泄ケアチーム、呼吸ケアチーム、摂食嚥下支援チーム、術後疼痛管理チームという12チー

ムで構成されています。

### 業務内容

それぞれの専門チームが組織横断的に入院・外来などの様々な場所で患者家族支援・医療スタッフ支援を行います。臨床業務と共に、病院スタッフの知識・スキルの向上のため、各種研修会や勉強会などの運営・開催も行っています。院外からの研修・見学希望も積極的に対応しています。

### 特色と主な実績

現代医療で重要である多職種でのチーム医療を実践する組織です。2024年度は緩和ケアチーム加算3,999



件、褥瘡ハイリスクケア加算1,001件、認知症ケア加算2,872件、栄養サポートチーム加算410件、術後疼痛管理チーム加算1,142件などの実績があります。

## 生殖医療センター

生殖医療センターは2005年11月から稼働しています。不妊症の患者さんに対し、できるだけプライバシーなどを配慮した医療を展開して参ります。そして単に妊娠を目指す、ということだけでなく、安全な妊娠、分娩、そして子育てまで繋がるような広い視点をもって、他の診療科とも連携して診療に臨んで参ります。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

大学病院という性質もあり、臨床研究と関連した非常に先進的な医療を提供することが可能です。そのような治療が必要と当方で判断した場合、患者さんにお声をかけさせて頂きます。ぜひ担当医師からの説明を聞いて頂ければ幸いです。生殖医療は日々進歩していますので、山梨県内でも常に最新の技術を提供できるように注力しています。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

### 体制と運用方針

現在、複数名の生殖医療専門医、胚培養士、外来

看護師が働いています。お子さんを持ちたい、と希望するカップルに対して、少しでも早く、少しでも負担をかけないで妊娠していただくことを目指しております。そのため、我々スタッフは専門的な知識をもったチームで構成されております。

### 業務内容

タイミング指導や人工授精といった一般不妊治療を行っても妊娠できない場合に、体外受精、顕微授精、凍結融解胚移植などの高度生殖補助医療を行っています。また、外来での子宮内膜ポリープ切除術や、流産を繰り返している方の先進医療を含めた不育症検査、他院で複数回体外受精を行っても妊娠しない場合の先進医療を含めた着床障害の検査なども行っております。2回以上流産を繰り返した方や、2回以上受精卵を移植しても妊娠しなかった方で希望がある方に対し、着床前遺伝学的検査も行っております。

### 特色と主な実績

当センターは若いがん患者さんを対象に、将来妊娠できる可能性を残す妊孕性（にんようせい）温存療法を県内で唯一行っています。また、泌尿器科と連携し、無精子症症例の顕微鏡下精巣内精子回収法により精巣内精子を凍結保存し、顕微授精を行っております。また、2025年4月からお仕事や家庭の事情ですぐには結婚できない方を対象に、社会的卵子凍結も行っております。



## 肝疾患センター

肝疾患センターは、2008年に山梨県における肝疾患診療連携拠点病院として設置され、国・県・専門医療機関と連携しながら、ウイルス性肝炎や肝癌、脂肪肝などの診療向上と地域への情報発信に取り組んでいます。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

山梨県は東日本でウイルス性肝炎や肝がんの患者が最も多い地域の一つであり、当センターは拠点病院として肝疾患コーディネーターの養成も含め、先駆的な取組を通じて肝炎・肝がんの撲滅に向けた活動を行ってきました。今後も肝疾患の克服に全力で取り組んでまいります。

### 体制と運用方針

センター長、副センター長、相談員（看護師）を中心に、消化器内科および医療支援課と連携しながら支援体制を整え、下記に示す

多岐にわたる業務に取り組んでいます。

### 業務内容

当センターでは、ウイルス性肝炎や肝癌の治療促進、検査から受診・受療への支援に加え、山梨県内の医療機関との診療連携強化、肝疾患コーディネーターの養成とスキルアップを行っています。さらに、市民公開講座やなんでも相談会、啓発イベントや動画の作成などを通じて、地域住民への正しい知識の普及と意識向上に努めています。

### 特色と主な実績

2024年度も多職種（医師・弁護士・保健師・栄養士・社労士）の専門家による「なんでも相談会」や、肝臓病教室、市民公開講座を開催。イオンモールでの大規模啓発イベント「やまなし肝ぞうデー」も実施しました。肝疾患コーディネーター養成や県内専

門病院との連絡協議会も行うなど、多彩な実績を重ねています。



## 口腔インプラント治療センター

歯科インプラント治療は歯科口腔外科の一つの治療分野として運用をされてきました。しかし、歯科インプラント診療内容の専門性の高まりにより、高難度症例へ対応するために、平成20年9月に当センターが開設されました。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

歯科インプラント治療は、欠損歯に対して機能・審美面に優れた回復ができる治療と考えています。一方で、歯科インプラント治療を行うには、歯科医師として多岐に渡る知識と技術が必要になります。スタッフ一同、より良い歯科インプラント治療を提供できるように研鑽しています。

### 体制と運用方針

当センターのスタッフが個々の症例をカンファレンスで検討し、歯科インプラントの埋入から上部構造装着までの一貫治療を

行っています。

### 業務内容

歯科インプラント治療に関わる、骨造成術、埋入術、そして上部構造装着までを行っています。また、上部構造装着後も歯科衛生士をはじめとするセンターのスタッフにより継続的なメンテナンス治療により適切な口腔内環境を維持するお手伝いをしています。

### 特色と主な実績

顎骨の吸収、あるいは上顎臼歯部のように骨量が少ないことで、歯科インプラント治療が困難な症例があります。このような症例に対しても、骨増生法を応用することにより、歯科インプラント治療が可能となります。高度な技術や全身麻酔下で処置を要する治療もあることから、これらの治療を安全かつ確実に実施するように努めています。



## 遺伝子疾患診療センター

遺伝子疾患診療センターでは、相談者（クライアント）が遺伝性疾患に伴う症状や予後、あるいは血縁者への遺伝について不安や悩みを抱える際には、医学的・遺伝学的情報をわかりやすく説明し、身体機能や精神機能の障害に対する医療的支援や心理的サポート、社会資源の活用推進などを提供する「遺伝カウンセリング」を行います。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

臨床遺伝専門医と認定遺伝カウンセラーが、看護師・助産師、公認心理師、社会福祉士などとチーム医療を実践しています。

### 体制と運用方針

クライアントが抱える多様な苦痛に気づき、的確なアセスメントと介入を通じてQOL（生活の質）の向上を目指す、「遺伝医療における緩和ケア」の先駆的实践にも独自に取り組んでいます。

### 業務内容

当センターでは複数の診療領域の臨床遺伝専門医が、県内随一の高度な遺伝医療体制を構築しています。診療対象は多岐にわたり、出生時や小児期に診断される希少疾患や染色体異常に加え、成人に発症し遺伝子バリエーションが同定される疾患も含まれます。さらに、がんゲノム医療連携病院における重要な役割として、がんゲノムプロファイリング検査やコンパニオン診断検査などにおいて、遺伝性腫瘍と診断された方への遺伝カウンセリングや、生殖医療において出生前（着床前）遺伝学的検査を希望する方への遺伝カウンセリングを実施しています。

### 特色と主な実績

難病（染色体疾患・遺伝子疾患などの先天性疾患）、成人移行期医療（ダウン症候群や22q11.2微小欠失症候群など）、成人発症

疾患（ファブリー病、アミロイドーシスなど）、遺伝性腫瘍、着床前・出生前遺伝学的検査、遺伝子疾患に関する次世代の相談



## 脳卒中・循環器救急センター

令和6年度より開設された脳卒中・循環器病救急センターでは、24時間365日体制で脳卒中および循環器疾患の救急対応を行っています。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

高度な専門治療と多職種連携により、患者さんに最適かつ安全な医療を提供できる体制を整えています。

### 体制と運用方針

脳卒中・循環器病の専門医、看護師、技師などが連携し、迅速かつ的確な救急対応と継続的な支援を実施しています。

### 業務内容

脳卒中に対するt-PA療法や血栓回収療法、くも膜下出血等の外科・血管内治療、循環器疾患に対するPCIや補助循環、心臓血管外科手術など、幅広い救急医療を提供しています。

### 特色と主な実績

県内唯一の一次脳卒中センターコア施設であり、TAVIやMitraClipなどの先進治療も可能な認定施設として、厚労省モデル事業にも採択されています。



## リウマチ膠原病センター

リウマチ膠原病センターは、2016年に整形外科・皮膚科・リウマチ膠原病内科の連携を強化するため設立され、関節リウマチをはじめとする膠原病に対して集学的かつ包括的な医療を提供しています。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

診療科の垣根を越えた協力体制により、専門性とスピードを両立した診療の提供を実践し、患者さんに安心と信頼を届けられる医療を目指しています。整形外科・皮膚科・内科は特にリウマチ膠原病を診療する上では欠かせない診療科であり、この3科が連携しているセンターは全国でも珍しいです。

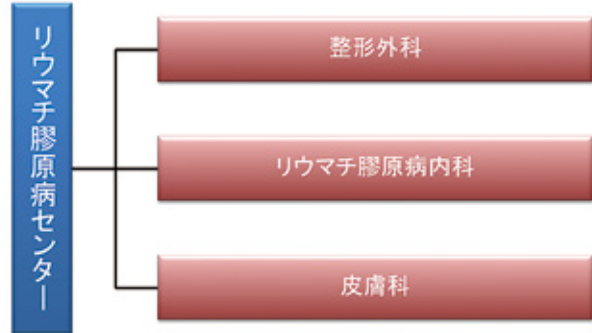
### 体制と運用方針

各科の強みを生かしつつ、週1回の診療カンファレンスや定期勉強会を通じて診療方針や最新知識の共有を行っております。

リウマチ膠原病は複雑な病態であることが多く、科の連携により、迅速に対応できる体制を整えています。

### 業務内容

関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、皮膚筋炎、血管炎など多彩なリウマチ膠原病疾患に対して、初期診断から治療、リハビリまで一貫して対応します。整形外科的手術適応の相談も必要に応じて組み込み早期の治療介入を試みます。関節エコー検査や生物学的製剤の導入など精度の高い医療を提供します。各科の連携により、診療の質とスピードを両立しています。



## アレルギーセンター

アレルギーセンターは、複雑化・多様化するアレルギー疾患に対し、複数診療科が連携して総合的な診療を行う専門部門です。地域や行政とも連携し啓発活動や情報提供を行っています。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

私たちは、患者さん一人ひとりの多様なアレルギー疾患に丁寧に向き合い、専門性と多診療科の連携によって、より質の高い医療の提供を目指しています。

### 体制と運用方針

複数の診療科が横断的に連携し、気道・皮膚・食物など多岐にわたるアレルギー疾患に対応しています。地域や行政とも協力し、包括的な診療体制を構築しています。

### 業務内容

アレルギーセンターでは、複数の診療科

が連携し、多様なアレルギー疾患に対する総合的な診療を行っています。山梨県と連携し、診療実態調査や講習会、市民公開講座なども実施しています。ホームページではQ&Aや医療機関紹介など情報提供にも努めています。さらに、アレルギー専門医の育成や学術的発展にも貢献しています。

### 特色と主な実績

多診療科による横断的診療体制により多様なアレルギー疾患に対応しています。山梨県と連携し、診療実態調査や講習会、市民公開講座を実施し、情報提供にも注力し、地域のアレルギー対策を推進しています。



## IVR センター

IVR(Interventional Radiology)とは「画像下治療」と訳され、血管造影・超音波・CTの画像診断装置を用い低侵襲に手技を行う医療分野です。従来山梨県にIVR治療専門部署はありませんでしたが、平成30年、当院および山梨県下のIVR治療の集約化、各科・各施設との連携拠点の構築、IVR専門医の育成、山梨県下のIVR治療の向上を目的とし当院内にIVRセンターが設立されました。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

IVRでは体を斬らず画像を見ながらカテーテルや穿刺針を操り治療することで体に負担なく治療ができます。現在、当センターを基点とし山梨県下の患者さんにIVR治療を提供しています。

### 体制と運用方針

IVR専門医3名、IVRの専攻医3名を中心

に24時間体制で緊急症例を含め対応しています。患者さんの受入れは、当院の各診療科、他病院からの依頼に対応しています。

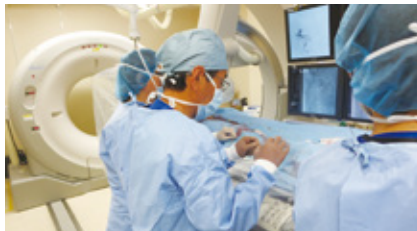
### 業務内容

腫瘍塞栓術（TACE等）、抗癌剤動注（頭頸部癌や膀胱癌等）、様々な出血の止血（動脈瘤破裂、喀血、術後出血、臓器損傷、消化管出血、産科出血、外傷性出血等）、末梢非破裂動脈瘤や血管奇形の塞栓術、大動脈ステントグラフト内挿術、血管形成術、腫瘍画像ガイド下生検、CVカテ・ポート留置、膿瘍ドレナージ、内分泌サンプリング、経頸静脈性肝生検、リンパ管造影、血管内異物除去など。

### 特色と主な実績

当センターは山梨県下唯一の低侵襲画像化治療センターです。当院や山梨県下の紹介患者さんを含め年間700件以上IVR治療

を行っています。学術的には塞栓物質や門脈圧亢進症の研究を行っています。



## てんかんセンター

山梨大学医学部附属病院てんかんセンターは、2018年6月1日に山梨県唯一のてんかん支援拠点病院として開設されました。専門的かつ包括的なてんかん医療を提供し、教育活動や社会活動を通じて、地域のてんかん診療向上に貢献しています。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

当センターは、てんかん患者さんご家族が安心して生活できることを目指し、専門的な診療と包括的な支援を提供します。地域との連携を深め、山梨県のてんかん診療の質向上にも努めます。

### 体制と運用方針

小児科、脳神経外科、神経内科、精神科の4診療科で構成され、救急部・検査部・薬剤部などとも連携し、外来から入院まで一貫した診療体制を整えています。また、てんかん診療コーディネーターが患者さんの生活

支援を行っています。

### 業務内容

当センターは、新生児から高齢者までのてんかん患者さんに対して、診断・治療・福祉支援を含む専門的で包括的な医療を提供しています。診療コーディネーターが相談支援や県内病院との連携を担当します。教育活動として、てんかん専門医の育成やてんかん診療コーディネーターの育成をしています。地域連携協議会を開催し、県全体のてんかんケアを強化しています。

### 特色と主な実績

山梨県唯一のてんかん支援拠点病院として、専門的かつ包括的



## 産前産後ウェルビーイングセンター

令和3年に開設された「産後ウェルビーイングセンター」では、妊娠期から産後1週間とされる周産期より、産後1～2年を見据えた中長期的な視点で母親の心のケアを行い、産後特有の心理状態を的確に理解することで、適切な医療の提供を心がけています。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

周産期メンタルヘルス医療の経験を積んだ精神科医、センター専属の公認心理師と助産師が、産科医と小児科医や社会福祉士らとチームを組み、地域保健師との連携した支援を行っています。

### 体制と運用方針

周産期および産褥期の母親の心理特性、育児における母親と父親の役割を共有し、支持や認知修正などの精神療法を中心に、必要な薬物療法を併用することもあります。

### 業務内容

多くの母親が経験し、おおむね1ヶ月以内に軽快する「マタニティーブルーズ（MB）」、産後数ヶ月以降にも日常生活に支障を来す「産後適応障害（PAD）」や「産後うつ病（PPD）」の心理的症状を正確に診断・治療することは、適切な支援につながる重要なプロセスです。

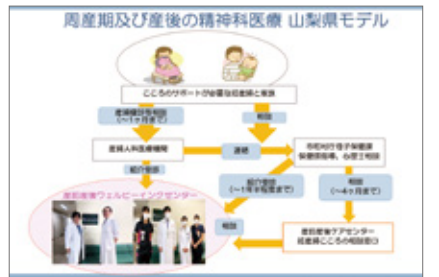
近年では、妊娠中の不安症などの治療、流産・死産を経験した母親や遺伝性疾患などの障害をもって生まれた子どもの母親への心理支援のニーズも増加しています。これを受けて、令和5年に「産前産後ウェルビーイングセンター」と改め、より包括的なメンタルヘルスケア体制を整備しました。当センターは、山梨県庁・市町村役所および産前産後ケアセンター「ママの里」と連携し、県内の産科・精神科医療機関との医

なてんかん医療を提供しています。教育活動として、月1回の専門医育成のためのカンファレンスを開催しています。また、社会活動として、救急隊員向けのオンライン教材を作成や、毎年2月に開催される市民セミナーを通じて、てんかんの啓発活動を行っています。

療ネットワークおよび人材育成の教育システムの中核施設として、地域における母子のこころの健康を支える役割を担っています。

### 特色と主な実績

妊娠期不安症、月経困難症（PMS・PMDD）、マタニティーブルーズ、産後適応障害、産後うつ、遺伝性疾患罹患児の両親の心理支援、流産・死産に対するグリーフケア



## 脊椎脊髄センター

脊椎および脊髄に関連したさまざまな疾患に対して保存および手術、リハビリテーションを行います。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

わたしたち脊椎脊髄センターは、高齢化社会の進展に伴い増加する脊椎の加齢性変化に起因するさまざまな疾患に対し、地域医療機関との密接な連携のもと、積極的に紹介患者さんを受け入れ、早期診断と個々の患者さんに最適な治療の提供を行っています。

加齢に伴う一般的な脊椎疾患に加えて、後縦靱帯骨化症や黄色靱帯骨化症などの難治性疾患、脊髄腫瘍、小児の脊柱変形といった高度な専門性を要する疾患にも積極的に取り組んでいます。

### 体制と運用方針

脊椎脊髄外科指導医3名、脊椎脊髄外科専門医3名、整形外科専門医5名、脳神経外

科専門医1名で構成されており、整形外科と脳神経外科が一体となって診療にあたっています。毎週、合同カンファレンスを実施し、各分野の専門的な視点をもとに最適な治療方針を検討し、必要に応じて検査や手術も共同で行っております。

### 業務内容

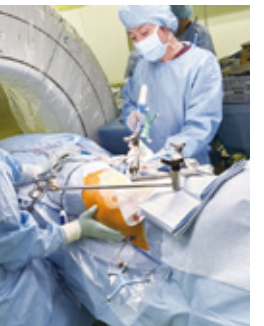
手術は、高度清潔区域（バイオクリーンルーム）にて、O-armナビゲーションシステム、神経モニタリング、手術用顕微鏡や内視鏡、エコーなどの先進的な医療機器を駆使し、安全性を最優先に実施しております。術後には医師、看護師、リハビリテーションスタッフをはじめとする多職種による包括的なサポート体制のもと、早期回復を目指したリハビリテーションを行っています。

### 特色と主な実績

センターでは治療成績や新たな知見を国

内外の学会で積極的に発表し、国際誌への論文投稿も行うなど、学術活動にも注力しております。これにより、常に最新の知識と技術を臨床に還元し、患者さんにとって最良の医療を提供し続けられるよう努めております。

今後も脊椎脊髄疾患でお困りの患者さんやご家族、そして地域社会の皆様に信頼される医療を提供できるよう、スタッフ一同研鑽を重ねてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



## がんセンター

当がんセンターは、消化器・乳腺・呼吸器などの主要がんに加え、希少がんを含むすべてのがん種に対応可能です。大学病院ならではの専門性と診療科横断的な連携を活かし、地域の皆様に世界水準の最先端がん医療を提供しています。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

がん医療は日々進歩しており、私たちは常にその最前線で、患者さん一人ひとりの病状と生活に寄り添った最適な治療を目指しています。患者さんが安心して治療に専念できる環境づくりに努めています。

### 体制と運用方針

外科・内科・放射線科・病理・ゲノム診療など多分野の専門医が密に連携し、個別性の高い最適な治療を安全に提供できる体制を整えています。多職種によるチーム医療を推進しています。

### 業務内容

手術・化学療法・放射線治療を組み合わせた集学的治療を提供し、ロボット支援下手術や免疫療法などの先端医療も積極的に導入しています。がんゲノム医療にも対応し、遺伝子パネル検査を通じて個々に最適な治療選択を行います。また、がん相談支援センターや緩和ケアチームと連携し、治療中の不安にも多職種で寄り添う体制を整えています。

### 特色と主な実績

全がん種への対応力に加え、ロボット手術や高精度放射線治療、ゲノム医療などの先進的な技術を導入しています。



がんゲノム医療連携病院としての機能も果たし、患者さんにとって最善・最良の治療を提供しています。

## 初期救急医療センター

初期救急医療センターは、夜間・休日における軽症救急患者の受け皿として、山梨県の公式要請を受け2024年5月に開設されました。従来、初期救急は地域の医師会を中心に運営されてきましたが、医師の高齢化や二次救急病院の過重負担により、県全体でその継続が困難になりつつありました。当センターはその解決策の一つとして、大学病院のリソースを活用し、県全体の初期救急を支える役割を果たしています。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

「救急車を呼ぶほどではないが、翌日まで待てない」——そんな状況にある患者さんに寄り添い、必要な医療をタイムリーに提供することが私たちの使命です。また当センターは、大学病院の医師や医学生にとって、地域医療の最前線を経験する貴重なフィールドでもあります。

### 体制と運用方針

診療は、大学病院所属の医師1名、地域医師会から派遣された院外医師1名、そして当院の研修医で構成されるチームによって行われています。診療時間は18時から22時30分までで、内科系・外科系いずれの症状にも対応できる体制を整えており、主に自力で来院可能な患者を対象としています。必要に応じて適切な医療機関への紹介も行い、地域全体での医療連携を推進しています。

### 業務内容

発熱、腹痛、嘔吐、軽度の外傷や皮膚症状など、緊急性はあるが重症でない症状に対して、初期対応を行っています。また、受診前には電話での事前連絡をお願いしており、医療資源の適正利用を促進する運用としています。

### 特色と主な実績

年間約1万人の患者さんの診療を行っており、地域の夜間・休日医療の基盤として定着しています。大学病院が主導する初期救急拠点としては全国的にも稀有な存在であり、教育・研究・地域貢献を一体として担い、アカデミアの光を地域に届ける拠点を目指しています。



## 子宮内膜症ケアセンター

子宮内膜症は月経痛や慢性痛などにより、全身に影響を及ぼす疾患です。当センターは多診療科が連携し、包括的診療を行う専門施設です。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

月経痛は人と比べることはできないため、なかなか、ご本人の状態を客観的に評価することが難しいものです。月経痛に悩む方は、子宮内膜症の可能性も。ぜひ一度ご相談ください。

### 体制と運用方針

産婦人科を中心に、消化器、泌尿器、呼吸器、麻酔科、精神科、リハビリなどが連携し、診療を行います。

### 業務内容

子宮内膜症に関連する各種症状に対応。診断、治療、運動療法、心理支援を組み合わせた包括的医療を提供しています。とくに月経痛のみならず、全身状態の改善を目指し睡眠、食事、運動についても外来でも相談して参ります。

### 特色と主な実績

2024年設立。日本初の多診療科連携型内膜症センターとして、迅速で全人的な診療体制を構築しています。



## 病院経営管理部

病院経営管理部は、山梨大学医学部附属病院の持続可能な経営と質の高い医療提供を目指し、経営戦略の企画・推進を担う部門です。経営分析や組織分析を通じて、財務の健全性を確保し、資源を効率的に配分します。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

病院経営管理部は、安定した経営基盤のもと、質の高い医療を提供できるよう、病院全体の目標達成に貢献します。経営と医療の質の向上を両立させ、地域医療に貢献していく所存です。特に、経営関連のデータの分析を通じて、無駄をなくし、より多くの資源を患者さんへの直接的なサービスに振り向けられるよう努めます。また、このアプローチにより、患者満足度の向上と職員の働きがい創出を目指しています。

## 栄養管理部

栄養管理部では「安全で信頼される給食」を理念に掲げ、患者さん一人ひとりを大切に思い、喜びや感動を与えるとともに迅速に対応するように心がけています。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

栄養管理部では、医療栄養業務、入院患者さんの給食業務および院内外の栄養教育の支援を行っています。ご入院中も食事に喜びを感じて頂けるよう、旬の食材を積極的に取り入れた季節感のある食事の提供など、「食の安全・安心」と「食の楽しみ」の両立を目指しています。

### 体制と運用方針

主に給食管理業務と臨床栄養業務に分かれています。給食管理業務は開院以来、直営（一部委託）であり、栄養管理・栄養指導・チーム医療などの臨床栄養業務を行っています。管理栄養士17名、栄養士2名、調理師

### 体制と運用方針

病院経営管理部は、病院経営企画課、医事課、医療支援課といった事務部門と連携し、病院運営を多角的に支援しています。人材、医療機器、施設整備、地域連携など、病院運営に関わるあらゆる側面について、客観的な分析に基づいた支援を行っています。具体的には、データ駆動型のアプローチを採り、病院の現状を正確に把握した上で、中長期的な視点に立った戦略的な計画を策定し、その実行を支援します。さらに、計画の進捗状況を定期的に評価・検証し、必要に応じて迅速に改善策を講じることで、病院運営の最適化を継続的に図ります。

### 業務内容

主な業務は、病院の経営管理に関する企画・立案、およびその検証です。当院の目標達成を支援するため、各種委員会や関係部

24名、委託調理師6名、委託調理員15名、事務2名、総勢66名で業務を行っています。

### 業務内容

食事は治療の一環のため、個々の病態に応じた食事内容とともに安全・安心、美味しく、また楽しみとなる食事提供に努めています。

また、医師・看護師・管理栄養士による栄養スクリーニングを全入院患者さんに行い、病状や栄養摂取状況に応じた栄養ケア計画を実施しています。栄養食事指導は、医師の指示のもと、患者さんのライフスタイルに合わせた食生活改善の提案、実現に向けた取り組みを一緒に考えます。

### 特色と主な実績

令和6年度患者給食数  
一般食 146,179食

署と連携・調整し、円滑な活動を推進しています。具体的には、予算策定や診療報酬改定への対応、経営指標のモニタリング、新規事業の事業性評価など、多岐にわたる業務を担当します。また、医療現場のニーズを的確に把握し、経営的観点から最適な解決策を提案することで、効率的で質の高い医療提供体制の構築に貢献を図っています。そして、病院の運営管理全般にわたり、幅広い業務を担うことで、病院全体のパフォーマンス向上を目指します。

### 特色と主な実績

当部門の最大の特色は、データに基づいた経営戦略の策定です。経営分析と組織分析に基づき、財務の健全性を確保しつつ医療の質を向上させる戦略を策定しています。資源の効率的な配分を通じて、病院の持続的成長と地域医療への貢献を実現しています。

特別治療食（加算） 89,954食  
特別治療食（非加算） 165,317食  
令和6年度栄養指導件数  
個別栄養指導件数 1,830件



## 医療情報部

電子カルテや病院内ネットワーク管理を通じて、医療の効率化と安全性を支えています。患者に対して包括的かつ高度な医療を提供することを使命とし、トラブルへの24時間体制のサポート体制を整えています。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

見えない部分から医療現場を支え、安心・安全な環境を構築しています。現場の最前線で患者と向き合い、絶えず進化するデジタル技術やセキュリティガイドラインに適応しながら最善の医療を提供します。

### 体制と運用方針

ITインフラを継続的に改善し、セキュアな通信とデータ保護体制を強化しています。チーム医療の強化と教育の充実に努め、スタッフ全員が迅速かつ的確な対応を実施できるよう取り組んでいます。

### 業務内容

電子カルテ保守、ネットワーク管理、スマートフォン端末導入などを行い、医療従事者の業務支援と医療安全に貢献しています。また、医師の働き方改革を支援するため、遠隔診療を実現するための高度なセキュリティ対策を実施しています。

### 特色と主な実績

高機能なスマートフォンへの移行を進めるなど、最新技術で院内DXを推進しています。最新技術の導入や適宜実施しているセキュリティ講習などを通じて、診療の質向上と地域医療への貢献を目指しています。



## 医療の質・安全管理部

医療の質・安全管理部は、安全管理室として2001年度に設置され、2016年に「医療の質」を追加し、病理念の実現と特定機能病院における高度な医療安全管理体制の確立に向けて、安全文化の醸成する各種活動に取り組んでいます。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

山梨県唯一の特定機能病院として、高度な医療安全管理体制の確立に向けて、医師、看護師、薬剤師などの多職種で連携し、「病院全体がひとつのチーム」として患者中心の医療が実現できるよう日々、取り組んでいます。

### 体制と運用方針

副病院長の医療安全管理責任者、及び安全管理委員会の下、医師、看護師、薬剤師の専任医療安全管理者（GRM）が部門に配置され、5つの委員会、3つの担当部門と各部

署のリスクマネージャーの会議を設け活動しています。

### 業務内容

病院全体の医療の質、及び安全の課題である「高度な医療安全管理体制」「医療事故等の対応、防止策の立案と実施」「医療安全に関する教育・研修の企画と実施」「医療安全に関する院内各部門間の連絡、調整」「医療の質向上のためのモニタリング」について、院内外が多職種チーム、及び患者さん、ご家族と共に取り組んでいます。

### 特色と主な実績

当院では、独自開発のインシデント報告システム



## 感染制御部

感染症対策（ICT活動）や抗菌薬適正使用支援（AST活動）の専門部門として、2017年4月1日に設置されました。医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務職員など多職種から成るチームで活動しています。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

現場の視点を重視した持続可能な感染症対策と、効果的かつ薬剤耐性問題の改善につながる抗菌薬適正使用支援を柱としています。電話相談も可能ですのでご活用下さい。

### 体制と運用方針

ICT活動は感染管理認定看護師3名を中心に、日々の対応に加え院内ラウンドを行い質の維持向上を図っています。AST活動は抗菌薬化学療法認定薬剤師を中心に、感染症専門医を含む医師3名と看護師、臨床検査技師で担当しています。

### 業務内容

ICT活動では職員への感染対策研修と実践指導、感染症モニタリングとサーベイランス、感染症発生時は拡大防止策の支援、院内感染対策マニュアルの整備と更新に加え他院からの相談や新興感染症対応など地域医療にも貢献します。AST業務では抗菌薬使用状況の監査に加え症例の治療相談にも対応し抗菌薬治療の適正化を支援します。



## 薬剤部

薬剤部では高度医療に対応し、患者個々に最適な薬物療法を提供するため、高い専門性も持って業務にあたっています。また、緩和ケア、褥瘡ケア、感染対策、NSTなどの医療チームに他職種と連携して積極的に参画しています。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

医学が進歩し、革新的な新薬が次々に登場する中で、薬物療法における薬剤師の関与が極めて重要となっています。私たちは、知識と技術の研鑽を続けるとともに、コミュニケーションを大切に、信頼される薬剤部を目指します。

### 体制と運用方針

先進医療を担う病院の一員として、以下を基本方針としています。

1. 患者個々の想いを尊重し最善の薬物療法を提供する

2. 高い倫理観と薬学的基盤をもって医薬品の適正使用を支える
3. 献身的に医療に貢献できる誠実な病院薬剤師を育成する
4. 臨床上の課題に向き合いその解決と科学的根拠を創出する

### 業務内容

【業務室】需要予測に基づく適切な在庫管理【調剤室】薬学的管理に基づく的確な処方鑑査・疑義照会、適切な調剤、1施用毎の注射薬払い出し【DI室】医薬品情報の収集、的確な情報提供、適応外使用／未承認医薬品に関する薬学的管理業務【製剤室】医療倫理を踏まえた院内製剤の調製と提供【病棟】多職種と協働した薬学的介入、的確な処方提案、個々の患者に合わせた服薬指導【TDM・試験室】薬物動態学に基づく薬物血中濃度解析と処方設計【抗がん剤調製

室】レジメン管理、副作用モニタリングなど安全な化学療法の支援

### 特色と主な実績

各職種が各々強みを発揮しながらチームで活動しています。当部門は山梨県感染症対策センター（YCDC）の運営に関与し山梨県の感染症対策にも貢献しています。



## 看護部

看護部は「患者さん一人ひとりの健康問題を解決するために、患者さんと共に考え看護を提供します」を理念に、入院から在宅支援まで多職種と連携し、各部門で専門的な看護を提供しています。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

看護部は、多様な分野での看護活動を通じて、専門性を発揮できる環境づくりに努めています。また、職員が生涯健康に働き続けられる職場を提供するため、ヘルシーワークプレイスの実現を目指し、「職場の心理的安全性」を高める取り組みを強化しています。

### 体制と運用方針

看護職は、病棟や外来に加え各検査・治療部門、手術部門、総合支援部門、医療チームセンター、初期救急センター等様々な部署で、患者の入院前から退院・在宅支援ま

での一連の治療経過において、医師やメディカルと協働しながら看護を提供しています。

### 業務内容

看護部では、専門看護師・認定看護師が活躍する医療チーム活動（栄養サポート、呼吸ケア、緩和ケアなど）に加え、看護主体の排尿自立外来や移植後長期フォローアップ外来、助産師による助産師外来・院内助産など、専門性を活かした業務を展開しています。特定看護師の育成にも注力し、タイムリーなケアの提供体制を整えています。

### 特色と主な実績

看護職として学び続け、看護の質向上とチーム医療に貢献できる看護職の育成を目指し、適正に評価し能力の向上を図るキャリア開発ラダーシステムを導入しています。また、委員会等を組織化し、病院および

看護部の目標達成に向けて協力しながら取り組んでいます。



## 総合支援部

総合支援部は、医療福祉支援センター、地域医療連携センター、業務支援センターより構成され、患者さんご家族、また、当院職員を支援する業務を担っております。

### 部門長（センター長）からのメッセージ

入院予定の患者さんには入院前から医師、看護師、ケースワーカーなどの多職種で協力したサポートを展開しています。また、併せて退院後のサポートについても地域医療機関と協力し、入院前から支援を開始します。さらに、通院中の疾患で不安や行政などの支援が必要あるいは希望されている場合にきめ細かい支援ができる体制があります。今後も患者さんに寄り添う病院となるよう尽力していきます。

### 体制と運用方針

【業務支援センター】患者さんへの快適な医療環境提供のため、

サービスの質向上と医療スタッフの業務効率化を推進しています。

### 【地域医療連携センター】

外来の段階からスタッフ間で情報を共有し、入退院・転院・在宅医療の支援を行っています。

### 【医療福祉支援センター】

治療や生活に対する不安を抱える患者さんやご家族を支援しています。

### 業務内容

#### 【業務支援センター】

診断書支援：診断書作成にかかわる業務

外来支援：外来診療での様々な問題への検討と対策

#### 【地域医療連携センター】

地域連携（前方支援）：診療予約、受診・退院報告書にかかわる業務

地域連携（後方支援）：地域医療連携協定推進など入退院支援：多職種による患者支援

周術期外来：安全に手術を行うための麻酔科医による診察など

### 【医療福祉支援センター】

医療福祉相談：病気に関するさまざまな問題の支援  
難病支援：医療機関、患者、家族からの難病診療等に関する相談

心理支援：患者さんへのカウンセリングなど

### 特色と主な実績

各センター長主導のもと、医師、看護師、SW、事務職員の多職種が協働し、課題を検討、改善に努めております。



## 臨床教育部

### 臨床実習センター

#### 診療科の特色

臨床実習センターは、医学科・看護学科の学生および学外からの医療系実習生の臨床実習・臨地実習を統括しています。当センターは医療系大学間共用試験に合格し、公的な資格「臨床実習生（医学）」を有する医学生が指導医のもとで医療スタッフとして参

### 臨床研修センター

#### 診療科の特色

臨床研修センターは初期臨床研修において研修医の自主性を尊重した研修カリキュラムを提供しています。研修のフィールドを広く学外にも広げ、県内外の中核病院と大きなアライアンス（連携病院群）を形成し、その中で自由に研修できる体制を提供

加する「診療参加型実習」を行っています。また附属病院のシミュレーションセンターを活用して実習生が様々な基本的手技を学ぶ機会も提供しています。当センターの運営委員会は、臨床系講座の教育医長、看護学科の実習委員長、附属病院看護部の教育担当者などで構成されており、医学教育の変化や社

会の要請に対応して随時実習プログラムの改善を行っています。本学で学ぶ医学科、看護学科の学生は当センターが統括するこれらの実習を通して医療や患者ケアに必要なスキルを身につけ、卒後は社会の多様なニーズに対応できる「プロフェッショナル」として各分野で活躍しています。

まな医療ニーズに応えられる人材を育成することにより、地域医療と国際医療に貢献できる医師を山梨から育てることを目指しています。



## Department of Clinical Laboratory

Department of Clinical Laboratory provides reliable laboratory tests to doctors and patients so that patients undergo appropriate medical care. This department consists of Biochemistry Lab., Immunology and Serology Lab., Hematology Lab., Microbiology Lab., Genetics Lab., General Test Lab., Physiological Examination Lab., Blood Transfusion Test Lab., and Blood Sampling Room.

### Message

Our laboratory is a quality-assured laboratory certified under ISO 15189:2022 (international standard for clinical laboratories). We will continue to serve as a team of laboratory test professionals who are always striving to improve, supporting the advanced medical care provided by our hospital.

## Surgical Center

The operating rooms of the University of Yamanashi Hospital, affiliated with the Faculty of Medicine, serve as the surgical facilities of the only designated advanced treatment hospital in Yamanashi Prefecture. Comprising both central and outpatient surgery units, the department features a total of 14 operating rooms and performs approximately 6,900 to 7,000 surgeries annually.

### Message

The chairman of the Surgical Center is Dr. Hiroyuki Nakajima, appointed in April 2025. We are committed to creating an environment that alleviates patient anxiety while delivering cutting-edge surgical care safely. Surgeons, anesthesiologists, nurses, and other medical professionals work closely together to ensure every patient can undergo surgery with confidence.

As a united team, we will continue striving to deliver the highest level of surgical care.

## Department of Radiological Technology

The Department of Radiological Technology consists of the Diagnostic Imaging Division (X-ray, CT, MRI, nuclear medicine, OR, and endoscopy), the IVR Center (angiography and interventional radiology), the Radiation Oncology Division (including Radionuclide therapy), and the Radiation Management Division. Together, they form the core of our radiological diagnosis and treatment services.

### Message

As a leading center for advanced medical care in Yamanashi, we provide high-quality imaging, precise radiological diagnosis and treatment, and careful radiation dose management. We are committed to delivering safe and reliable care while advancing our technology and educating the next generation of professionals.

## Supply Center

The Materials Department centrally manages the cleaning, sterilization, and storage of all medical instruments used in the hospital. As a specialized unit, it ensures the safe and reliable supply of equipment, thereby supporting the clinical environment.

### Message

Our mission is to ensure the delivery of safe and secure medical care. As a department specializing in cleaning and sterilization, we support clinical practice through advanced techniques and rigorous quality assurance.

### Structure and Operational Policy

We apply appropriate sterilization methods—high-temperature or low-temperature—based on the characteristics of each instrument.

### Structure and Operational Policy

We have established a laboratory test system based on ISO 15189:2022. We also place emphasis on research and education (technician trainees, medical students, interns, and clinical laboratory specialists).

### Business content

Biochemistry, Immunology/Serology, and Hematology Labs. have established fast testing systems and provide 50 kinds of test results in 30 - 60 min so that doctors can obtain the results before the outpatient examination. Physical Examination Lab. offers ECG, respiratory tests, electroencephalographic exams, and ultrasound exams, receiving high commendations from doctors.

### Structure and Operational Policy

Our department operates under a multidisciplinary team approach involving physicians, surgical nurses, pharmacists, radiologic technologists, and clinical engineers. We provide 24/7 emergency surgical services year-round. By optimizing surgical scheduling, equipment preparation, and operating environments, we aim to reduce waiting times. Additionally, we are continuously enhancing our facilities and capabilities to handle highly complex procedures.

### Business content

The Surgical Department at the University of Yamanashi Hospital delivers safe and advanced surgical care through state-of-the-art equipment and teamwork. We collaborate across clinical departments, anesthesiology, and surgical nursing to manage the perioperative period, sharing patient data and conducting preoperative risk

### Features and main achievements

We contribute to medical care as a leader in laboratory testing in Yamanashi Prefecture. In-house COVID-19 PCR has been provided since February 2020. To contribute to the research conducted at our hospital, we launched the residual sample provision system and blood sampling for research in the central blood sampling room in 2024 and 2025, respectively.

assessments.

In coordination with the materials management and radiology departments, we ensure smooth equipment setup, sterilization, and intraoperative imaging, supporting safe surgical outcomes.

### Features and main achievements

We actively promote minimally invasive and advanced surgical techniques, with a strong emphasis on thoracoscopic, laparoscopic, and robot-assisted procedures. Our facility includes a hybrid operating room integrated with an angiography suite, and is equipped with three da Vinci robotic systems and a navigation system to support precision surgery. Additionally, in neurosurgery, we utilize a mobile magnetic resonance imaging (MRI) unit for intraoperative imaging, enabling highly accurate and safe surgical interventions.

## Division of Transfusion Medicine and Cell Therapy

Department of Blood Transfusion and Cell Therapy provides safe and appropriate transfusion medicine to all the departments in hospital and our patients. Through these efforts, we support our staff in providing better care and treatment to our patients.

### Message

Our Blood Transfusion and Cell Therapy Department has obtained I&A certification, which attests to appropriate blood transfusion medical care, and ISO 15189:2022 (Immunohaematology and Transfusion-Related Testing) certification, an international standard for the quality and competence of clinical laboratories. We will continue to provide safe and appropriate blood transfusion medical care, blood transfusion testing, and cell therapy to support the advanced medical care provided at our hospital.

### Structure and Operational Policy

We work closely with the Department of Clinical Laboratory. During nighttime and holidays, two staff members, one for blood transfusions and the other for laboratory testing, are on duty to provide detailed services to medical departments. We have one blood transfusion specialized doctor and have obtained Blood Transfusion Management Fee II certification.

### Business content

We perform blood transfusion testing, management of blood for transfusion, collection and management of autologous blood for transfusion, peripheral blood stem cell collection, and processing such as red blood cell removal from bone marrow fluid. Our facilities include a fully automated blood transfusion testing system (OrthoVision®), a peripheral blood stem/

mononuclear cell collection device (Spectra Optia® by Terumo Corporation), and a cell processing room equipped with state-of-the-art technology for preparing cells used in cell therapy and regenerative medicine.

### Features and main achievements

As a leader in blood cell therapy in Yamanashi Prefecture, we are contributing to medical care. CAR-T therapy, which is gaining attention as a new treatment for hematological malignancies, has been introduced at our hospital, and our department is responsible for cell collection and preparation management of cell therapy product

## Department of Emergency Medicine

The department oversees the ER and provides care ranging from tertiary emergency services to community secondary emergency care. We are committed to delivering comprehensive, high-level care for critically ill patients through a 24/7 operation.

### Message

As the first point of contact for emergency care, we respond quickly and accurately to diverse conditions. Facing patients on the front lines, we strive to provide optimal care while adapting to ever-evolving medical practices.

### Structure and Operational Policy

We adopt a cross-disciplinary team approach in collaboration with specialists from various departments. We also emphasize team-based

care and education to ensure all staff can respond promptly and appropriately.

### Business content

We deliver initial treatment in the ER for emergencies such as cardiac arrest, sepsis, and trauma, while also enhancing disaster preparedness. In addition, we coordinate medical resources and support patients transitioning from acute to recovery phases.

### Features and main achievements

Equipped with isolation rooms and specialty diagnostic facilities, the triage building improves our disaster response capabilities. Through the introduction of advanced technologies and collaboration with other institutions, we aim to improve care quality and contribute to

## Department of Intensive Care Medicine

Operating the only ICU in the prefecture, the department offers 24/7 specialized care for critically ill patients. We are committed to delivering comprehensive, high-level care for critically ill patients through a 24/7 operation.

### Message

We are dedicated to providing life-saving care and supporting the most critical cases. Facing patients on the front lines, we strive to provide optimal care while adapting to ever-evolving medical practices.

### Structure and Operational Policy

Our team of ICU physicians, nurses, and pharmacists offers comprehensive care for critically ill patients. We also emphasize team-based care and education to ensure all staff can

respond promptly and appropriately.

### Business content

We use ECMO and CRRT to treat severe cases from within and outside the hospital, around the clock. In addition, we coordinate medical resources and support patients transitioning from acute to recovery phases.

### Features and main achievements

While admitting approximately 800 new patients annually, we also actively engage in a wide range of clinical and basic research as a university hospital, contributing to improved survival rates. Through the introduction of advanced technologies and collaboration with other institutions, we aim to improve care quality and contribute to community healthcare.

## Neonatal Intensive Care Unit/Growing Care Unit

In April 2011, our hospital opened the Neonatal Intensive Care Unit (NICU) as a part of the regional perinatal and maternal medical center. In collaboration with perinatal facilities across Yamanashi Prefecture, including Yamanashi Prefectural Central Hospital, we provide advanced medical care for newborns in the area.

### Message

We aim to provide high-quality medical care and support system in collaboration with the local community so that every newborn can receive appropriate treatment and return home with peace of mind.

### Structure and Operational Policy

We have both NICU (Neonatal Intensive Care

Unit) and GCU (Growing Care Unit). We work closely with other departments, such as pediatric surgery and cardiovascular surgery, as well as other professionals, to provide consistent medical care from the acute phase to the growth support phase. We emphasize community collaboration and home support.

### Business content

We provide advanced intensive care for preterm infants born at 32 weeks of gestation or later, low-birth-weight infants, and newborns with specific conditions, such as respiratory disorders, infections, jaundice, and pediatric surgical diseases. Our facility is the only medical institution in the prefecture that can treat congenital heart diseases and neoplastic disorders in newborns. We also accept transfers

from other hospitals. In the GCU, we provide postnatal care for infants who have stabilized and assist in their transition to home care.

### Features and main achievements

We are focusing on treating congenital disorders in collaboration with the departments of pediatric surgery and cardiovascular surgery. We are also establishing a home support system for patients after discharge. Our goal is to develop a community-based neonatal medical care system.

## Department of Pathology

We prepare and manage tissue and cell specimens, as well as perform pathological diagnoses. Additionally, we support clinical trials and research utilizing pathological specimens.

### Message

Our staff works together to provide reliable pathological diagnoses to patients and physicians in clinical departments.

### Structure and Operational Policy

The Pathology Department consists of two pathologists, nine clinical laboratory technicians (including seven cytotechnicians), and two medical clerks. The department collaborates with pathologists from the Pathology Diagnosis Division to carry out its operations.

### Business content

Histopathology: Tissue samples are collected from the patient and used to prepare slides. Special stains or immunostains are added as needed.

Cytopathology: Cells collected from the patient are smeared onto a slide, stained, and examined for the presence of cancer cells.

Rapid Testing: A rapid diagnosis (histopathology or cytopathology) is performed during surgery or testing.

Autopsy: It is performed with the consent of the patient's family to determine the cause of death, pathophysiology, and the effectiveness of treatment.

### Features and main achievements

・ With the introduction of a virtual slide

system, it is now possible to view pathological specimens from electronic medical records (the scope of this service is being expanded).

・ We are strengthening our rapid cytology testing capabilities during bronchoscopy and endoscopy procedures.

・ We are capable of preparing high-quality specimens for cancer genome medicine and molecular genetic testing. In addition, as cancer genome coordinators, we provide explanations about cancer genome medicine to patients.

## Labor and Delivery Unit

The Labor and Delivery unit is primarily responsible for managing pregnancy, delivery, and the postpartum period in expectant and new mothers. In addition, it plays a key role in fetal diagnosis, management, and newborn care. The unit is in charge of the 4th floor north ward, and due to the specialized nature of its work, it is operated almost exclusively as a single department.

### Message

As a university hospital, we are equipped to manage high-risk pregnancies involving maternal or fetal complications. While our primary goal is the safe and secure management of pregnancy and delivery, we also strive to provide a highly satisfying birth experience. In collaboration with the anesthesiology department, we are working

toward the introduction of painless (or pain-relieved) delivery.

### Structure and Operational Policy

In addition to obstetricians, our team includes gynecologists, reproductive medicine specialists, and experts in women's health. We work collaboratively as "one team" alongside pediatricians, anesthesiologists, psychiatrists, midwives, nurses, nursing assistants, and pharmacists to provide comprehensive care.

### Business content

We are involved in the daily management of pregnancy and delivery. While we do handle normal deliveries, we also frequently encounter a variety of acute complications affecting the mother or fetus. In particular, we are often

required to manage cases that are difficult to handle at other institutions, such as those listed below.

### Features and main achievements

A distinctive feature of our hospital's obstetric care is the high number of pregnancies complicated by conditions such as psychiatric disorders and impaired glucose tolerance. We also manage abnormal pregnancies, including placenta previa and hypertensive disorders of pregnancy, as well as fetal anomalies such as congenital heart disease. The number of deliveries remains steady at around 600 per year. In addition, we handle obstetric emergencies such as life-threatening maternal hemorrhage and provide care for socially high-risk pregnant women, including those classified as "specified expectant mothers."

## Division of Rehabilitation

Rehabilitation is mainly focused on acute rehabilitation while treating illness and injury. It is characterized by moving out from the lying on the bed so as not to impair the function of the body as much as possible, and practicing the basic motion such as sitting, standing and walking in therehabilitation room.

### Message

We provide patient-centered rehabilitation based on safety and trust.

### Structure and Operational Policy

Currently, rehabilitation is provided by a staff of 35, including 23 physical therapists, 7 occupational therapists, and 5 speech-language-hearing pathologists. We focus on early mobilization and rehabilitation, and provide

interventions to help patients return to their daily lives as quickly as possible.

### Business content

Preventive rehabilitation to prevent loss of function is necessary in all medical departments, so we provide care across all departments.

### Features and main achievements

Three years ago, we started cardiac rehabilitation for patients after surgery for heart disease, and the number of patients is increasing every year. From June 2023, cardiac rehabilitation will also begin in the outpatient department, contributing to the development of cardiac rehabilitation in Yamanashi Prefecture. The Rehabilitation Department provides rehabilitation guidance in the wards

as part of the bedsores prevention team, and physiotherapists with respiratory therapist certification also provide guidance on respiratory physiotherapy. In addition, we provide guidance on diabetic exercise therapy as part of the prevention of lifestyle-related diseases. Our speech-language-hearing therapists are also involved in intraoperative MRI examinations and provide rehabilitation mainly to patients with higher brain dysfunction and swallowing disorders.

## Blood Purification Center

As a department of the University of Yamanashi Hospital that is responsible for highly advanced medical care, the Blood Purification Therapy Department safely provides patients with the most appropriate blood purification therapy. As an educational and training institution, our basic policy is to develop personnel who possess both specialized knowledge and skills.

### Message

Specialists in blood purification therapy, such as Japanese Society for Dialysis Therapy specialists, dialysis therapy instructor nurses, and certified dialysis technicians, work together to provide safe, high-quality team medical care. We hold regular conferences to discuss cases and take measures against infection, as well as to evaluate the safety of dialysis equipment and

dialysis fluid.

### Structure and Operational Policy • Business content

The Blood Purification Therapy Department is primarily responsible for hemodialysis (filtration) for hospitalized patients with chronic kidney failure, but also provides plasma exchange, immunoadsorption therapy, LDL adsorption therapy, blood component removal therapy, endotoxin adsorption therapy, and other treatments in combination with other medical departments. Peritoneal dialysis, blood access management, and regular checkups after kidney transplants are also performed in the outpatient department. With higher brain dysfunction and swallowing disorders.

## Department of Endoscopy

The Department of Optical Medicine is a central unit that performs endoscopic diagnosis and treatment for cancers, inflammatory, and hemorrhagic diseases of the gastrointestinal and respiratory systems, led by expert physicians.

### Message

As a core center of advanced medical care in Yamanashi, we are committed to providing safe, compassionate, and high-level endoscopic medicine that our community can trust. We will continue to focus on developing both technology and human resources.

### Structure and Operational Policy

Led by board-certified experts and instructors, we integrate clinical care, education, and research. The new endoscopy unit ensures a

safe and efficient diagnostic environment.

### Business content

We provide advanced diagnostic and therapeutic procedures, including upper and lower GI endoscopy, ERCP, and EUS. Our services cover tissue sampling, hemostasis, polypectomy, and stent placement. Over 6,000 procedures are performed annually with precision and expertise.

### Features and main achievements

In 2023, we performed 6,619 endoscopic procedures, including 1,256 therapeutic cases. The new endoscopy suite supports early detection and minimally invasive cancer care.

## Department of General Medicine

This department specializes in treating first-time patients who are unsure which department to visit and those with multiple health issues. We provide comprehensive care by examining the patient as a whole, rather than by specific organs, to establish an appropriate diagnosis and treatment path.

### Message

Our department's creed is to listen to each patient's voice and provide both physical and mental support. We work closely with specialists and our entire staff is dedicated to providing you with medical care that offers peace of mind and satisfaction.

### Structure and Operational Policy

Our team consists of experienced general

medicine specialists. For difficult-to-diagnose cases, we promptly collaborate with other hospital departments and hold conferences. Our policy is to efficiently provide optimal, patient-centered medical care.

### Business content

We provide initial medical care and diagnosis for patients with a wide range of undiagnosed symptoms, such as fever of unknown origin, fatigue, or weight loss. Key responsibilities also include the general management of patients with multiple chronic diseases and bridging them to specialized departments for hospitalization when necessary. We also strive to provide continuous medical care in cooperation with local clinics.

### Features and main achievements

Our department's specialty is our precise diagnostic ability for cases that are difficult to diagnose. We have a proven track record of accepting many referred patients throughout the year, identifying the pathology for many, and connecting them to the appropriate specialized treatment.

## Clinical Trial Management Office (CTMO)

Clinical Trial Management Office (CTMO) was established in 2010 to promote clinical trial and clinical study in the University of Yamanashi Hospital. CTMO staffs encourage investigators to develop new drugs, treatments and medical devices in clinical settings. The clinical research coordinator (CRC) plays central roles in supporting patients. We support patients to participate safely.

### Message

A university hospital's role is to apply the university's advanced basic research and new drugs to clinical practice and provide patients with proven treatments. Our department is committed to supporting patients and doctors in carrying out this mission every day.

### Structure and Operational Policy

The Clinical Trials Center, the Data Center, the Development Strategy and Research Promotion Office, the Education and Public Relations Office, and the Conflict of Interest Management Office are responsible for promoting the implementation and planning of clinical trials and research. Clinical trial coordinators (CRCs), data managers (DMs), and administrative staff collaborate to provide support.

### Business content

We promote the implementation of reliable clinical trials and clinical research in cooperation with each department in the hospital. We support patients so that they can participate in clinical trials and clinical research with peace of

mind. The CRC plays a central role in supporting patients. We support patients so that they can participate in clinical trials while protecting their rights and safety.

We also support researchers to properly conduct clinical trials and clinical research, from planning to data management and social implementation.

### Features and main achievements

As of June 2025, we have supported 55 corporate clinical trials. We have also supported investigator-initiated clinical trials for pharmaceuticals and medical devices, as well as other clinical research and clinical trials. We also provide education and consultation to researchers on clinical research.

## Department of Clinical Engineering

Clinical engineers are specialized medical professionals who work as integral members of healthcare teams alongside physicians and nurses, responsible for operating, maintaining, and inspecting life-support equipment and medical devices. Following legislative amendments in 2021, their scope of practice has been significantly expanded to include new intraoperative equipment operations, patient procedures such as puncture techniques, medication administration, and other direct patient care responsibilities. Currently, clinical engineers play vital roles across diverse medical settings, including blood purification therapy, mechanical ventilation management, extracorporeal circulation, and surgical suite support.

### Message

The Clinical Engineering Department operates under the philosophy of "Providing Peace of Mind to All Patients," offering comprehensive maintenance and safe operation of medical equipment. Our department manages a wide range of medical devices from life-support systems to robotic surgical equipment. Even in today's era of AI technology integration, human oversight and manual monitoring remain essential components of our practice. Through

education and training of multidisciplinary teams, we ensure 24-hour safe and efficient medical equipment operation, serving as a cornerstone of healthcare in Yamanashi and contributing to our local community.

### Structure and Operational Policy

We provide comprehensive maintenance and safe operation of medical equipment throughout the hospital, serving as specialists in medical devices essential for modern advanced healthcare and contributing to team-based medical care as key personnel responsible for ensuring the safety and maintaining the effectiveness of the ever-increasing array of medical equipment. Our staff of 23 members operates on a 24-hour rotation system across eight diverse areas of responsibility: blood purification, mechanical ventilation, extracorporeal circulation, operating rooms, intensive care units, angiography suites, arrhythmia-related procedures, and medical equipment management, all aimed at providing safe and secure medical care.

### Business content

Clinical engineers at our hospital are specialized professionals who operate,

maintain, and inspect life-support equipment such as dialysis machines, mechanical ventilators, and heart-lung machines under physician supervision. They perform diverse responsibilities on a 24-hour basis, including blood purification treatments annually. Our facility operates three surgical support robots and 60 mechanical ventilators, with our clinical engineers responsible for heart-lung machine operations during cardiac surgery and a wide range of extracorporeal circulation procedures from pediatric to adult patients.

### Features and main achievements

We centrally manage approximately 3,200 medical devices and provide support for approximately 7,000 surgical procedures and 2,700 blood purification treatments annually. Our facility operates three surgical support robots and 60 mechanical ventilators, with our clinical engineers responsible for heart-lung machine operations during cardiac surgery and a wide range of extracorporeal circulation procedures from pediatric to adult patients.

## Center of Medical Teams

The Center of Medical Teams is a department composed of various medical teams that provide cross-sectional support to hospital staff, patients, and their families. The medical teams are made up of multidisciplinary professionals and support patients with various diseases and conditions, as well as medical reimbursements and additions to the medical fees.

### Message

Through cross-sectional clinical and nursing support, the Center for Medical Teams strives to enhance its capabilities and contribute to the delivery of high-quality healthcare.

### Structure and Operational Policy

Palliative Care Team, Pressure Ulcer Care Team, Delirium Management Team, Dementia Care

## Reproduction Center

The Center for Reproductive Medicine has been in operation since November 2005. For infertile patients, we will provide medical care that takes privacy into consideration as much as possible. In addition to simply aiming for pregnancy, we will approach medical care in collaboration with other medical departments with a broad perspective that leads to safe pregnancy, delivery, and child-rearing.

### Message

Due to the nature of a university hospital, it is possible to provide very advanced medical care related to clinical research. If we determine that such treatment is necessary, we will talk to the patient. We would appreciate it if you could listen to the explanation from the doctor in charge. Reproductive medicine is advancing day by day, so we are always focusing on providing the latest technology in Yamanashi Prefecture.

## Liver Disease Center

The Liver Disease Center was established in 2008 as the core hospital for liver disease care coordination in Yamanashi Prefecture. In collaboration with national and prefectural authorities as well as specialized medical institutions, the center is engaged in improving the diagnosis and treatment of viral hepatitis, liver cancer, and fatty liver disease, while also promoting public awareness throughout the region.

### Message

Yamanashi Prefecture was, until quite recently, one of the regions in eastern Japan with a high prevalence of viral hepatitis and liver cancer. As a core hospital, our center has taken a leading role in efforts to eliminate these diseases through pioneering initiatives, including the

## Oral Implant Treatment Center

Our center opened in September 2008. Until then, it had been operating as part of the oral and maxillofacial surgery department. However, to deal with highly difficult cases, we launched the center as one specializing in dental implants.

### Message

Dental implant treatment is treatment that can restore missing teeth with excellent functionality and aesthetics. Therefore, a wide range of knowledge and skills in dentistry are required to perform dental implant treatment. All our staff will continue to study hard so that we can provide excellent dental implant treatment.

### Structure and Operational Policy

The center's staff hold conferences to propose appropriate treatment tailored to each case,

Team, Nutrition Support Team, Psychiatric Liaison Team, Diabetes Dialysis Prevention Support Team, Urination Care Team, Ostomy and Continence Care Team, Respiratory Care Team, Eating and Swallowing Support Team, Acute Pain Service

### Business content

Each specialized team works across the section to provide patients and family support and medical staff support in various locations, including inpatient and outpatient settings. To enhance the knowledge and skills of hospital staff, each team also provides education and guidance to hospital staff. Our center also responds to requests for training and observation from outside the hospital.

### Structure and Operational Policy

Currently, there are several reproductive medicine specialists, embryologists, and outpatient nurses working at the facility. For couples who wish to have children, we aim to help them get pregnant as soon as possible and with as little burden as possible. That's why our staff is made up of a team with specialized knowledge.

### Business content

In cases where a woman is unable to conceive even after general infertility treatment such as timed intercourse and artificial insemination, we provide advanced assisted reproductive technologies such as in vitro fertilization, intra cytoplasmic sperm injection, and freeze-thaw embryo transfer. In addition, we also perform endometrial polypectomy on an outpatient basis, infertility testing including advanced medical care for patients who have

training of liver disease coordinators. We will continue to devote our full efforts to overcoming liver diseases.

### Structure and Operational Policy

Under the leadership of the Center Director, Deputy Director, and a nurse counselor, the center works in close collaboration with the Department of Gastroenterology and Hepatology and the Medical Support Division to carry out a wide range of initiatives, as outlined below.

### Business content

Our center promotes the treatment of viral hepatitis and liver cancer, supports patients from screening to care, and strengthens collaboration with medical institutions in

### Features and main achievements

It is an organization that practices multidisciplinary team medicine, which is important in modern medicine. In FY2024, there were 3999 cases of addition to palliative care team, 1001 cases of addition to pressure ulcer high-risk care, 2872 cases of addition to dementia care, 410 cases of addition to nutrition support team, 1142 cases of addition to postoperative pain management team, etc.

repeated miscarriages, and implantation disorder testing including advanced medical care for patients who do not become pregnant even after multiple IVF treatments at other hospitals. We also perform preimplantation genetic testing for those who have had two or more miscarriages, or for those who have not become pregnant after two or more fertilized embryo transfers.

### Features and main achievements

Our center is the only one in the prefecture that provides fertility-preserving therapy for young cancer patients that leaves them with the possibility of becoming pregnant in the future. In addition, in cooperation with the Department of Urology, we cryopreserve testicular sperm by microscopic testicular sperm collection method for azoospermia cases and perform ICSI. In addition, from April 2025, we will also conduct oocyte freezing for those who cannot get married immediately due to work or family reasons.

Yamanashi Prefecture. We also train liver disease coordinators and raise public awareness through lectures, consultation sessions, events, and educational videos.

### Features and main achievements

In FY2024, we held general consultation sessions with medical and legal professionals, along with liver disease classes and public lectures. We also organized the large-scale awareness event "Yamanashi Liver Day" and continued coordinator training and collaboration with local specialized hospitals.

## Center for Clinical Genetics

At the Center, we provide genetic counseling for clients who experience concerns or anxieties related to the symptoms, prognosis, or hereditary nature of genetic conditions. This includes clear explanations of medical and genetic information, as well as support through medical care for physical and mental impairments, psychological counseling, and assistance in accessing available social resources.

### Message

Clinical geneticists and certified genetic counselors work as part of a multidisciplinary team alongside nurses, midwives, licensed psychologists, and social workers to provide integrated genetic healthcare.

## Stroke and Cardiovascular Emergency Center

Established in FY2024, the Stroke and Cardiovascular Emergency Center provides 24/7 emergency care for stroke and cardiovascular diseases

### Message

We are committed to delivering optimal and safe care through advanced treatments and multidisciplinary collaboration.

### Structure and Operational Policy

Specialists in stroke and cardiovascular care work together to ensure rapid emergency response and continuous patient support.

### Structure and Operational Policy

We are also engaged in pioneering practices in "palliative care in genetic medicine," with a unique focus on recognizing the diverse forms of distress experienced by clients and aiming to improve their quality of life (QOL) through accurate assessment and targeted interventions.

### Business content

At our center, clinical geneticists from multiple specialties have established the most advanced genetic medicine system in the prefecture. We provide care for a wide range of conditions, including rare diseases and chromosomal abnormalities diagnosed at birth or during childhood, as well as adult-onset disorders in which pathogenic genetic variants are identified.

### Business content

We offer thrombolytic therapy, mechanical thrombectomy, neurosurgical and endovascular treatments, PCI, circulatory support, and emergency cardiovascular surgeries.

### Features and main achievements

As the only core stroke center in the prefecture, we provide advanced procedures like TAVI and MitraClip, and serve as a central facility in a national model project.

## Center for Clinical Immunology and Rheumatology

The Rheumatology Center was established in 2016 to strengthen the collaboration among the Departments of Orthopedic Surgery, Dermatology, and Rheumatology. It provides comprehensive and multidisciplinary care for rheumatic and collagen vascular diseases, including rheumatoid arthritis.

### Message

We aim to deliver reliable, patient-centered care by combining specialty expertise with prompt decision-making through close interdepartmental collaboration. A center jointly operate by Orthopedics, Dermatology, and Internal Medicine for rheumatologic care is rare even in Japan.

### Structure and Operational Policy

Each department contributes its strengths, while weekly conferences and regular study sessions facilitate shared decision making and updated knowledge. Given the complexity of rheumatic diseases, our integrated structure enables rapid and flexible responses.

### Business content

We provide seamless care from diagnosis to treatment and rehabilitation for various autoimmune diseases including RA, SLE, myositis, and vasculitis. Orthopedic consultation is promptly performed when surgical intervention is required. High-level diagnostics such as musculoskeletal ultrasound and early initiation of biologics are actively employed. Our

In addition, we play a key role in offering genetic counseling for individuals diagnosed with hereditary cancer syndromes through cancer genomic profiling and companion diagnostic testing. We also provide genetic counseling for individuals seeking preimplantation or prenatal genetic testing as part of reproductive medicine.

### Features and main achievements

Congenital disorders such as chromosomal and genetic conditions, Transitional care for adolescents and young adults with genetic conditions (e.g., Down syndrome, 22q11.2DS), Adult-onset genetic diseases (e.g., Amyloidosis), Hereditary cancer syndromes, Preimplantation and prenatal genetic testing, Genetic counseling for next-generation concerns related to hereditary disorders

collaborative approach ensures both the quality and efficiency of patient care.

### Features and main achievements

We manage difficult-to-diagnose or treatment-resistant cases through multidisciplinary teamwork, offering integrated care across the joint, skin, and systemic manifestations. Our center plays a leading role in rheumatology care in Yamanashi Prefecture.

## Allergy Center

The Allergy Center is a specialized department that provides comprehensive care for increasingly complex and diverse allergic diseases through collaboration among multiple clinical departments. We also work with local governments to promote public awareness and provide accurate information.

### Message

We are committed to addressing each patient' s diverse allergic conditions with care and precision, aiming to provide high-quality medical care through specialized expertise and interdisciplinary collaboration.

### Structure and Operational Policy

Our center offers cross-disciplinary care involving multiple departments to address a wide range

of allergic conditions, including respiratory, dermatological, and food-related allergies. We also collaborate with local governments to build an integrated care system.

### Business content

The Allergy Center provides comprehensive care for various allergic diseases through collaboration among multiple clinical departments. In partnership with Yamanashi Prefecture, we conduct surveys on clinical practices, organize training sessions, and host public lectures. Our website offers Q&A resources, introduces allergy-capable medical institutions, and promotes accurate information dissemination. In addition, we are actively involved in training allergy specialists and contributing to the advancement of allergy

research and education.

### Features and main achievements

Based on a cross-disciplinary clinical structure, we provide care for a wide range of allergic conditions. In collaboration with Yamanashi Prefecture, we contribute to improving regional allergy care through clinical surveys and public awareness initiatives.

## IVR (Interventional Radiology) Center

Interventional Radiology (IVR) is a field of medicine in which minimally invasive procedures are performed under image guidance using modalities such as angiography, ultrasound, or CT imaging. In the past, Yamanashi lacked a specialized IVR department, disadvantaging patients in need. In 2018, our IVR Center was established with the goals of centralizing IVR procedures within the region, making collaboration with various departments, training IVR specialists, and advancing the quality of IVR care in Yamanashi.

### Message

By manipulating fine catheters and needles while visualizing the internal anatomy, IVR treatment can be provided with minimal invasion, avoiding open surgery. Today, this center provides safe

and effective IVR treatment to patients across Yamanashi.

### Structure and Operational Policy

Our center is on standby 24/7, including emergency cases, with a core team of three certified IVR specialists and three residents in training. We accept patients not only from our hospital but also from other hospitals throughout Yamanashi.

### Business content

These IVR treatments include embolization for tumors (TACE), intra-arterial chemotherapy (head and neck cancers, bladder cancer, etc.), hemostasis for various types of bleeding (e.g., aneurysm rupture, hemoptysis, postoperative bleeding, parenchymal organ

injury, gastrointestinal bleeding, obstetric and traumatic bleeding), embolization of peripheral aneurysms and vascular malformations, EVAR, angioplasty, image-guided tumor biopsies, CV port placement, drainage of trunk abscesses, endocrine venous sampling, transjugular liver biopsy, lymphangiography, and endovascular foreign body retrieval.

### Features and main achievements

Our center is the only specialized facility for minimally invasive image-guided therapy in Yamanashi Prefecture. We perform over 700 IVR procedures annually, including patients from across Yamanashi. Academically, we actively publish research on embolic materials and portal hypertension.

## Epilepsy Center

The Epilepsy Center at Yamanashi University Hospital, established on June 1, 2018, is the only epilepsy support base hospital in Yamanashi Prefecture. It provides specialized epilepsy care and contributes to regional medical advancement through education and social activities.

### Message

Our center provides specialized medical care and comprehensive support to help epilepsy patients and their families live with peace of mind. We will also deepen our regional cooperation and enhance the quality of epilepsy care in Yamanashi Prefecture.

### Structure and Operational Policy

The center comprises four departments:

pediatrics, neurosurgery, neurology, and psychiatry, collaborating with emergency, laboratory, and pharmacy departments. It offers a seamless care system from outpatient to hospitalization services, with an epilepsy care coordinator providing patient lifestyle support.

### Business content

The center provides comprehensive care for epilepsy patients from newborns to the elderly, including diagnosis, treatment, and welfare support. Coordinators manage consultation and collaboration with local hospitals, strengthening regional epilepsy care through meetings. It also conducts specialist training.

### Features and main achievements

As the exclusive epilepsy support base hospital

## Wellbeing Center for Perinatal Mental Health

The "Postpartum Well-being Center," established in 2021, provides mental health care for mothers from the perinatal period—defined as pregnancy through the first week postpartum—through to one to two years after childbirth, with a medium- to long-term perspective. By accurately understanding the unique psychological states associated with the postpartum period, the center strives to provide appropriate medical support.

### Message

Psychiatrists with experience in perinatal mental health care, along with the psychologists and midwives, work as a team with obstetricians, pediatricians, and social workers to provide coordinated support in collaboration with local public health nurses.

### Structure and Operational Policy

The psychological characteristics of mothers during the perinatal and postpartum periods, as well as the respective roles of mothers and fathers in child-rearing, are shared and discussed. Psychotherapeutic approaches such as emotional support and cognitive restructuring form the core of care, and pharmacotherapy is used when necessary.

### Business content

Accurate diagnosis and treatment of psychological conditions such as maternity blues (MB)—which many mothers experience and usually resolves within a month—as well as postpartum adjustment disorder (PAD) and postpartum depression (PPD), which may interfere with daily life for several months after delivery, are essential for providing appropriate support. Recently, demand has grown for mental health care during pregnancy, as well as for mothers who have

experienced miscarriage, stillbirth, or are raising children with genetic or congenital conditions. In response, the center was renamed the Perinatal Well-being Center in May 2023, to offer more comprehensive mental health services. The center collaborates with the Yamanashi Prefectural Government, municipalities, and Mama no Sato perinatal care center, serving as a core facility in the medical and educational networks for obstetric and psychiatric care, supporting the mental health of mothers and children in the region.

### Features and main achievements

Antenatal anxiety, premenstrual disorders (PMS/PMDD), maternity blues, postpartum adjustment disorder, postpartum depression, psychological support for parents of children with genetic disorders, grief care for miscarriage and stillbirth

## Center for spine and spinal cord

We provide both conservative and surgical treatments, along with rehabilitation, for various spine and spinal cord disorders.

### Message

At our Spine and Spinal Cord Center, we work closely with local medical institutions to provide early diagnosis and individualized treatment for patients with age-related spinal conditions, which are becoming increasingly common in our aging society. In addition to typical age-related spinal disorders, we actively treat complex and rare conditions such as ossification of the posterior longitudinal ligament (OPLL), ossification of the ligamentum flavum (OLF), spinal cord tumors, and pediatric spinal deformities, which require advanced expertise.

### Structure and Operational Policy

Our center consists of 3 certified spine surgery instructors, 3 board-certified spine surgeons, 5 board-certified orthopedic surgeons, and 1 board-certified neurosurgeon. Orthopedic and neurosurgical teams collaborate seamlessly. We hold weekly joint conferences to determine the best treatment strategies from multiple expert perspectives and conduct joint tests or surgeries as needed.

### Business content

Surgeries are performed in a state-of-the-art bio-cleanroom using advanced medical technologies such as the O-arm navigation system, intraoperative neurophysiological monitoring, surgical microscopes, endoscopes, and ultrasound equipment, all with a strong emphasis on safety.

Postoperatively, we offer comprehensive support from a multidisciplinary team including doctors, nurses, and rehabilitation staff to ensure early recovery through tailored rehabilitation programs.

### Features and achievements

Our center actively shares treatment outcomes and research findings at domestic and international conferences and publishes in academic journals. Through continuous academic activity, we incorporate the latest knowledge and techniques into our clinical practice, striving to provide the highest standard of care. We will continue to work together as a team to support patients, families, and the broader community with reliable, compassionate, and expert care for spinal disorders.

## Cancer Center

Our Cancer Center provides care for all cancer types, including rare cancers. By leveraging the specialized expertise of a university hospital and interdisciplinary collaboration, we deliver cutting-edge, world-class cancer treatment to the local community.

### Message

Cancer care is constantly evolving, and we stay at the forefront to deliver the most suitable treatment tailored to each patient's condition and lifestyle. We are dedicated to creating a safe, supportive environment where patients can focus on their recovery with peace of mind.

### Structure and Operational Policy

Our system brings together specialists in surgery, internal medicine, radiology, pathology,

and genomic medicine, working closely to safely deliver highly personalized treatment. We actively promote multidisciplinary, team-based care.

### Business content

We offer multidisciplinary cancer care that integrates surgery, chemotherapy, and radiation therapy, while actively adopting advanced approaches such as robot-assisted surgery and immunotherapy. We also provide cancer genomic medicine, using gene panel testing to tailor treatment to each individual. Furthermore, we work closely with the Cancer Counseling and Support Center and the palliative care team to support patients holistically throughout their treatment.

## Primary Emergency Medical Center

The Primary Emergency Medical Center was established in May 2024 in response to an official request from Yamanashi Prefecture, to provide nighttime and holiday care for patients with minor illnesses and injuries. While initial emergency care had traditionally been managed by local medical associations, physician aging and increasing burdens on secondary emergency hospitals have made the system unsustainable. This center was created as a sustainable solution, leveraging university hospital resources to support primary emergency care throughout the prefecture.

### Message

We are committed to providing timely care for patients who do not require an ambulance but

cannot wait until the next day.

Our center also serves as a valuable field site where university physicians and medical students can gain firsthand experience in community-based emergency care.

### Structure and Operational Policy

Our medical team consists of one university hospital physician, one external physician from the local medical association, and one resident physician from our hospital. We provide care from 6:00 p.m. to 10:30 p.m., offering both internal medicine and surgical services for ambulatory patients. When appropriate, we refer patients to other facilities, fostering seamless cooperation across the regional healthcare system.

## Endometriosis Care Center

Endometriosis is a systemic disease that causes menstrual and chronic pain. Our center provides comprehensive care through collaboration among multiple specialties.

### Message

Menstrual pain is difficult to evaluate objectively, as it cannot be easily compared with others. If you suffer from severe pain, endometriosis may be the cause. Please consult us.

### Structure and Operational Policy

Led by the Department of Obstetrics and Gynecology, we collaborate with specialists in gastroenterology, urology, pulmonology, anesthesiology, psychiatry, and rehabilitation.

### Business content

We provide comprehensive medical care for various symptoms related to endometriosis, combining diagnosis, treatment, exercise therapy, and psychological support. Our goal is to improve not only menstrual pain but also overall health, including sleep, diet, and physical activity, through outpatient consultations.

### Features and main achievements

Established in 2024, our center is Japan's first multidisciplinary endometriosis care center, offering prompt and holistic treatment through an integrated system.

## Department of Hospital Administration

The Hospital Management Department is a unit dedicated to planning and promoting management strategies aimed at achieving sustainable operations and providing high-quality medical care at Yamanashi University Hospital. Through business and organizational analysis, we ensure financial stability and efficiently allocate resources.

### Message

The Hospital Management Department contributes to achieving the hospital's overall goals by ensuring a stable operational foundation and providing high-quality medical care. Our commitment is to balance business management with the improvement of medical quality to contribute to regional healthcare. Specifically, we strive to eliminate waste by thoroughly analyzing business-related data and reallocating more resources to direct patient services. Through this approach, we aim to enhance patient satisfaction and create a more rewarding work environment for our staff.

### Structure and Operational Policy

The Hospital Management Department collaborates closely with administrative divisions, such as the Hospital Management and Planning Division, Medical Affairs Division, and Medical Support Division, to provide multifaceted support for hospital operations. We offer objective, analysis-based support for all aspects of hospital management, including human resources, medical equipment, facility development, and community collaboration. We adopt a data-driven approach to accurately assess the hospital's current status, develop strategic plans with a mid- to long-term perspective, and support their implementation. Furthermore, we continuously strive to optimize hospital operations by regularly evaluating and verifying the progress of these plans and swiftly implementing improvements as needed.

### Business content

Our main responsibilities include planning, proposing, and verifying hospital management. We collaborate and coordinate with various committees and related

### Features and main achievements

Alongside our comprehensive ability to treat all cancer types, we utilize advanced technologies such as robotic surgery, high-precision radiotherapy, and genomic medicine. As a designated hub for cancer genomic medicine, we are committed to delivering the best and most effective care for every patient

### Business content

We provide initial care for conditions such as fever, abdominal pain, vomiting, minor trauma, and skin issues that are urgent but not severe. Patients are asked to call before visiting, which helps ensure efficient and appropriate use of limited medical resources.

### Features and main achievements

We provide care for approximately 10,000 patients annually, establishing ourselves as a vital foundation for nighttime and holiday medical services in the region. As a university-led primary emergency care center, we are a rare model nationwide, aiming to integrate education, research, and community service while bringing the light of academia to the local community.

departments to support the achievement of the hospital's goals and promote smooth operations. Our duties are wide-ranging, encompassing budget formulation, responding to changes in medical fees, monitoring key management indicators, and evaluating the feasibility of new projects. We also contribute to establishing an efficient and high-quality healthcare delivery system by accurately identifying the needs of the medical frontline and proposing optimal solutions from a management perspective. By handling a wide range of tasks related to overall hospital management, we aim to enhance the entire hospital's performance.

### Features and main achievements

The key feature of our department is the formulation of data-driven management strategies. Based on business and organizational analysis, we develop strategies that improve the quality of medical care while ensuring financial stability. We have achieved the hospital's sustainable growth and contributed to regional healthcare by efficiently allocating resources.

## Nutrition Management Department

The Nutrition Management Department's philosophy is to provide "safe and reliable meals" and its guiding principle is to "provide services that benefit patients and promote nutritional therapy that improves the effectiveness of treatment." We value each and every patient, and strive to provide them with joy and excitement while also responding quickly.

### Message

The Nutrition Management Department provides medical nutrition services, catering services for hospitalized patients, and nutritional education both inside and outside the hospital. We aim to achieve both "food safety and security" and "enjoyment of food," such as providing meals with a seasonal feel that actively incorporates seasonal ingredients, so that patients can enjoy their meals even while hospitalized.

### Structure and Operational Policy

It is mainly divided into food service management and clinical nutrition. Since the hospital opened, the food service management has been managed directly (with some outsourcing), and clinical nutrition services such as nutrition management, nutritional guidance, and team medical care are carried out. A total of 66 people work here, including 17 registered dietitians, 2 nutritionists, 24 cooks, 6 contracted cooks, 15 contracted cooks, and 2 administrative staff.

### Business content

As meals are part of treatment, we strive to provide safe, reliable, delicious and enjoyable meals that are tailored to each individual's medical condition. In addition, all hospitalized patients undergo nutritional screening by doctors, nurses and registered

dietitians and nutritional care plans are implemented according to their medical condition and nutritional intake status.

Under the direction of a doctor, nutritional and dietary guidance is provided by proposing improvements to eating habits that are suited to the patient's lifestyle and working together with them to make them a reality.

### Features and main achievements

Number of meals provided to patients in FY2024  
General meals: 146,179 meals  
Special treatment meals (additional charge): 89,954 meals  
Special treatment meals (non-additional charge): 165,317 meals  
Number of nutritional guidance cases in FY2024  
Number of individual nutritional guidance cases: 1,830 cases

## Department of Medical Information

Through the management of electronic medical records and the hospital's internal network, we support the efficiency and safety of healthcare. Our mission is to provide patients with comprehensive, high-level medical services, backed by a 24-hour support system to respond to any issues that may arise.

### Message

We support the medical field from behind the scenes, building a safe and secure environment. On the front lines of care, we face patients directly while continuously adapting to evolving digital technologies and security guidelines to deliver the best possible medical services.

### Structure and Operational Policy

We contribute to supporting healthcare

professionals and ensuring medical safety through the maintenance of electronic medical records, network management, and the implementation of smartphone devices. In addition, we are implementing advanced security measures to enable telemedicine and support workstyle reforms for physicians.

### Business content

We support the work of healthcare professionals and contribute to medical safety through the maintenance of electronic medical records, network management, and the introduction of smartphone devices. Additionally, we implement advanced security measures to enable telemedicine and support physicians' workstyle reform initiatives.

### Features and main achievements

We are promoting digital transformation (DX) within the hospital by adopting advanced technologies, including the transition to high-performance smartphones. Through the introduction of cutting-edge systems and regular security training, we aim to enhance the quality of medical care and contribute to regional healthcare.

## Department of Quality and Patient Safety

The Department of Quality and Patient Safety has been established an advanced safety management system required for Special Functioning hospitals, originating from the Patient Safety Office established in FY 2001 and adding the role of Quality management in 2016.

### Message

As the only hospital in Yamanashi Prefecture with special functioning hospitals, we are working daily to establish an advanced safety management system and to realize patient-centered care as "one team throughout the hospital" in cooperation with doctors, nurses, pharmacists, and other professionals.

### Structure and Operational Policy

Under the supervision of the Chief Medical

Safety Officer, full-time medical safety managers, including physicians, nurses, and pharmacists, organize the Safety Management Committee, and five safety subcommittees. In addition, three departments are organized. The Risk Managers' Meeting are also constituted.

### Business content

The multidisciplinary team works the issues of "advanced medical safety management system," "response to adverse events, planning and implementation of preventive measures," "planning and implementation of education and training for Patient safety," "communication and coordination among hospital departments regarding Patient safety," and "monitoring to improve medical quality". We are working on improvement activities in collaboration with our

patients and families.

### Features and main achievements

The hospital uses a proprietary incident reporting system, and in FY2024, based on 5,214 reports, we investigated, analyzed, formulated countermeasures, and evaluated their implementation to realize our key safety goal of "achieving both safety and efficiency".

## Department of Infection Control and Prevention

As a specialized department for infection control (ICT activities) and antimicrobial stewardship (AST activities), it was established on April 1, 2017. The department consists of a multidisciplinary team including physicians, nurses, pharmacists, clinical laboratory technicians, and administrative staff.

### Message

We focus on sustainable infection control measures that are effective and easy to be carried out on the front lines, and support the appropriate use of antibiotics that is effective and leads to improvements in drug resistance. Telephone consultations are available, so please feel free to ask us.

### Structure and Operational Policy

ICT activities are led by three infection control certified nurses, who conduct daily responses and rounds in the hospital to maintain and improve the quality. AST activities are led by an antimicrobial stewardship certified pharmacist, along with three physicians, including an infectious disease specialist, nurses, and clinical laboratory technicians.

### Business content

In ICT activities, we provide training and practical guidance of infection prevention measures for staff, monitor and survey infectious diseases, support measures to control the outbreak of infections when they occur, and update hospital infection control manuals. We also respond to

consultations from other hospitals and emerging infectious disease when it occurs. In AST activities, we audit the use of antibiotics and respond to treatment consultations for cases, thereby supporting the appropriate use of antibiotic treatment.

### Features and main achievements

Each member works as a team, leveraging their skills. We are involved in the operation of the Yamanashi Center for Infectious Disease Control and Prevention (YCDC) and contribute to infectious disease control in Yamanashi Prefecture.

## Department of Pharmacy

The Department of Pharmacy engages in its duties with a high level of expertise to provide advanced medical care and pharmacotherapy for each patient. In addition, the department actively participates in various hospital departments and multidisciplinary healthcare teams in close collaboration with other healthcare professionals.

### Message

As medicine continues to advance and innovative new drugs are introduced one after another, the role of pharmacists in pharmacotherapy has become increasingly vital.

We are committed to continuously developing our knowledge and skills, while valuing communication, to become a trusted and reliable pharmacy department.

### Structure and Operational Policy

As a member of a hospital providing advanced medical

care, we have the following policy:

1. We respect the wishes of each patient and provide the best possible pharmacotherapy.
2. We support the appropriate use of medications with high ethical standards and pharmaceutical bases.
3. We strive to develop sincere hospital pharmacists who can contribute devotedly to patient care.
4. We work to solve clinical problems and generate scientific evidence.

### Business content

We ensure proper inventory management based on demand forecasting; conduct accurate prescription reviews, inquiries, appropriate dispensing, and unit-based dispensing of injectable drugs; collect and provide precise drug information and manage off-label and unapproved drug use; prepare and provide in-house formulations in accordance with medical

ethics; collaborate with multidisciplinary teams to perform pharmaceutical interventions, offer appropriate prescription suggestions, and provide individualized medication counseling; analyze blood drug concentrations and design prescriptions based on pharmacokinetics; and support safe chemotherapy through regimen management and side effect monitoring.

### Features and main achievements

We have implemented a detailed training program for new pharmacists through a preceptor system and a structured two-year curriculum. We hold case study meetings regularly to share and deepen understanding of pharmacotherapy for various region of diseases, and we are proactive in presenting at academic conferences and submitting papers.

## Department of Nursing

Based on the philosophy of "providing nursing care in collaboration with each patient to resolve their individual health issues," the Nursing Department is responsible for nursing care from hospitalization to home support. Working in close coordination with various teams, it provides professional nursing services across diverse departments.

### Message

The Nursing Department strives to foster an environment where nurses can fully demonstrate their expertise across a wide range of nursing activities. We aim to create a workplace that allows staff to work in good health throughout their careers, strengthening initiatives to ensure psychological safety and realizing a healthy and safe work environment.

### Structure and Operational Policy

Nurses are deployed not only in wards and outpatient clinics but also across many other departments, such as diagnostic and treatment areas, surgical units, support services, the medical team center, and emergency care. They work collaboratively with physicians and co-medical staff throughout the full treatment process—from pre-hospitalization to discharge and home care.

### Business content

Our nurses engage in specialized medical team activities including nutrition support, respiratory care, and palliative care. We also operate nurse-led outpatient clinics, such as urinary independence and long-term follow-up

for transplant patients, as well as midwife-led services. We are actively working to train nurses who are qualified to perform specific medical procedures, in order to ensure the delivery of timely care.

### Features and main achievements

We promote career development through a ladder system that enables fair evaluation and continuous improvement of nursing skills. By organizing committees and working groups, our staff collaborates to achieve department and hospital-wide goals while enhancing the quality of nursing and contributing to effective team-based medical care.

## General Support Division

The General Support Department consists of the Medical Welfare Support Center, the Community Medical Cooperation Center, and the Business Support Center, and is responsible for supporting patients and their families as well as the hospital's staff.

### Message

For patients who are scheduled for hospitalization, we provide comprehensive support starting before admission. Our team — including doctors, nurses, and caseworkers — works together to help patients and their families prepare for their stay. We also begin planning for discharge support before admission, in close cooperation with local medical facilities, so that patients can return home with peace of mind and continue to receive the care they need. For patients receiving outpatient care, we are ready to provide detailed support if there are any concerns related to their condition or if they need help with administrative or community services. We will continue to do our best to be a hospital that stays close to every patient and family, providing care with understanding, compassion, and respect

### Structure and Operational Policy

#### 【Business Support Center】

To provide a comfortable medical environment for patients, we promote the improvement of service quality and the operational efficiency of medical staff.

#### 【Regional Medical Coordination Center】

Information is shared among staff from the outpatient stage to support admission, discharge, transfer, and home care.

#### 【Medical Welfare Support Center】

We support patients and their families who have concerns about treatment and life.

### Business content

#### 【Business Support Center】

Medical Certificate Support : Services related to the preparation of medical certificates

Outpatient Support : Consideration and countermeasures for various problems in outpatient care

#### 【Regional Medical Coordination Center】

Regional Cooperation (forward support) : Services related to medical appointments, consultation and discharge reports

Regional Cooperation (logistical support) : Promotion of regional medical cooperation agreements, etc.

Admission and Discharge Support : Multidisciplinary patient support  
Perioperative Outpatient : Anesthesiologist consultation for safe surgery, etc.

#### 【Medical Welfare Support Center】

Medical and Welfare Consultation : Assistance with various disease-related issues

Support for Incurable Diseases : Consultation from medical institutions, patients, and their families regarding medical treatment for intractable diseases, etc.

Psychological Support : Counseling for patients, etc.

### Features and main achievements

Under the leadership of the director of each center, doctors, nurses, SWs, and administrative staff from multiple professions collaborate to examine issues and make improvements.

## Department of Clinical Education

### Undergraduate Clinical Training Center

The Undergraduate Clinical Training Center supervises the clinical and practical training for students in the Department of Medicine and Nursing, as well as trainees from outside the university, using the simulation center of the University Hospital. Our center conducts the practical training in which medical

students, who have official qualifications, participate as medical staff under the supervision of doctors. The management committee of our center consists of the chief doctors of each clinical department, the practical training chair of the Department of Nursing and the person in charge of education of the Nursing

Department of the University Hospital. The graduates, who have learned various basic skills necessary for medical practice and patient care through the well-designed trainings supervised by our center, are active in their respective fields as "Professionals" who can respond to the diverse needs of society.

### Postgraduate Clinical Training Center

The Postgraduate Clinical Training Center aims to provide unique training for clinicians, fostering self-reliance and cultivating outstanding research doctors through a coherent curriculum spanning from undergraduate to postgraduate education. Our training field extends widely beyond the hospital,

forming significant alliances with core hospitals within and outside the prefecture, allowing residents to train freely within this network. During the two-year primary training, residents acquire primary care skills and prepare for specialized training following their residency. We believe that nurturing doctors who

can meet various medical needs contributes to community medicine, global welfare, and health.

## Career Development Center

The Career Development Center provides clinical interns and residents with information on the medical specialist system and individual consultation for young doctors, helping them to develop their careers according to their lifestyles and visions for the future.

In recent years, with the introduction of the new medical specialist system, reforms in the way doctors work, and rapid advances in medical technology

## Simulation Center

A Core Educational Hub Recreating Realistic Clinical Environments to Support Regional Healthcare  
In 2023, a state-of-the-art Simulation Center was newly established on the 4th floor of the Clinical Support Building. Spanning approximately 500 square meters, the facility features a wide array of high-performance simulators, including mock hospital wards and operating rooms, endoscopic, ultrasonographic, and endovascular procedure simulators, as well as robotic

## Training Center for Specifically Designed Nurse

Specific acts are medical procedures performed by nurses who have acquired advanced knowledge and skills, as well as practical decision-making and critical thinking abilities, through specialized training at designated institutions. These procedures are carried out under protocols prepared by physicians or dentists, in accordance with Article 37-2 of the Act on Public Health Nurses, Midwives, and Nurses. As a result, nurses can now perform certain medical procedures in a timely manner—procedures that previously required waiting for a physician’s direct instructions—within the scope defined by these protocols. Nurses then report the outcomes to the supervising physician. At our

## Medical Staff Training Center

The Medical Staff Training Center was newly established in 2021 to support co-medical staff, excluding physicians and nurses, in training to improve their knowledge and skills and to introduce new medical technology, and to maintain and acquire qualifications. We believe that this is an indispensable initiative to strengthen the hospital's functions as a highly functional hospital, as it will lead to compensation for the quality of the hospital as required by the hospital's functional

such as genomic medicine and robotic surgery, each medical specialty has become highly specialized. In addition, although the new medical specialist system has organized the basic areas to some extent, further organization of subspecialty areas is required in the future, making it difficult to create a roadmap for the career development of young physicians. The third year after graduation is a very important period for young doctors to improve their skills, and the Center,

surgery training systems. As one of the most advanced medical training facilities in Japan, it plays a vital role in medical education. The center supports hands-on training for medical students preparing for the OSCE, clinical skills development for junior residents, and procedural training for nurse practitioners performing specific medical acts. In addition, a digital BLS training program is available to all staff, contributing to both the acquisition of provider certification and the

center, we offer specific act training in three main areas: (1) skin injury and nutritional management, (2) postoperative care in surgical wards, and (3) intensive and high-care units (ICU/HCU). In addition, we provide two specialized training courses for drug administration related to infections and skin injuries. In total, our program covers 18 categories and 34 specific procedures. To ensure that skills are maintained and applied effectively, nurses complete six months of clinical practice after their training, working as part of a multidisciplinary team alongside physicians from relevant departments, with support from the nursing division. Currently, nurses who have completed this training

evaluation. In FY2024, a total of 5.5 million yen was allocated to support a total of 230 cases in 8 departments (Clinical Engineering, Radiological Technology, Pathology, Pharmacy, Laboratory, Rehabilitation, Nutritional Management, and Clinical Psychology) for participation in academic conferences and training programs. In FY2025, we are considering providing support to 8 divisions for training to acquire or maintain new qualifications and to update knowledge

in cooperation with the Yamanashi Community Medicine Support Center, will provide new information on the medical specialist system, information on our departments, core hospitals and partner hospitals in and outside Yamanashi Prefecture, and information on various supports provided by the prefecture. We will also provide information on the various support services provided by the prefecture.

cultivation of a strong culture of patient safety. Linked debriefing rooms allow for ICT-based feedback and educational support, enhancing training outcomes. Looking ahead, by implementing a reservation system to facilitate access from outside the university, the center aims to serve not only as a university-based facility but also as the “Yamanashi Medical Training Center,” a regional core for medical human resource development and interprofessional education.

are working in our ICUs, hospital wards, and emergency outpatient units. Our specially trained nurses play an important role as part of our advanced medical teams. By enhancing nursing skills and shifting appropriate tasks from physicians to nurses, we aim to improve the quality and efficiency of patient care. Looking ahead, we plan to expand the training categories, introduce e-learning for shared subjects, and create a supportive system that makes it easier for nurses to enroll in and complete these programs. We are also committed to providing opportunities for nurses to apply and further develop their skills after completing the training.

necessary to provide more advanced medical care. As a core facility in the prefecture, we are also involved in planning and supporting the operation of seminars and training sessions hosted by each department and the holding of hands-on seminars to improve the skills of staff members, utilizing the simulation center and other facilities that were established in FY2023. This fiscal year, we began efforts to centralize in-hospital training and BLS training for all employees.

## Work Style Reform Center

The Work Style Reform Center was established in April 2025 to promote work style reform at Yamanashi University Hospital. The Center aims to improve the working environment and operational efficiency for all staff—including doctors, nurses, technicians, and administrative personnel—and to foster a sustainable, healthy workplace for every employee.

### Message

At the Work Style Reform Center, I collaborate with Dr. Yoichi Ogawa, the Center’s Deputy Director, under the guidance of Dr. Hirotaka Haro, the Hospital’s Vice Director for Labor Management. As this is a newly established center, our efforts have just begun; however, we are committed to creating a better working environment with the input and cooperation of

all staff members. We greatly appreciate your continued understanding and support.

### Structure and Operational Policy

The activities of the Work Style Reform Center focus on the following areas:

1. Improving the Working Environment and Working Hours  
We strive to enhance the working environment and optimize working hours for all positions at the hospital, aiming to create a workplace where employees can perform their duties with peace of mind.
2. Promoting Task Shifting and Work Improvement  
To increase efficiency, we review tasks and implement appropriate task shifting, thereby reducing the workload on employees.
3. Promoting Work-Life Balance

We are exploring the introduction of flexible working styles and improving work arrangements to create an environment that supports a healthy balance between work and personal life.  
4. Raising Awareness of Work Style Reform  
Through internal and external information-sharing and awareness-raising activities, we aim to deepen understanding of work style reform and promote organizational change throughout the hospital.  
5. Other Tasks Deemed Necessary by the Center

## Bed Control Unit

The Bed Control Unit is a department responsible for optimizing the use of hospital beds. It coordinates admissions, monitors bed availability, and works in collaboration with each clinical department and ward. Through efficient bed utilization, the Bed Control Unit supports the smooth admission of patients and the provision of high-quality medical care.

### Message

We strive to ensure smooth and efficient bed management by working in close collaboration with all healthcare professionals, so that patients can be admitted with peace of mind.

### Structure and Operational Policy

The Bed Control Unit is composed of medical doctors, nurses, and medical staff. By working

closely with each clinical department and ward, we appropriately coordinate hospital admissions and manage bed availability, promoting efficient and equitable bed utilization.

### Business content

The Bed Control Unit plays a vital role in maximizing the effective use of hospital beds through the coordination of admissions and ward transfers, monitoring and managing bed availability, and collaborating with each clinical department and ward. It also responds to urgent admissions and transfers by securing appropriate beds, supporting timely hospital admissions in alignment with the needs of each department. Through smooth bed operations, it contributes to the delivery of high-quality medical care.

### Features and main achievements

A key feature of the Bed Control Unit is its ability to monitor the hospital's bed utilization in real time and carry out rapid bed coordination. This has led to achievements such as optimizing the average length of hospital stay and ensuring the smooth admission of emergency patients.

## Yamanashi Community Medicine Support Center

Our Center, jointly operated by Yamanashi Prefecture and University of Yamanashi, is tasked with securing physicians and resolving their regional maldistribution within the prefecture. We are committed to fostering physician development and proper placement through career development programs, pre-graduation support, and post-graduation assistance, thereby contributing to the improvement of regional healthcare quality.

### Message

While maintaining an increase in physicians, physician maldistribution and securing doctors for each specialty remain challenges. To address population decline and changing medical demand, future-oriented medical system development is urgent, and the Center's role is at a turning point. We are committed to dedicating our full efforts to the further development of the prefecture's medical system, with your continued

guidance.

### Structure and Operational Policy

Our Center operates with a team of 7 staff members, including physicians. Yamanashi Prefecture and University of Yamanashi work in close coordination, making decisions collaboratively. Through regional healthcare policy council meetings (2-3 times annually), we cooperate with hospitals and local governments within the prefecture to build a collaborative system.

### Business content

Our Center is tasked with securing physicians and resolving their regional maldistribution within the prefecture, carrying out a wide range of duties. Specifically, we promote the increase of clinical residents, contributing to the improvement of physician shortages. We also provide enlightenment to medical

students and offer individualized career support to post-graduation physicians. Through these activities, we are dedicated to improving the quality of regional healthcare and establishing a sustainable medical system.

### Features and main achievements

Our Center is characterized by the close joint operation between Yamanashi Prefecture and University of Yamanashi. Through our past efforts, we've contributed to the continuous increase in the number of physicians within the prefecture, resulting in an improving trend in physician shortages. Currently, we view the resolution of regional and specialty maldistribution as an urgent challenge. We are dedicated to enhancing the prefecture's healthcare system by strengthening collaboration with relevant organizations and accurately understanding the current situation based on surveys.

## Yamanashi Eastern Regional Medical Education Center

The Center was established on February 1, 2023, in order to provide sustainable medical care in the eastern Yamanashi region and to build an educational and research system, based on the Comprehensive Collaboration Agreement between the National University Corporation Yamanashi University and Otsuki City.

### Message

With the support of each department at the university hospital, the facility will work to further strengthen medical care in the eastern region and fulfill its mission as a training facility, in addition to collaborating with Otsuki Municipal Central Hospital, to collaborate with Tsuru Municipal Hospital in the field of gastrointestinal surgery.

### Structure and Operational Policy

With a staffing of four full-time doctors, including Director Enomoto, The dispatched doctors are registered at the Center and are employed and worked at by the medical institution to which they are dispatched.

### Business content

To contribute to strengthening outpatient services at Otsuki Municipal Central Hospital, we utilize a cross-appointment system to assign full-time physicians from our main hospital and dispatch part-time physicians to provide specialized medical care. In addition, we also dispatch orthopodists and other non-physician staff. Furthermore, the hospital accepts residents for clinical training as well as students for clinical

practicums.

### Features and main achievements

The facility can provide high-quality instruction to trainees and residents as a regional medical training facility, it has been certified as a Japanese Society of Internal Medicine University of Yamanashi Internal Medicine Training Program affiliated facility, a Japanese Society of Gastroenterology certified facility, a Japanese Society of Gastroenterological Endoscopy training facility, a Japan Society of Hepatology affiliated facility, a Japanese Circulation Society training affiliated facility, a Japan Surgical Society affiliated facility, and a Japanese Society for Dialysis Therapy education affiliated facility.

